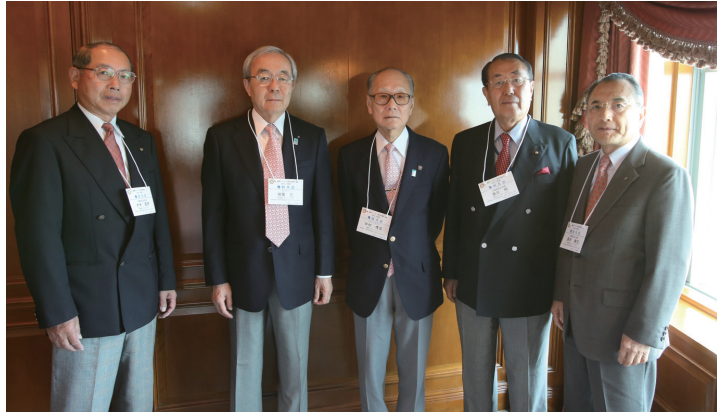
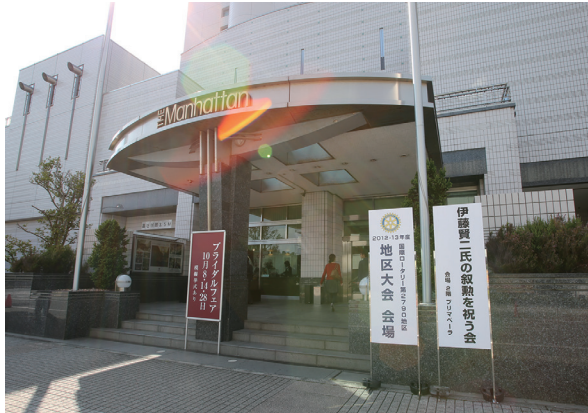
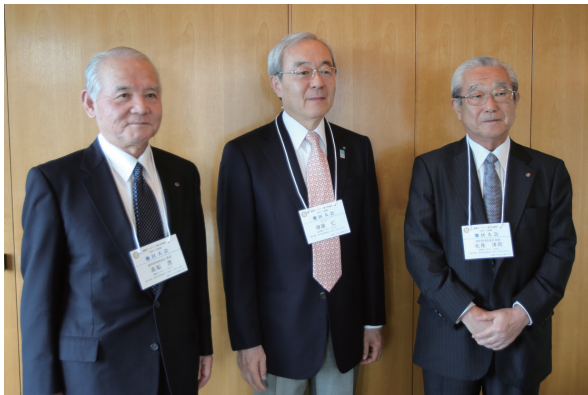


地区大会 第1日目 (会場：ホテル ザ・マンハッタン)

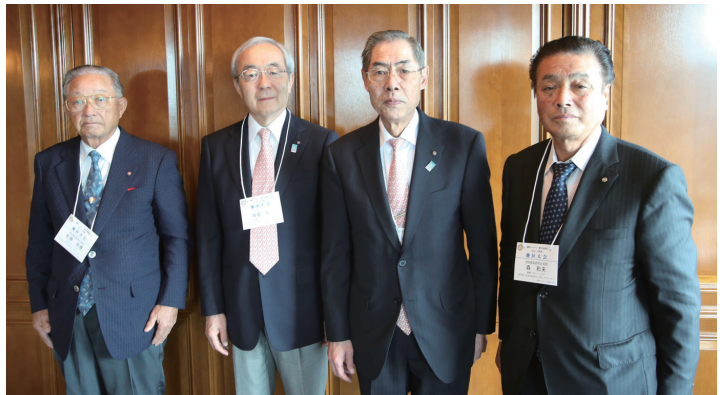
資格審査委員会



選挙管理委員会



決議委員会



司会 高橋 竜一
アシスタント 坂野 昌子

本会議場



得居ガバナー夫妻



朴 RI 会長代理 ご夫妻

ガバナー挨拶

RI 会長代理挨拶

開会の言葉



ホストクラブ会長
岡本 克己



ガバナー 得居 仁



RI 会長代理 朴 柱寅 氏

11-12 地区収支報告



直前会計幹事
高橋 光男

11-12 会計監査報告



直前監査委員長
五十嵐 玲彦

資格審査委員会



資格審査委員長
山田 修平
パストガバナー

選挙管理委員会



選挙管理委員
北見 洋司

決議委員会



決議委員長
中村 博巨
パストガバナー

クラブ奉仕委員会報告



委員長
杉山 俊明

職業奉仕委員会報告



委員長
海寶 勘一

社会奉仕委員会報告



委員長
中山 政明

国際奉仕委員会報告



委員長
村岡 実

新世代奉仕委員会報告



委員長
津留 起夫

ロータリー財団委員会報告



副委員長
伊原 清良

ロータリー米山記念 奨学会委員会報告



委員長
平野 一隆

地区指導者育成セミナー「ロータリーの奉仕と平和」



RI 会長代理 朴 柱寅 氏

結論

人が生きるということは
誰かに借りがあるということ

人が生きるということは
その借りを返しつづけること

誰かが私にしてくれたように
誰かにしてあげよう

人が生きるということは
誰かと手をとるということ
そしてそのめぐもりを忘れないこと

めぐりあい 愛しあい
やがてこの世を去る時
悔いのない人となるために
今日そして明日を生き抜こう

人はひとりでは生きてゆけない
人は独りでは歩いてゆけない
＜永六輔の詩＞

これを持って私の講演を終わら
せてもらいます。
ご清聴有難うございました。
＜終＞

RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

司 会 谷口 雅樹
アシスタント 坂野 昌子

開会の言葉



地区幹事長 高橋 孝夫



リマト室内合奏弦楽四重奏



乾杯



地区大会委員長 萩本 住明

閉会の言葉



地区副幹事長 高橋 直人



地区大会 第2日目 (会場：森のホール 21)



友愛の広場

本会議場



朴 RI 会長ご夫妻入場・平山 PG ご夫妻エイド

点 鐘



ガバナー 得居 仁

開会並びに歓迎の言葉



地区大会委員長 萩本 住明



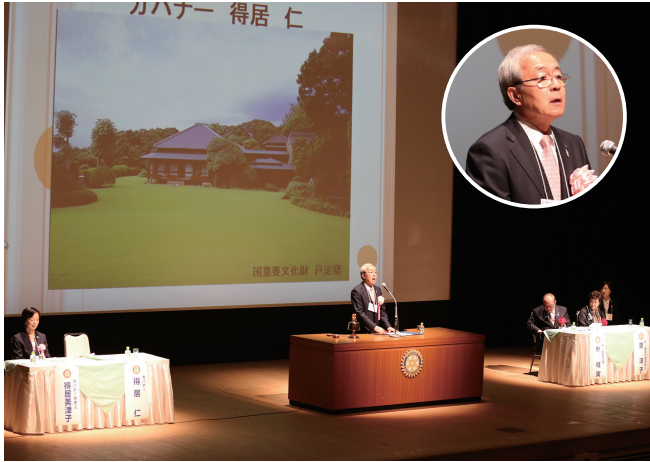
ホストクラブ会長 岡本 克己

来賓祝辞



松戸市長 本郷谷 健次 氏

ガバナー挨拶・地区の現況報告



ガバナー 得居 仁

RI 現況報告



RI 会長代理 朴 柱寅 氏

大会決議採択



決議委員長
中村 博巨 パストガバナー

個人表彰の皆様



記念品贈呈



朴 RI 会長代理 ご夫妻



山田パストガバナーご夫妻

昼食風景



コンサート



松戸市立第四中学校吹奏楽部

ロータリー・ファミリーの紹介



ホームカミング



元米山奨学生 頼明珠氏

ガバナー・エレクト挨拶



ガバナー・エレクト 関口 徳雄

ガバナー・ノミネー挨拶



ガバナー・ノミネー 宇佐見 透

次年度地区大会ホストクラブ会長挨拶



浦安 RC 会長 大八木 諭



地区大会実行委員長 深作 勇

大会を顧みて



RI 会長代理 朴 柱寅氏

記念講演「日本の進路と誇りある国づくり」



ジャーナリスト 櫻井 よしこ 氏

ガバナー謝辞



ガバナー 得居 仁

閉会の言葉



地区大会実行委員長 安蒜 俊雄

RI 会長代理に感謝する懇親会

開会の言葉



地区大会副実行委員長
山岡 仁身

RI 会長代理挨拶



RI 会長代理 朴 柱寅 氏

オープニングピアノ演奏

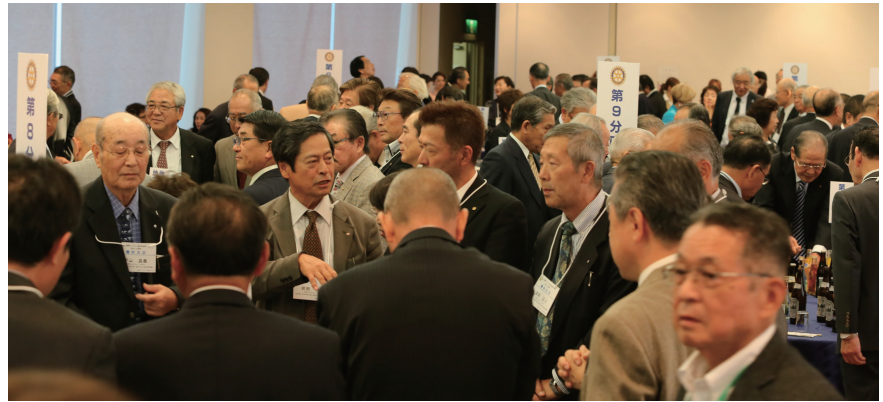


徳川 眞弓 氏

ガバナー挨拶



ガバナー 得居 仁



乾 杯



研修リーダー 鈴木 雅博
パストガバナー

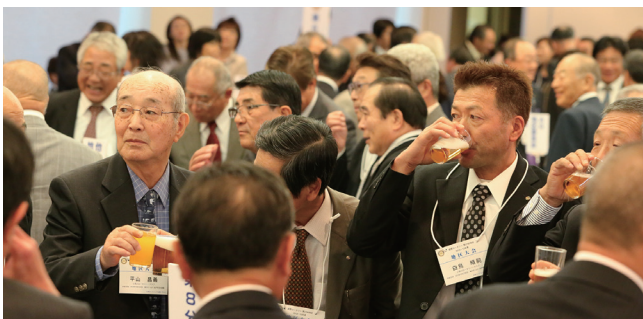


RI 会長代理 接待・案内責任者
小野塚 雄

閉会の言葉



地区大会副実行委員長
上路 三喜男





国際ロータリー会長メッセージ

国際ロータリー会長

田中作次

ロータリアンの皆さま

拝啓

この度、2012-13年度地区大会に皆さまをお迎えすることができ、心から光栄に感じております。地区大会は、ロータリアンにとって、親睦を図り、意欲を高め、地区の奉仕プロジェクトや諸活動について知識を深めるまたとない機会となります。

ロータリーは長年のあいだ、私の生活の一部となっておりま。ロータリアンになったのは、ほとんど偶然で、入会当時はロータリーについて何も知りませんでした。私を入会に誘ってくれた方を心から尊敬していたため、入会を決意いたしました。

「超我の奉仕」の理念は、今や私の人生哲学となっています。また、この理念は、人はみな自分だけでは生きていけないということを教えてくれます。私たちは常に地域社会に根ざし、家庭や職場で人々と常にかかわり合いながら生きています。

人生を分かち合いたいと望むのは、人として自然なこと。嬉しいときや悲しいとき、何かを達成したときや、困難を感じているときなど、誰かにそばにいてほしいと人は感じるものです。誰かにいてほしいと思うのであれば、私たちも、人のためにそばにいてあげることが大切です。

ロータリアンは、職業スキルの研修支援や疾病予防支援などの奉仕を通じて、地域社会との強いつながりを築きます。また、人々をつなぐのを築き、支援の手を差し伸べます。これらを通じて、私たちは、より幸せで、満ち足りた、平和な世界という究極の目標に向かって歩いていくことができるのだと思います。

最後に、本地区大会が実りあるものとなることを祈るとともに、「奉仕を通じて平和を」の年次テーマの下、皆さまと力を合わせて充実した活動ができますことを心から願っております。

敬具

S. Tanaka

田中作次

2012-13年度 RI 会長



ご挨拶

RI 会長代理・RI 理事

朴 柱 寅

2012-13 年度の国際ロータリー田中作次会長から、私達夫妻が田中会長と京子さんを代理して、由緒深い第 2790 地区の地区大会に参席してくれと招待を受けて、貴地を訪れることができました、大変嬉しく思い身に余る光榮と存じます。

田中会長は今年度のテーマを"奉仕を通じて平和を"と決めて、すべてのロータリアンが世界中いたるところに、紛争と戦争のない眞の平和をロータリアンの力で築きあげようと訴えました。

世界第2次大戦の辛さと 2011 年 3 月の東日本大震災の悲惨さに胸を打たれた田中会長は、ロータリーの唯一無二の武器である奉仕を通じて、地域社会と世界に思いやりと慈しみをじっくり込めた、奉仕を通じて平和な世界、即ちユートピアを建設することを促しました。

国際ロータリー 100 年の歴史の中で、日本はアメリカと共に最も RI 財団に寄与が大きく、又あらゆる面で指導的役割を担うロータリー大国として認められています。

しかし最近においては、会員減少傾向のため、一時その位相が揺れていると見えますが、日本ロータリーの底力が強いので、日本ロータリアンの皆様が心機一轉して会員増強に励むとすれば、間違いなく、13 萬を超えた十数年前の会員増強大国の位相を回復できると信じてやみません。

ロータリアンの人格的習練を基にする職業倫理をひたすら強調されている得居仁ガバナーの独特なリーダーシップの下に、貴地区ロータリアン皆様が、一致団結して邁進するとすれば今の難局を見事に勝ち抜けると思います。

2012-13 年の貴地区大会が例年の成績を上回り、素晴らしい成果を収めて日本一のエリート地区に昇格できるよう心から祈念致します。

日本の歴史的人物として尊敬されている米沢の上杉鷹山公の信念たる"成せば成る"精神に基づいて、今年一年を貴地区の一大變革の元年になるよう決起してくださいを切にお願いします。

以上をもって RI 会長代理のご挨拶にさせていただきます。有難うございました。

国際ロータリー第 2790 地区 2012-13 年度地区大会 RI 会長代理

朴 柱 寅 (パク・ジュイン) 様

(RI 理事、D-3610、順天 R.C)

プロフィール

1. 生年月日: 1933 年 5 月 20 日
2. 学 歴: 東国(ドンクク)大学校法政大学 卒業
大韓民国 第10回 高等考試 司法科 合格
3. 職 歴: ソウル、デジョン(大田)、プサン(釜山)、
グァンジュ(光州)、スンチョン(順天)法務部、
法務研修院等で、検事、部長検事、次長検事、
支廳長等檢察職20年間奉職。
1983年辯護士開業、現在に至る。
株式会社 POSCO (ポスコ) 元法律顧問辯護士
POSCO教育財團元理事
4. ロータリー歴

1989-90年	RI 3610地区 順天(スンチョン)RC会長
1997-98年	RI 3610地区ガバナー
1998年	ゾーン9 龍平研修会 James Lacy RI会長 エイド
1999年	RI3680地区 RI会長代理
1998-2000年	Rotary Korea 編輯委員會副委員長
2000-2002年	Rotary Korea 編輯委員會委員長
2002年-現在	(財) Rotary Korea 翻譯委員會 委員長
2003年	国際ロータリー研修リーダー
2004年	大阪 RI Institute 委員
2004年	RI3650地区(ソウル) RI会長代理 ゾーン9 研究会モデレーター(4回) パネ リスト(5回) ゾーン9 識字力コーディネーター
2006-08年	RI2800地区 RI会長代理
2007年	RI選舉審査委員
2008年-2009年	規定審議會韓国代議員團長
2010年4月	国際ロータリー理事
2011年-2013年	RI 3520地区 RI会長代理
2012年4月	RI 執行委員(理事)
2012年-2013年	RI 行政委員(理事) RI 戰略計劃委員 RI RAG 委員
5. RI 財團寄附

ロータリー財團 大口寄附者 (16 Stone)
ベネファクター (\$5,000)
遺贈友の会チャーターメンバー (\$10,000)
6. ロータリー国際会議 参席

国際大会 (16 回) 国際研修会 (3 回)
RI 会長 主宰會議 (3 回)
ゾーン9、10A 研修会 (13 回)
世界ロータリー雑誌編輯人會議 (1 回)
日本ロータリー研究會 (5 回)
日韓・韓日ロータリー親善會議 (5 回)
RI 規定審議會 (2 回)
7. 著 書

韓国ロータリーの進路(韓国語版 426 頁 2003 年刊)



祝 辞

千葉県知事

森 田 健 作

国際ロータリー第 2790 地区 2012-13 年度の地区大会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

今年のテーマである「奉仕を通じて平和を」のもと、世界平和や国際理解を深めるために、日々御活動いただいておりますロータリアンの皆様に深く敬意を表します。

さて、本県にも甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から1年と7カ月余りが経過いたしました。震災や原子力発電所の事故による影響は、今なお続いております。

県では、被災者への支援や復旧・復興事業に全力で取り組んでまいりました。

今後も、震災からの復旧・復興、原発事故に伴う様々な課題に、県民の皆様や市町村、関係団体と一致団結して全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、これまでの間、東日本震災復興基金への寄付や被災児童の本県への招待など、被災者や被災地の復旧・復興に御支援いただいております。改めて敬意を表します。

皆様の日々の奉仕活動は、地域での人と人との絆や信頼関係を生み出すとともに、奉仕を通じた青少年への教育など、住みやすい地域社会づくりの原動力となっており、皆様方は地域を元気にしていく上で大変心強い存在です。

県では、県民の皆様が、千葉で生まれてよかった」「住んでよかった」「働けてよかった」と誇りに思っただけの千葉県づくりに全力で取り組んでまいりますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、国際ロータリー第 2790 地区の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御活躍をお祈りして、あいさついたします。



祝 辞

松戸市長

本郷谷 健次

この度、国際ロータリー第 2790 地区 2012-13 年度地区大会が盛大に開催され、また、あわせて記念誌を発行されますことは、誠に喜ばしいことであり、心からお祝い申し上げます。

そして、会員の皆様には、日頃より松戸市政の推進に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、ここに改めまして厚く御礼申し上げます次第でございます。

皆様方には崇高なロータリアンの精神に基づき、会員相互の親睦を深められますと共に、幅広い奉仕活動を展開され、地域の発展と福祉の増進、更には国際的な相互理解と友好親善の進展に大きく貢献され、その皆様の活動は、各方面において市政発展に多大なるご尽力を賜っております。

本市におきましても少子高齢社会など、社会情勢の変化に柔軟に対応することが求められております。このような中、崇高な理念に基づく皆様の活動は、次代を担う子ども達の教育や「ふるさと松戸」の醸成はもとより、地域社会に大きく貢献されており、私も行政に取りましても大きな力であり、大変心強く思っております。

これも偏に、得居ガバナー、萩元地区大会委員長をはじめ会員皆様の熱意の賜物と存じ、深甚なる敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます次第でございます。

私は、「安全・安心のまちづくり」と「子育て、教育、文化を軸とした都市ブランドづくり」を政策の大きな柱とし、「元気なまちづくり」として地域経済の活性化やまちづくりの見直し、そして全ての市民の皆様にとって住みやすいまちにしていくために「人と人との結びつきを大切にするまちづくり」に、全力で取り組んで参りますので皆様方におかれましても、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この地区大会を契機として、過去の輝かしい実績を継承しつつ、国際ロータリー第 2790 地区がより高い理想に向かって、なお一層ご発展されますことを心から祈念申し上げます、ご挨拶いたします。



ご挨拶

国際ロータリー第 2790 地区 ガバナー

得 居 仁 (松戸東 RC)

ロータリアン並びに関係者の皆様、国際ロータリー第 2790 地区 2012 - 13 年度地区大会の開催に当たりご参加を頂きまして、心より歓迎致すと共に感謝を申し上げます。

さて、本大会を開催するに当たり田中作次 R I 会長は、国際ロータリー理事・朴柱寅 (パク・ジュイン) 様並びに令夫人曹淳子 (チョ・スンジア) 様ご夫妻を会長代理として派遣して下さいました。

お迎えする朴柱寅 R I 会長代理様は、去る 2011 年ニューオーリンズ国際大会の日本人朝食会におきまして、R I 理事エレクトの立場で、「日本のロータリアンが職業奉仕を大切にしていることを大変高く評価しています。」とご挨拶され、参加して居た日本人ロータリアンに深い感銘を与えて下さいましたことが、今でも鮮明に蘇ります。

第 1 日目は地区内パスト・ガバナー、ガバナー補佐、地区内クラブ会長・幹事、地区委員の皆様にご参加頂き、地区指導者育成セミナーを兼ねまして千葉市美浜区ホテル ザ・マンハッタンに於いて開催致します。

このセミナーにおきましては、朴 R I 会長代理様に、『ロータリーの奉仕と平和』と題してご講演を頂きます。

第 2 日目は松戸市森のホール 21 に会場を移して開催致します。

そもそも松戸は下総台地の西端、江戸川の左岸に位置し、古来から下総国府と常陸国府を結ぶ陸路の重要な交通の要衝で、宿駅として発達し、馬津郷と言われた事から『まつど』となったと言われて居ります。その長い歴史に育まれた森のホール 21 に、お集まりの皆様方お一人お一人が主役になって頂き、思い出に残る親睦の環を広げ、明日のロータリーの奉仕へ更なる意欲を高めて頂くことを乞い願う次第でございます。

記念講演は、高名な櫻井よしこ先生に『日本の進路と誇りある国づくり』と題してご講演をお願い致しました。必ず、皆様に深い感銘を与えて下さる

と確信する次第であります。

最後を締めくくって『R I 会長代理に感謝する懇親会』を企画致して居ります。どうぞロータリーのリーダーとして、最前線を勤められる R I 会長代理と親しく交歓して頂けますよう切望致します。

本大会が参加下さいました皆様方にとりまして、私の本年度の強調事項でありますロータリーの『綱領』が目指している職業奉仕推進への更なる大きな契機と成りますことを祈念致します。

第 12 分区のホスト・クラブ、コ・ホスト・5 クラブのロータリアン全員が「おもてなしの心」を込めて、皆様のお出でを心からお待ち申し上げます。

敬具

プロフィール

氏 名：得 居 仁 (とくい ひとし)
 生年月日：1944 年 (昭和 19 年) 9 月 14 日
 連絡先：松戸市松戸 1281 ユニティビル 4 階
 所属クラブ：松戸東ロータリー・クラブ
 職業分類：弁護士
 ロータリー歴：

1988 年 5 月 20 日 松戸東ロータリー・クラブ入会
 2000 ~ 01 年 同クラブ幹事
 2005 ~ 06 年 同クラブ会長
 2007 ~ 09 年 ロータリー世界平和フェロー・カウンセラー
 2010 ~ 11 年 第 12 分区ガバナー補佐
 2012 年 7 月 ~ ガバナー

認 証：ロータリー財団メジャードナー (レベル 1)

マルチプルポールハリスフェロー⑧
 ベネファクター②
 米山功労者メジャードナー⑪



歓迎のことば

国際ロータリー第 2790 地区 地区大会委員長

萩元 住明 (松戸東 RC)

国際ロータリー第 2790 地区 2012-13 年度の地区大会開催にあたり、RI 会長代理 朴柱寅(パク・ジュイン) 様ご夫妻をお迎えし、地区内外よりの多数のご来賓の方々のお越しの中、本大会が開催出来ますことに大きな喜びとするところでございます。

感銘深いご講演等を聞き、ロータリーの様々な話題についてご討議を行うことにより、大会を通じて会員各位の奉任意欲を一層高め、かつ、思い出に残る親睦が深まりますよう、そして大会に参加してよかった、いい話が聞けてよかったと思っただけけるよう、地区大会の目的にかなった大会運営を目指してまいりました。

RI 会長田中作治氏の今年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」、ロータリアン一人ひとりに平和について考えてほしいとの要請により、平和をどのように考えるか、このテーマを実践するためにどう活動していけば良いか、時代は今大きく変わろうとしております。

本質を見失うことなく、原点を意識しつつ変化に置きざりにされないよう行動しなければなりません。

この大会を通じて、夫々皆様はその為のヒントを得られることを祈っております。

最後になりましたが、本大会にご尽力下さいました第 12 分区のコ・ホストの松戸クラブさん、松戸北クラブさん、松戸中央クラブさん、松戸西クラブさんの皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます、有難うございました。

本日ご参加いただきました皆様のご健勝でご活躍されますことご祈念申し上げ開会・歓迎のご挨拶といたします。



歓迎のことば

松戸東ロータリー・クラブ 会長

岡本 克己 大会 SAA (ホストクラブ)

RI 会長代理 朴 柱寅(パク・ジュイン) 様ご夫妻をお迎えし、地区内外より多くの皆様のご参加を頂き、国際ロータリー第 2790 地区 2012 - 13 年度の地区大会を、この松戸の地で開催できますことを、たいへん喜んでいただいております。振り返りますと、1995 年 10 月 21 日、22 日、石井亮太郎ガバナ一年度に、この森のホール 21 に於いて、地区大会が開催されました。松戸東ロータリー・クラブにとっては、二度目の地区大会開催であり、まことに光栄に思うところでございます。

さて、本日は、時宜を得た「日本の進路と誇りある国づくり」というタイトルの櫻井よしこ氏の記念講演を予定致しております。また、この地で見つかった二十世紀梨の時期は疾うに過ぎましたが、民子の好んだ野菊の咲き始めるころでもございます。この「21 世紀の森と広場」の自然を楽しんで頂いたり、戸定邸や千葉大の庭園まで足を伸ばして頂き、江戸川の小さい秋を探して頂けたらと、案内役がお待ち致しております。お気軽にお声を掛けて頂いて、松戸の秋の一日を楽しんで頂きたいと願っております。

「おもてなしの心」がこもった手作りの地区大会を目指して、ホストクラブ、コ・ホストクラブが心をつにして準備して参りました。本日の、この地区大会が皆様にとって、有意義で、感動的な一日となりますことを、心より願って、また、親睦の輪が一回りも二回りも、大きくなりますことを、心より願って、私からの、皆様への歓迎のことばと致します。

コ・ホストクラブ会長

加藤 栄
大会 SAA
(松戸)長島 正巳
大会 SAA
(松戸北)森谷 博
大会 SAA
(松戸中央)渡辺 孝治
大会 SAA
(松戸西)



国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー・エレクト

関 口 徳 雄 (浦安RC)

ガバナー・エレクト プロフィール

姓 名：関口 徳雄 (せきぐち とくお)
 生年月日：1944 年(昭和 19 年) 3 月 29 日 (満 68 歳)
 自宅住所：〒 272-0145 市川市島尻 4 - 9
 自宅電話：047-357-5564
 事業所：関口徳雄法律事務所
 事業所住所：〒 104-0061
 東京都中央区銀座 4 丁目 13 - 15 - 4 F
 事業所電話：03 - 5565 - 4004
 所属クラブ：浦安ロータリー・クラブ
 職業分類：弁護士
 最終学歴：中央大学法学部法律学科卒
 ロータリー歴：1981 年 2 月 浦安ロータリー・クラブ創立会員として入会
 在籍 31 年
 1987 - 88 年度 幹事
 1994 - 95 年度 会長
 2005 - 06 年度 第一分区 ガバナー補佐
 2010 年 地区野球リーグ会長
 2011 年 //
 ポール・ハリス・フェロー
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者



国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー・ノミネー

宇佐見 透 (千葉幕張RC)

ガバナー・ノミネー プロフィール

姓 名：宇佐見 透 (うさみ とおる)
 生年月日：1952 年(昭和 27 年) 4 月 19 日 (満 60 歳)
 自宅住所：〒 260-0042
 千葉県中央区椿森 1-15-7
 自宅電話：043-251-1236
 事業所：株式会社 宇佐見商店
 事業所住所：〒 263-0001
 千葉県稲毛区長沼原町 198 - 1
 事業所電話：03 - 5565 - 4004
 所属クラブ：千葉幕張ロータリー・クラブ
 職業分類：酒精飲料
 最終学歴：千葉工業大学工学部卒
 ロータリー歴：1992 年 10 月 千葉幕張ロータリー・クラブ入会
 2002 - 03 年度 幹事
 2005 - 06 年度 会長
 2007 - 08 年度 地区ガバナー月信委員会委員
 2008 - 09 年度 地区 R 財団委員会奨学金小委員会委員長
 2009 - 10 年度 地区 R 財団委員会補助金小委員会委員長
 2010 - 11 年度 第 3 分区 A ガバナー補佐
 2011 - 12 年度 地区 R 財団委員会補助金小委員会委員長
 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者

地区大会プログラム 1 日目

2012年10月20日(土)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 各種委員会 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

会場 ホテル ザ・マンハッタン 各会議室

11:00	資格審査委員会	委員長	山田 修平
	選挙管理委員会	委員長	織田 吉郎
	決議委員会	委員長	中村 博亘

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 本会議第1日目 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

会場 ホテル ザ・マンハッタンルーナ
司 会 高橋 竜一
アシスタント 坂野 昌子

12:40	登録開始		
13:20	RI会長代理ご入場	RI会長代理	朴 柱寅
13:22	点 鐘	ガバナー	得居 仁
	国歌斉唱(大韓民国国歌、君が代)		
	ロータリーソング「我等の生業」		
	開会の言葉	ホストクラブ会長	岡本 克己
	RI会長代理紹介	ガバナー	得居 仁
	来賓紹介	ガバナー	得居 仁
13:40	ガバナー挨拶	ガバナー	得居 仁
13:55	RI会長代理挨拶	RI会長代理	朴 柱寅
14:05	11-12地区収支報告	直前会計幹事	高橋 光男
	11-12会計監査報告	直前監査委員長	五十嵐玲彦
14:20	各種委員会報告		
	資格審査委員会	資格審査委員長	山田 修平
	選挙管理委員会	選挙管理委員長	織田 吉郎
	決議委員会	決議委員長	中村 博亘
14:40	地区委員会報告		地区委員長
15:35	休憩		
15:50	表彰並びに感謝状贈呈(クラブ)	ガバナー	得居 仁
16:20	地区指導者育成セミナー		
	講師紹介	ガバナー	得居 仁
	演題「ロータリーの奉仕と平和」	RI会長代理	朴 柱寅
17:00	お礼の言葉	ガバナー	得居 仁
17:05	諸事お知らせ・閉会	司会	
17:10	点 鐘	ガバナー	得居 仁

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

会場 プリマベラ
司 会 谷口 雅樹
アシスタント 坂野 昌子

17:50	RI 会長代理ご夫妻ご入場		
17:53	開会の言葉	地区幹事長	高橋 孝夫
	ガバナー挨拶	ガバナー	得居 仁
	RI 会長代理挨拶	RI 会長代理	朴 柱寅
18:05	乾 杯	地区大会委員長	萩元 住明
	懇親の宴		
19:00	リマト室内合奏団弦楽四重奏	本庄篤子主宰	
19:25	閉会の言葉	地区副幹事長	高橋 直人

地区大会第1日目

2012年10月20日(土)
ホテルザ・マンハッタン

2012-13年度
国際ロータリー第2790地区
地区大会
会場

グライダハ
2012/10/8
開演券

RI 会長代理紹介

国際ロータリー第 2790 地区 ガバナー
得 居 仁 (松戸東 RC)

RI 会長代理をご紹介します。

お名前は、朴柱寅(パク ジュイン) 様、令夫人は、曹淳子(チョ スンジァ) 様でございます。

RI 会長代理朴柱寅(パク ジュイン) 様は、2011年から現職の国際ロータリー理事でいらっしゃいます。

国際ロータリー第3610地区大韓民国順天(スンチョン) ロータリー・クラブ会員で、職業分類は、弁護士です。

1989-90 年順天(スンチョン) ロータリー・クラブ会長

1997-98 年 国際ロータリー第3610地区ガバナー

に就任なさいました。

エイドをお願いいたしております、当地区平山金吾パスト・ガバナーと同期の地区ガバナーでいらっしゃいます。

1999 年、2004 年、2007 年、2012 年の合計 4 回、RI 会長代理をお務めになっておられますが、2007 年は第 2800 地区山形県での RI 会長代理でございます。

2012-13 年度は、国際ロータリー理事と併せて、RI 執行委員、RI 行政委員、RI 戦略計画委員、RI RAG 委員を兼務されておられます。

ロータリー財団大口寄付者(16 ストーン)、ベネファクター(\$ 5000)、遺贈友の会チャーターメンバー(\$ 1万)でいらっしゃいます。

国際大会には16回参加され、RI 規定審議会出席2回、日本でのロータリー研究会参加5回、日韓・韓日親善会議参加5回と、大活躍をなさっております。

2003年には「韓国ロータリーの進路」と題する426頁の大著を著しておられることから拝察されますように、韓国におけるロータリーの理論的

な指導者でもいらっしゃいます。

国際ロータリー第 2790 地区 2012-13 年度地区大会に、RI 会長代理として、朴柱寅(パク ジュイン) 国際ロータリー理事をお迎えできましたことを、何よりも光栄に存じておりますことを申し添えまして、ご紹介を終わります。

ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2790 地区 ガバナー
得 居 仁 (松戸東 RC)

本日ここに、ご来賓をはじめ、地区役員、並びに地区内各クラブ会長・幹事の皆様のご参加を頂きまして、国際ロータリー第 2790 地区、2012-13 年度地区大会第 1 日目が開催されますことを大変光栄に存じております。

日本から、30年ぶり、3人目である2012-13年度田中作次国際ロータリー会長が、大韓民国より、国際ロータリー理事・朴柱寅(パク ジュイン) 様、曹淳子(チョ スンジァ) 様ご夫妻を、RI 会長代理ご夫妻として派遣して下さいましたことに、衷心より感謝申し上げる次第であります。

RI 会長代理朴柱寅(パク ジュイン) 様は、国際ロータリー第3610地区・大韓民国順天(スンチョン) ロータリー・クラブ会員でいらっしゃいます。

1933年5月20日のお生まれで、我が国の司法試験に相当いたします大韓民国・第10回高等考試司法科合格後、約20年間検察官として奉職なさいました。

その後民間に転じて弁護士を開業され、世界屈指の粗鋼生産量を誇る世界有数の製鉄会社であります株式会社 POSCO の法律顧問弁護士や POSCO 教育財団理事などをお勤めになられ、2011年からは国際ロータリーの理事にご就任なさっております。

田中作次 RI 会長とは、RI 理事として大変ご昵懇の間柄にあるとお聞きしておりますが、2012

年度 RI 執行委員、行政委員、戦略計画委員なども兼ねておられますので、田中作次 RI 会長の良き相談相手として、ご活躍しておられるものと拝察致しております。

当地区大会に RI 会長代理としてお迎えするに当たり、朴柱寅（パク ジュイン）RI 理事様が、2011年ニューオーリンズ国際大会の日本人朝食会で、「日本のロータリアンが職業奉仕を大切にしているのを高く評価致します。」とご挨拶なされたお姿が、正眼に構えた武士のように凛とした風格であったことが、鮮やかに蘇って参りました。

ところで、田中作次 RI 会長の今年度 RI テーマは「奉仕を通じて平和を」であります。

田中会長は、ロータリー・クラブに入会した後、どんな些細なことでも、「平和」につながることに気づいた。

「平和」は人によって様々な意味を持っているが、どのような意味においても、ロータリーでそれを実現することができる。

国や民族間の友情と寛容を推進することで、互いに理解し合う最も伝統的な意味での「平和」の後押しをしてくれる、とされて、広島を含む世界3都市での「ロータリー世界平和フォーラム」の開催を決定されました。

また、ロータリアンは、自分よりも他の人のニーズを重視する。「超我の奉仕」という言葉は、自分のためだけではなく、社会全体のためを考えよと教えてくれる言葉である。「超我の奉仕」を実践することにより、私たちは、「平和」すなわち「心の平安や家族の幸せ、満足感」「人間の基本的なニーズが満たされた安全な状態」を実現することが出来る、とされておられます。

地区ガバナーの任務は、地区内クラブに対する指導と監督を行うことと、ロータリーの綱領を推進することにあります。

ロータリーの綱領は「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し」と宣言していますから、ロータリーの目的は、奉仕という基本理念の上に立って事業が行われるようにすること



であり、職業奉仕の推進こそがロータリーの目的、目標であるというべきであります。

因って、私は今年度、地区内クラブに対して、職業奉仕の更なる推進を図るよう強く要望しております。

具体的には、職業奉仕の理念の理解を深め、職業奉仕の実践を極めていくことを目指して、クラブに研修委員会を設け、或は研修を担当する委員会を定めて、クラブ会員の研修を重ねること。その効果により、高潔で、品格、徳性を備え、地域社会で尊敬されるロータリアンを数多く生み出すことを目指して居ります。

田中 RI 会長からの要望事項であります「クラブのサポートと強化」並びに「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を果たし、ご期待に添えるよう、ご協力の程お願い致します。

また、新世代奉仕が第5の奉仕部門に加えられたことに鑑みまして、地区新世代奉仕委員会に、RIの新世代奉仕常設プログラムの他に一般プログラムを担当する委員を任命しました。

また、地区内クラブに対しましては、社会奉仕委員会とのクロス・プロモーションによる新たな新世代奉仕活動を立案、実施し、田中 RI 会長の要望事項であります「人道的奉仕の重点化と増加」に資することを、お願い致しております。

更に、第2790地区が、このところ何年にも亘って会員数を減らし続けている傾向に、今年こそ歯止めをかけて、増強への反転の年といたしたいと決意しました。

地区内クラブに対して、それぞれ純増1名の実現に力を尽くすようお願い致して居ります。地区内全クラブが1名純増を果たして下されば、当地区は84クラブ、即ち84名の純増になり、今年度当初の会員数2689人のおよそ3%強の増強に相当します。これは丁度毎年3%ずつ3年間継続して、全世界で10万人を増強したいとするRIの要望にも合致することになります。

田中作次RI会長が仰っておられるように、入会できる人ではなく、ロータリアンとなれる人を、また同様に、勧誘するに当っては、皆様がロータリーから恩恵を受け、ロータリーを愛しているからこそ、皆様と同じ気持ちで勧誘される方にも味わって頂きたいと思って勧誘に励んで下さい。皆様方を先頭に、クラブ会員が一丸となって、情熱を奮い起こして、何としても地区全体で、最低でも84名の会員純増を実現して下さいます様、強く希望致します。

本日の大会第1日目は、地区指導者育成セミナーを兼ねております。

16時20分頃から、RI会長代理朴柱寅（パクジュイン）様に、「ロータリーの奉仕と平和」と題してのご講演をして頂きます。

ロータリーの、そして第2790地区と地区内クラブの近未来は、ひとえに地区指導者皆様方の双肩に掛かって居ります。

私たちロータリアンが、現職のRI理事から直接ご指導を受けることが出来る機会は、滅多にあることではありません。

皆様方が、RI理事であるRI会長代理朴柱寅（パクジュイン）様のご講演をお聞きになって、ロータリーの真髄に触れることができ、そしてそれが、ロータリーの綱領の更なる推進の、力強いリーダーシップを発揮する契機となりますことを、強く念願しております。

大会第1日目が、実りあるものとなりますことを切に祈念致しまして、ご挨拶と致します。

クラブ奉仕委員会

委員長

杉山俊明（銚子RC）

本年度クラブ奉仕委員会は会員増強と広報を担当しております。増強に関しては、現在皆様から頂いた増強に関するアンケートの整理、分析の作業を進めています。皆様のお力添えのお蔭で地区内84の全クラブから回答を頂く事が出来、1月26日に開催致します増強セミナーに向けての貴重なデータの収集が出来ました。ご協力ありがとうございました。

さて、会員増強につきましては、2790地区に於いても依然減少が続いている事は皆様ご存じの通りであります。本年度得居ガバナーは、各クラブ純増1名の増強を皆様をお願いしております。当地区の本年度当初の会員数は昨年度のスタート時から比べ22名減の2689名でした。今8月の時点で84クラブ中会員の減少したクラブはなく、69名の純増で2758名となり順調な滑り出しとなっています。実は当地区は各年度中の拡大と云う点だけで見れば数字的には決して悪くはないのですが、それを上回る退会者により結果的に増強に繋がらず会員減少となっています。この事から会員拡大と同時に会員維持に課題がある事が判ります。入会した会員がロータリーの奉仕の心を培い永く会員である為には、基盤のしっかりした魅力あるクラブでなければなりません。ロータリーに於ける会員増強は人数を増やすだけでなく、志を同じくする者の仲間づくりを強く意識すべきであり、その事が会員数の維持に繋がると考えます。会員減少の続くこの様な時だからこそ各クラブが自クラブの良いところ、悪いところ、強いところ、弱いところ等々を再確認し、退会者の少ない充実した魅力あるクラブづくりを目指さなければならないのではないのでしょうか。バランスの良い増強のあり方が拡大と維持にあるならば、今一度クラブのあり様を見つめ直す事も必要と想います。本年度はその様な

本来の増強のあり方を皆様と共に考える事が出来ればと思い、アンケートを活用した「増強・維持セミナー」を会員減少が顕著な年度後半の1月26日に企画、開催致します。皆様のご協力、ご参加を宜しくお願い致します。

広報につきましては、地区協議会でも申しました様にRIの戦略計画「公共イメージと認知度の向上」により、ウェブサイトの広報ページからクラブや地区が地域でロータリーを広報する為のリソース、メディアとの協力方法やヒントが提供される事から、これに対応すべく地区ホームページの改訂、有効利用を検討、各クラブが其々の地域でロータリー活動を通じた広報のあり方を考えて頂ける様な情報提供が出来ればと考えています。従って、特別な場合を除いて地区主導の広報活動は致しません。



職業奉仕委員会

委員長

海 寶 勳 一 (千葉西RC)

田中作次RI会長は、ご自身の体験したことから、打算的に利益だけを追求する商売人でなく、まずは社会に尽し人様に思い遣る優しい心を込め真心をもって事業をすることが、結果的に自身の商売繁盛につながることを開眼できたと、10月号の友誌記事で、職業奉仕の有意義さを伝えてくれています。

今年度得居ガバナーは、活動運営の要望事項として職業奉仕の推進を掲げてくれました。まずは、ロータリアンとして守るべき綱領を良く理解し、その奉仕の理想を基本とさせて、つねに相手方を思い遣る優しく豊かな心を持ち、各自が事業繁栄に邁進することと述べております。更には綱領の推進こそが職業奉仕の推進でもあると結論付けて、田中作次RI会長のお考えを先取りするように、ガバナーの年度要望事項として職業奉仕の一層の推進を提示されました。それはまさしく、綱領の2項に書かれている、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる事業は尊重されるべきであるとの認識を深め、ロータリアン各自が職業を通して社会に奉仕する為には、その業務の品位を有らしめることだと言うことを理解し、ロータリアン自らが身に着けることだと思います。その手法としては、クラブ会員の自主的な研修によるクラブ強化を提案されました。このことを踏まえて、私達地区職業奉仕委員会は、クラブメンバーの皆様にお互いに胸襟を開いて、自由闊達な双方向意見交流をする場の提供を考えてみました。

我々ロータリアンは定款第8条の職業分類によって選ばれた良き職業人同士であります。自らの職業を素直な立場で話し合い、職業人としての道徳や倫理の向上をはかり、品位をもった人間性を高めるためには、会員同士が日常の事業生活を、話し合い語り合いを深めることを活動方針としたの

です。

得居ガバナーも一緒に考えられた討議のテーマですが、職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おうと目標が決まりました。そのためには、私達地区職業奉仕委員会の立場は地区内第85番目のクラブ委員会仲間であると位置づけて、まずはクラブ職業奉仕委員長さんと話し合い語り合う場を設けることと結論がされました。その考え方としては、すでに体験された隣接2分区ごと計7回のクラブ委員長セミナーを開催して様々な他クラブメンバーの職業倫理や誇れる人間性を語り合ってもらい、クラブ委員長さんがロータリー情報研究会の、テーブルマスターとして準備のためのヒントを学んで頂くためでした。その資料として作成した4つの挿話を題材にして、職業人として活躍されるご自身の考え方を、お互いに伝え語り話し合うことは、一層尊敬され、模範的な職業人となりえる、最も善い学び合いの手段でもあると思います。何よりも、大きな筋道として職業人同士が理解と価値を分かち合い切磋琢磨できる場になります。良き職業人として、礼節さをもって人の話を聴き入れ、良き節度をもって他者に話をする場からは、ロータリー情報研究会のテーマである職業奉仕に生きること

話し合い 話し合おうという気概が生まれ、克己心が一層深まることを期待できます。職業奉仕の知識や歴史を学ばずに、双方向意見交流の結論も求めない今年度のロータリー情報研究会に対して、なにかしらのご不満をお持ちの方もいらっしゃるでしょうか。職業奉仕の理念や、歴史観だけを深く掘り下げて学びとることだけが、ロータリアンの研修スタイルでないと思います。世の中の人々から信頼と尊敬を受けて、日々模範的な職業人としての信用を大きく得ることに、私達ロータリアンの使命があることを自覚する必要があります。

日々自己研鑽し向上するのであれば、毎例会時に自らが示している、何気ない言葉遣いやしぐさこそが最も大切な学びあいになっていることに気付きべきです。日々心を高めて魂を磨く気高さに精進するなかで、最も良く奉仕をするもの最も多く報いら



れることが実感できるでしょう。

一生懸命に生きる職業人の立ち居振る舞いが、自分自身のしぐさとして、例会を通してさりげなく感化し合えることができると信じ、皆様と話し合い語り合う場からは、少しでも研鑽と向上の価値が高まり、徳性と品格あるロータリアンに成長されることが期待されます。更にはロータリー情報研究会が、価値と稔りが高まる双方向意見交流の語り合いの場に発展することを念じております。

人様と信頼の分かち合いをしながら、自身のしぐさに誇りをもって、一層四つのテストを有益に活用し、自己啓発と向上心に結び付けていけたら嬉しい限りです。礼節差を身に着け、世の為人の為に率先した思い遣りを発揮できる職業人と自覚するためにも、職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おうの双方向意見交流が定着し、各クラブ例会に於いても、一層活発に実施されることを期待しています。

社会奉仕委員会

委員長
中山 政明 (松戸 RC)

社会奉仕委員会では4名の地区委員で構成され、活動いたしております。

地区社会奉仕委員会といたしましては、各クラブ、ロータリアンの地域における社会奉仕活動のサポートに心がけ、情報提供を使命といたしております。

今年度は、3.11東日本大震災後2年目を迎え、ボランティア活動も大幅に減少するなか、当地区社会奉仕委員会では、新世代奉仕委員会と、『ロータリーは大震災に何が出来るか』をテーマに合同セミナーを開催いたしました。

阪神淡路大震災の被災者と東日本大震災の千葉県内の被災者兩名を招き、両氏の講演を拝聴し、その後にパネルディスカッションと各クラブとの相互意見交換の場を設け、各クラブ及びロータリアンは、防災と震災支援活動にどうかかわるべきかの参考になればと思い開催いたしました。

地区内161名の参加を頂き、地区全会員の皆様に被災支援活動の例として「台湾から日本の被災地に贈る手紙」をお配りいたしました。

当地区では、多くのクラブが大震災支援活動を行っております。

各クラブの自主制を重んじ、それぞれ多くの社会奉仕活動がより活発に行われるためのお手伝いを続けたいと思います。



国際奉仕委員会

委員長
村岡 実 (市川 RC)

国際奉仕委員会の報告を申し上げます。新年度がスタートする段階に於いて、得居ガバナーは、地区委員会に対し「第2790地区委員会クロスプロモーション」による活動を要請されました。異なる委員会が垣根の枠を超えて、5つの奉仕の分野が相互に連携し行動することにより、それぞれが活性化し新たな価値を生み出してくれるであろうと申されました。この方針により今年度の国際奉仕委員会は、ロータリー財団委員会との合同セミナーを開催することといたしました。両委員会の委員の皆さんと一致団結し、8月4日(土)に京葉銀行文化プラザにて320名の参加をいただき、盛況の中無事セミナーを終了することができました。本当にありがとうございました、改めて厚く御礼申し上げます。



内容といたしましては、午前10時より午後4時までの1日かけた長時間の合同セミナーでした。「大きく変わるべき国際奉仕」と「夢で終わるなR財団」をメインテーマに、国際親善奨学生学友会会長との対談や、映像での平和フェローの紹介、グローバル補助金と新地区補助金については、具体的な国際奉仕活動を紹介しながら、参加者との意見交換をいたしました。次年度から開始する「未来の夢計画」の内容と、国際奉仕委員会とロータ

リー財団委員会が連携することの重要性を理解していただけた合同セミナーになったことと思います。

セミナー終了後、3つのクラブからグローバル補助金を申請しての国際奉仕活動を計画してみたいとの相談がありました。ぜひこの補助金を積極的に活用していただき規模の大きな国際奉仕活動にチャレンジしていただきたいと願っております。

現在、木更津東ロータリー・クラブより、「山羊銀行プロジェクト」ということでグローバル補助金の申請を計画していただいております。このプログラムは補助金の重点分野である基本的教育と識字率の向上及び経済と地域社会の発展の2分野に対し大きく関連するものであり、素晴らしいプロジェクトであると期待いたしております。詳しい内容につきましては、今後グローバル補助金の申請クラブの情報などを、地区ホームページに掲載していきたいと考えております。このグローバル補助金の申請は来年1月の国際協議会の後、2月ごろから正式に申請の受け付けが始まるようですから、規模の大きな国際奉仕活動にチャレンジしたいクラブがあれば、国際奉仕委員会とロータリー財団委員会が協力し、申請までの手助けをさせていただきたいと思っておりますので、引き続き各クラブのご理解とご協力をお願い申し上げます。報告とさせていただきます。

新世代奉仕委員会

委員長

津留起夫 (市原 RC)

本年度上半期事業の報告と予定、並びに委員会所感を報告いたします。



1) 事業報告

① インターアクト・プログラム

提唱数 16クラブ(内1クラブ休止) インターアクター数 270名

・国外研修

8月1・2・3・4日 ホスト地区
RID3520 (台北)

台南 烏山頭ダムにて八田與一氏墓参

台北 高齢者擁護施設「愛愛院」慰問

RID3520 インターアクターとの交流





・IA 地区年次大会

開催日：2012年8月20日
 場所：東海大学附属望洋高校
 主催：東海大学附属望洋高校 IAC
 ホスト RC：市原中央 RC
 講演：東海大学健康科学部社会福祉学
 科 竹之内章代様
 共同制作：ターゲットフラッグ製作「気持ち
 ちを一つに 絆を深めよう」



・合同委員会

開催日：2012年6月22日
 場所：千葉市民会館
 参加者：IA 顧問教師・提唱RC委員長
 内容：IA 地区年間行事説明と各 IAC の
 活動予定発表

開催日：2012年9月7日
 場所：千葉市民会館

参加者：IA 顧問教師・提唱 RC 委員長
 内容：国外研修報告・年次大会報告及
 び各 IAC の活動内容報告

②ローターアクト・プログラム

提唱数 9クラブ(1クラブ休会) 会員数
 77名

・合同会議第1回

開催日：2012年7月19日
 場所：千葉県青少年女性会館
 参加者：RAC 7名・提唱 RC 13名
 内容：RA 地区年間予算と事業説明

・RA 地区交流会 一宮市内にて

開催日：2012年9月22・23日
 場所：一宮少年自然の家
 参加者：RAC 20名・提唱 RC 3名

③ RYLA セミナー・プログラム

- ・参加者を20歳以上のシニアと19歳以下のジュニア層に分けて計画
- ・実行委員会を組織
- ・来年のセミナーに向けて活動

④青少年交換プログラム

- ・派遣生徒2名
 - ★斉藤麻理奈さん
 スポンサー RC：勝浦 RC
 ホストクラブ：RID5420 West Jordan RC
 米国ユタ州ウエストジョウダン市
 - ★久保田 樹君
 スポンサー RC 茂原中央 RC
 ホストクラブ：RID5330 Palm Springs Evening Star RC
 米国カリフォルニア州ランチョミラージ市
- ・来日学生3名
 - ★エバン君：米国カルフォルニア州アップルバレイ出身

スポンサー RC : RID5300 RC of Victorville

ホストクラブ 千葉東RC

★カイリーさん：米国ミシガン州ビューロー出身

スポンサー RC : RID6290 Frankfort and Benzie Sunrise RC

ホストクラブ 市原RC

★フィリップ君：米国ハワイ州キハイ出身

スポンサー RC : RID5000 RC of Kihei-Wailea

ホストクラブ 勝浦RC



フィリップ君

- ROTEX : 会長 杉浦成人 他6名
- 合同会議 7月・8月・9月
内容：カウンセラー OR・ホストファミリー OR
- 全国青少年交換委員長会議出席：2012年7月8日 東京品川
- エクスカーション
IBとROTEX親睦会（東京ディズニーシー）・2012年9月30日
参加者 IB3名 ROTEX5名



エバン君



カイリーさん



- RI 青少年交換P地区再認定の手続き書類を提出（2012年9月1日）
- 危機管理委員会出席：管理規定が改定された。

⑤一般プログラム

- ・7月7日 社会奉仕委員会合同セミナーを開催
- ・飯岡地区震災復興(光と風キャンペーン実行委員会)に参加
- ・9月29日 木更津東RCが飯岡地区避難道路整備の奉仕活動

2) 事業予定

①インターアクト・プログラム

第3回合同会議開催

2013年2月15日 千葉市民会館

第46回指導者講習会開催

2013年5月10日 市原中央高校

ジュニア RYLA セミナー参加

2013年6月15・16日

受入事業 RID3520 インターアクター(未定)

②ローターアクト・プログラム

- ・合同会議開催 第2(11/11)・3(1/20)・4(3/24)・5(5/19)回
- ・リーダーシップフォーラム開催 2013年2月16日(or 23日)
- ・RA 地区年次大会開催 2013年4月27日
- ・RA 地区関東ブロック研修会開催 2013年6月1・2日
- ・RID3520 地区大会参加(RA交流会検討) 2013年4月20・21日
- ・全国 RA 研究会参加(熊本県) 2013年2月9・10日

③ RYLA プログラム

★シニア RYLA セミナー

2013年3月1・2・3日・県立鴨川青年の家

★ジュニア RYLA セミナー

2013年6月15・16日・JR 新習志野駅前幕張セミナーハウス

「自分のことばで自分をプレゼン」

④青少年交換プログラム

- ・現在応募数 長期派遣希望1名 短期派遣希望1名
- ・選考会 2012年10月28日
- ・派遣生と来日学生(IB)のORS(6回開催)
- ・IB 学生 エクスカーション数回
- ・国際大会(リスボン) 青少年交換委員会プレコンベンション参加
- ・RIJYEC 主催青少年交換セミナー参加

⑤一般プログラム

- ・飯岡地区震災復興(光と風キャンペーン実行委員会)に継続参加
- ・ロータリー世界平和会議(広島市)参加(IA・RA・RYE)

委員会所感:

①ローターアクト担当委員 嘉規 洋(船橋西 RC)
今年度からローターアクトの定例会に提唱ロータリー・クラブから代表者に出席して頂き、ご意見やご協力を頂く試みを実施しています。第1回の合同会議ではローターアクトの会員減少について話し合いが行われ、問題を共有して頂くことができました。しかし、第1回合同会議の出席者はローターアクトよりロータリアンの方が多く、「なぜローターアクトの出席者が少ないのか」との声が聞かれました。交流会ではその逆で、「もっとロータリアンが参加してもいいのではないのか」という声が聞かれました。

この実態からローターアクトとロータリー双方の関わりが希薄であることが感じられます。そんな中、休会していた茂原ローターアクト・クラブが12名で今年度からリスタートすることができました。その陰には提唱ロータリー・クラブの方々が情熱をもって会員獲得に向けて各方面に働きかけをしてきたご苦労がありました。ローターアクトを育ててい

くためには、ロータリーは親が子を育てるように時には厳しく、時には優しくし関わり、そして将来は立派なロータリアンにするつもりで指導していかなければならないと思います。

ローターアクト出身ロータリアンを把握するために地区内84クラブに調査依頼をしています。今現在、回答率は57%で該当者は14名います。興味深いのは柏RCに6名、館山RCに3名と集中している傾向があります。この方々にお話を伺い、ローターアクトの会員増強や、ローターアクターからロータリアンなるためへのヒントを得たいと思います。

近隣10地区が毎年持ち回りで開催する関東ブロック研修会を今年度はRI2790地区が担当します。盛り上がりには欠けないようにするためにも一人でも多くのローターアクターを増やさなくてはなりません。提唱ロータリー・クラブや近隣ロータリー・クラブの皆様にお知り合いの若者をローターアクト・クラブにご推薦下さい。宜しくお願い致します。

②青少年交換担当委員 岡村 美智子(佐倉RC)

2011-12年度、茂原中央RCよりの長期派遣生・久保田樹君の、派遣先が決まらないまま、2012年度入りし、色々な事情からすべて最初から出直した作業となってしまう、紆余曲折を経て、2012年10月10日出発し、留学先のカリフォルニア州パームスプリングスに無事到着しました。直前委員会からの引継で最大の仕事でした。

同じく2011-12年度、市原RCより長期交換留学生としてカナダ留学予定だった、女生徒が諸事情でキャンセルとなり、同クラブ受け入れのKylieさんのホームステイ先が急にNGになってしまい困り果てている折、市原RCのカウンセラー斉藤氏のお骨折りと本当に突然のことでしたのにホストファミリーをお引き受け頂いた、市原RC西村様の

温かいご支援のお陰で解決に至り、ロータリアンスピリッツの素晴らしさに、感動し心より感謝しております。

毎月のオリエンテーション、帰国報告会、ROTEXとの親睦会(ディズニーシー行き)、など津留委員長の全面的なバックアップと新世代委員の皆様やROTEXの杉浦会長や皆様のご尽力・ご協力のお陰で委員会業務を遂行しております。今年度より事務局が廃止されておりますので、尚のこと情報を複数の関係者を含め委員会の中で共有することは、危機管理の面でも、業務遂行の面でも大きな意義・必要性ありと実感しております。

③インターアクト担当委員 津留 起夫(兼務)

インターアクトの提唱クラブ数が伸び悩んでいます。その中で、今年度提唱事業を立ち上げるべく準備をされているクラブがあります。地区委員会としまして、そのクラブと寄り添いながら、支援をしております。

今年度の目標の一つに、千葉県高等学校文化連盟インターアクト専門部会との結びつきを強くし、顧問教師の皆さんとともに手をたずさえてインターアクト・プログラムを推進することがあります。それは、各提唱クラブと提唱先高校IACとの関係が「希薄な関係」と危惧されている現状を打破したいとの思いからなのです。本年度の指導者講習会でもインターアクターが発表した意見の中に、「ロータリアンとの交流を活発にしたい」「もっと学校に来てほしい」と生徒側から交流の濃密化を希望しているのです。そのニーズをくみ取れないもしくは届いてない現状を、提唱クラブは自覚をしなければなりません。

④むすび

ロータリーは倫理運動といわれています。特に「職業倫理」の実践を「職業奉仕」とし表現し、ロータリーの根幹を成す重要な一部門に挙げているこ

とは十分知られているところです。同様に新世代奉仕委員会は、12歳から30歳までの年齢範囲で、「社会倫理」として最も価値のある一つとされる「新世代の育成」を「新世代奉仕」として表現しています。

新世代のニーズをRIは、4つの項目（健康・人間の価値・教育・自己開発）に焦点を当てていますが、それに加えて、新世代の育成をすることは、自分を大切にすることをまず育み、他の人を大切にすることを育てることであり、最終的には「世界の平和」を考えることができ、その実現に向かって努力を惜しまない若者を育てることでもあります。

倫理の「運動」というからには、「運動」のエネルギーとなるものが必要であります。それは何か。それは、ロータリアン一人一人の「熱意」以外にはあり得ないのです。熱意は何によって生まれるのでしょうか。若者への「関心」と「愛情」なのであります。

少なからず何らかのニーズによって84のクラブは、新世代奉仕に関わりを持っているものと信じております。しかし、「新世代の育成」に全く関与してこなかったクラブは、「何もしない」という自主権をかざしている事に、気が付いて頂きたいと思えます。ロータリアンは、いつも他の人々に奉仕をしたいという感情を持っております。その感情は、関心と愛情なのであります。奉仕をする主体は、「クラブ」です。地区の委員会ではありません。クラブが何もしないからと言って、地区委員会が主導権をとることは、間違っているのです。少なくとも地区委員会は、クラブと共にプログラムを動かし、最後はクラブにゆだねる努力をしなければなりません。

公園の木々が揺らいでいるのを見ます。木々の葉をゆすっているのはそよ風です。しかし、風の存在は葉が揺れていることによって知り、頬にさわやかさを感じるによって風を知るのです。自信を

持ってください。このようにロータリーの奉仕は、目に見えないけれど確かに作用をしているのです。そして、クラブを構成する全ロータリアンの「愛情」の総和が風となり、若者の心に温かく届く努力を惜しんではならないのです。

わたくしたちの歩みは、とても小さなことを自覚しなければなりません。しかし、その小さな一歩、小さな奉仕に、大きな愛情を込めることはできるのです。私たちロータリアンは、このことを決して忘れてはならないのです。

マザーテレサはいいます。愛情の反対は、憎しみではありません。無関心なのです。

（学びて奉仕）

ロータリー財団委員会

委員長

織田 吉郎 (銚子 RC)

〈代読 副委員長 伊原 清良 (松戸 RC)〉

ロータリー財団委員会・織田吉郎委員長の代読で副委員長の伊原清良がご報告申し上げます。

2017年にロータリー財団は創設百周年を迎え「未来の夢計画」(Future Vision Plan)を立案し、「新地区補助金」や「グローバル補助金」をスタートさせます。地区委員会『国際財団活動資金(WF)から財源を引き出す』にはどうするべきか、変化中の膨大な情報と格闘中であります。

そして当地区もいよいよ次年度(関口年度)から「未来の夢計画」が適用されることとなります。

ご承知のように、財団プログラムの業務サイクルは年度をまたいでいきます。MOU(覚え書)や事務処理も煩雑で1つタイミングを間違えると1年を棒に振るなどということにもなります。

今までの実績としましては

- ① 8月4日に開催した、国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会との合同セミナーには、各クラブから会長、幹事、国際奉仕委員長、R財団委員長の皆さんを中心に310名の参加者を得て「未来の夢計画」の概要をご説明いたしました。くわしくは地区ホームページをご覧ください。
- ② 「ロータリー地区奨学生」(旧国際親善奨学生)のオリエンテーションは「ロータリーの基本を理解してもらうこと」に重点を置いて、スポンサークラブの会長・幹事・カウンセラーにも同席いただいて有意義な意見交流の会を開催しました。学友会OGのロータリーへの感謝の言葉にはプログラムの質の良さを実感しました。ロータリーにとって学友会のネットワークは宝物であります。
- ③ 旧システムの最終年となる地区補助金は、19のクラブから申請を頂き、希望金額の合計は87,000ドルとなりました。補助金は

25,000ドルしかありませんので現在、委員会では真剣に配分案を作成中です。ご希望金額どおりならないと思いますが、ご寛容くださるようお願いしておきます。

- ④ グローバル補助金部門プログラムの1つ「ロータリー奨学生」は2人の希望者が国際財団の高く厳しいハードルにチャレンジしています。次年度、何としても最低一人は送り出したいと必死に国際財団にくらいついています。近々、希望者との面談を予定しています。
- ⑤ グローバル補助金部門の他の「人道的プロジェクト」は可能性の高いプログラムを申請して頂けそうなクラブがあります。どうか他クラブのみなさんも、思い切ってチャレンジして下さい。
- ⑥ ロータリー世界平和フェローの会合やロータリー財団地域セミナーなどへも参加いたしました。

平和やポリオ絶滅など、更には他地区の動向なども勉強させて頂きました。

そして11月は財団月間です。例年ですと地区委員会に卓話要請が集中します。今年は各クラブの財団委員長、または国際奉仕委員長さんにお話して頂きたいと思います。理由は2つあります。最大の理由は、ご自分のクラブで卓話をするはその事前準備として「未来の夢計画」を勉強して頂くことになるからです。2つ目の理由は、地区委



員会は委員の数が少ないことです。どうかご理解いただきたくお願い申し上げます。そのかわり、疑問があれば何時でも、どんな質問でもお寄せ下さい。いつも申し上げているように地区委員会とはいつでも「未来の夢計画」のスペシャリストの集団ではありません。クラブの皆さんと一緒に考え、一緒に悩んでゆくこととなりますが、一つ一つのご質問に誠意を持ってお答えしてまいります。寄付をして頂くことにとどまらず、寄付された資金を有効にお使い頂くこと、それも『クラブ活性化』の重要な柱であることを再度ご確認お願い申し上げ、地区ロータリー財団委員会の報告とさせていただきます。

ロータリー米山記念奨学会委員会

委員長

平野 一隆 (大原 RC)

米山奨学会委員会の主要な役目は、「寄付増進」「奨学生・学友」「選考」の3つとなります。

1 番目の寄付増進について

寄付増進のためには、まず、米山記念奨学事業への理解促進が第一、そのためには、それぞれのクラブで委員長の指導力発揮していただくことが必要と考え、クラブ委員長セミナーにおいてさまざまな情報を提示いたしました。

- ・全国及び地区内における米山奨学事業の説明
- ・前年度実績・奨学生名簿と活動状況・学友の群像とホームカミング
- ・指定校とその被推薦枠
- ・広報のためのツールの活用

①豆辞典 ②「ロータリーの友」よねやま
より ③ハイライトよねやま ④米山記念奨学会ホームページ紹介

ロータリー米山記念奨学会への寄付金は年々減り続け、2012 学年度には全国で 800 人採用できた奨学生数が、2013 学年度は 700 人と減っています。第 2790 地区で見ますと、27 人から 23 人となります。日本のロータリーにもっともふさわしい国際奉仕事業と言っても過言ではない「米山記念奨学事業」を衰退させないためにも、今年度の地区個人平均寄付目標金額（普通寄付を含む）を、昨年と同じ 15,000 円 以上とお願いしております。

2 番目の奨学生・学友について

奨学生ケアとカウンセラー制度の充実のため、オリエンテーション、研修会を行ってまいりました。

5 月 奨学年度開始にあたり奨学生・カウンセラーオリエンテーション

7 月 カウンセラー研修会

- 9月 米山梅吉記念館研修探訪旅行
 10月 大会2日目11:00より 学友会主催「米山の集い」
 本年度奨学生 27名中 24名が出席の予定です

「どんな奨学生に育ってくれたか」を念頭に置き、委員会と世話クラブ、カウンセラーは協力し、地区内ロータリアンに認めてもらえるような奨学生を育てていきたいと考えております。

学友会とは、元米山奨学生と現役奨学生によって組織される会です。奨学期間終了後もロータリーと絆を結び、学友同士の友情を深める役割を果たしています。

10月14日 学友会会則改正等を含む臨時総会開催いたしました。

- ・現役米山奨学生若干名を代表理事とする
- ・顧問に当該年度地区委員長が就任する
- ・地区より学友会助成金を給付する

等、地区委員会と地区学友会の更なる意志疎通を図り、学友会の自立を目指すために会則を改正いたしました。奨学生達には、様々な機会を通じて学友会活動への積極的な参加を強く呼びかけています。

また、今年度、地区で初めて「ホームカミング制度」を活用いたします。ホームカミング制度とは、活躍する元米山奨学生をロータリー地区に里帰りさせ、旧交を温め、その成長と活躍振りをアピールしてもらうための制度です。大会2日目の明



日13:10より、中国語圏を代表する村上春樹作品の翻訳家として著名な元米山奨学生 頼明 珠氏の講演を予定しております。

3番目の選考について

ガバナー指導のもと「指定校選定委員会」を組織し、過去実績・大学PR等を考慮して指定校・被推薦枠を協議し、結果7校増加 21校と門戸を広げました。また、指定校に提示する「選考の目安」を決定いたしました。昨年からの主な変更点といたしましては、

- ・指定校から複数の推薦者がいる場合は一カ国の国籍割合を30%以内とする
- ・海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金制度（来日初年度から留学生を支援できる新しい制度で、日本語力を合格条件にしない）を新たに採用する

の2点です。

今後、11月上旬に「選考委員会（面接官を兼ねる）」を組織し、地区の方針に統一の見解を持ち不公平のない選考をするために、面接官を対象としたオリエンテーションを導入する予定です。

「どんな奨学生を採用したか」地区内ロータリアンの期待に応えられるような奨学生を採用するという重い責任を認識し、選考は慎重を期して行います。

その後、地区内に「世話クラブ・カウンセラー制度」の理解を深めてもらうため、近年の世話クラブ実績を検討した上で、より幅広く世話クラブの案内及び依頼をする方針です。

最後になりますが、得居ガバナーは、今年度地区ロータリー米山記念奨学会委員会に対し、「米山という、日本のロータリアンが世界に誇れる他に類を見ない優れた奨学金制度の素晴らしさを、地区内クラブ会員全員に一人残らず知ってもらえるような、啓蒙のための活動をお願いします。」と仰いました。

私達地区委員はそのことを念頭に置き、奨学生・

学友を伴っての卓話を積極的に行なっております。地区委員からの、米山奨学事業についての説明解説を求められるクラブもあります。現在までに18クラブ、残り6クラブ、合計24クラブから卓話依頼がありました。委員会では、奨学生全員に1度は卓話をさせたいと考えており、これ以降も卓話予定のないクラブに働きかけ、積極的に卓話に出かける予定です。

以上、これまでの活動と今後の方針を報告申し上げます。

常盤平さくら通り



日本の道百選

ロータリーの奉仕と平和

RI 会長代理

RI 理事 朴 柱 寅

<目次>

1. 序論
2. 2012-13年度テーマの時代精神は何か
3. ロータリーの奉仕とは何か
4. 奉仕はなぜすべきか
5. ロータリーにおいて平和とは何か
6. 職業奉仕で平和を実現できるか
7. 結論

1. 序論

尊敬する得居ガバナー、安蒜俊雄実行委員長、パスト・ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニ、敬愛するロータリアンと家族の皆様、今日は。

この度、私と家内は、田中作次国際ロータリー会長ご夫妻から、第2790地区の地区大会に会長代理として、参席するよう招待されて、このように皆様とお会いすることができまして、身に余る光栄に存じますと共に、心からの御歓迎に感謝を申し上げます。

2.2012-13 ロータリー年度のテーマの時代精神は何でしょうか

田中作次会長は少年時代、世界第2次大戦（日



本の大東亞戦争)を自ら体験して、戦争が人間の尊厳さを蹂躪するばかりでなく、悲惨な破壊現象をみて、戦争は絶対起こってはならない、不道徳きわまる悪事だという、信念を胸にきざみました。

そして又、2011年3月の東日本大地震において、人類の文明とその痕跡が、自然の威力に依ってめちゃくちゃになるのを見て、戦争と自然の威力に依る平和の攪乱は、再び起こってはならない人類の公敵であることを悟り、ロータリーがどうすればこれをなくすのに役立つかと苦心の末、ロータリーの唯一無二の武器である奉仕(service)を通じて、戦争と災難のない、平和の理想郷を立てることが、ロータリーの使命であるという結論に至り、2012-13年度のテーマを“奉仕を通じて平和を”として決めたと推断されます。このテーマは、我々ロータリーにおいて、一番重要な中核価値である奉仕と、人類のもっとも尊い価値である平和が、いかに相繋いで、ロータリーが平和を達成できる

かという課題が今年度の時代精神とみなして、ロータリーの奉仕と平和を講演課題に選びました。

3. ロータリーの奉仕とは何でしょうか

(1) 奉仕とは漢字の語意によれば、ささげる“奉”の字と、つかえる“仕”の字を結合して奉仕という単語になりました。2つの字を合わせてみれば“ささげてつかえる”又は“つかえてささげる”という意味になります。

英語の Service はもと Serve という動詞が語源ですから、これも自由意思で人につかえることだといえます。だから、奉仕は強制的なものではなく、又義務的なものでない自律的な概念であり、人間の行為の中で、もっとも美しい言葉だと言えます。

いわば、人のために何かしてあげたいという好意の表現であり、平和と幸福の概念ともっとも似合った言葉です。

しかし、時たま、奉仕を掲げながら、ある行為を強いるとか假装して、ある目的を達成しようとする企みが奉仕の概念を傷つけることがあります。

それで、偽の奉仕とか偽装奉仕という不愉快な言い方が出てきます。

ですから、ただの奉仕では物足りないと思って、眞の奉仕とか眞心の奉仕という、いささか不自然な言い方まで出てきました。

英語の“ノーブレス・オブリッジ”(Noblesse Oblige)、即ち奉仕は“持てる者の義務”という概念には、奉仕の字が強制的に徴用されて苦しんでいるみたいな感じがして、不自然に思われます。しかし、アジア社会では奉仕は義務ではなく側隠の情、即ち思いやりの心と慈しみの情からあふれ出た行爲と思うのですから、水の流れのごとく、自然的であり無理がないのです。

平和のための奉仕をするとか、不幸な人のために奉仕をするという表現は、語意に従った美しい言葉使いと思われれます。

奉仕は義務であるとする西歐人と奉仕は側隠の情から出たと考えるアジア人の心の暖かさにおい

て、相当の乖離があると思います。

(2) ここでロータリーの第一標語である“超我の奉仕”即ち“Service above Self”を考えざるをえません。

“超我の奉仕”はもっとも理想的な奉仕のやり方であり、自分の利益とか、慾望を超えて自律的に奉仕に出る行爲だと言えます。

しかし、ある人は、超我の奉仕をあまり厳しく考えて、自分の利益をかえりみず、もっぱら人の爲に尽くすことだと解釈します。

これは、人間社会の調和と均衡の原理にそむく、行き過ぎた論理です。自身を超えるという意味を、あまり、自己犠牲、自己譲歩と解釈するのは無理であり、あくまでも、自己の健在性を前提に、合理的範囲内で行う奉仕であると解釈するのが、論理的に筋の理解になると思います。

奉仕をする人が最善を尽くして、相手に奉仕することが、超我の奉仕であり、それは儒教の根本徳目の一つである“仁”が、人と人との間で最善を尽くしてその道理を全うすることと同じ意味だと言えます。ですから、超我の奉仕は、外ならぬ“仁”という徳目とまったく合致する最高の価値であると言えます。

4. 奉仕はなぜしなければならないのでしょうか

1) 親睦派と奉仕派の対立

1905年、始めて呱呱の声をあげたアメリカのシカゴロータリー・クラブでは、創立後数年にわたり、クラブ活動の目的を囲んで、2派に分かれて、並みならぬ、もみあいがありました。

この事件のせいで、ポールハリスが一時会長職をやめる等のいきさつもありました。

その後、大義名分から、負けた、親睦派の声は縮まり、奉仕こそ、ロータリーが追究すべき絶対価値だと主張した奉仕派が主導権を握り、今に至りました。

2) では奉仕の本質はなんでしょう

(1) 奉仕とは報酬を度外視して国家、社会又は人のために尽くすことだと、辞典に定義されています。

この世は、古今東西を問わず、また政治体制と理論の如何を見分けることなく、いつも、持てる者と持たざる者、正義と不正義、善と悪がしきりに対立抗争して、不和と反目が、止むことがなく、又調和と均衡が取れていない不平等な世の中です。

このような、人間社会の不均衡と不調和をより緩和させて、慈愛と平和を回復させるのに、我らロータリアンの手が、必要になります。

眞の奉仕は、慈愛がこもった行動でなければなりません。だから、この仕事は、誰にでもできない高貴な使命です。

ロータリー・クラブは、安定した職業を持って経済的余裕が多少あり、社会的にも評判が良く、しかも、思いやりの心をもった人にだけ、会員の資格が与えられる組織体です。

西歐社会では、このような恵まれた地位を享受する、ロータリアンには、必然的に、ノーブレス・オブリッジ(noblesse oblige) 即ち、現代の高貴な身分者である、持てる者の道徳的義務があり、これを実践するために、疎外された人々を助ける事は選択事項ではなく、義務遂行の問題であると思っています。

持てる者は、自分の余裕ある資源で不遇な人達を助ける事を通じて、今まで自分が隣の人達と、社会、国家から受けた慈愛といたわりに対して、感謝の念を抱いて、恩返しをすることこそ、神が予定した自然の摂理であると noblesse oblige を解します。

しかし、奉仕とは何かという問題について、西歐人とアジア人の考え方がいささか違っている事に、私は気付きました。

それは西歐人は、ノーブレス・オブリッジを持つ者の道徳的義務だと解し、それを持って奉仕の必然性と当為性の理論的裏付けにします。しかし、アジア人は、測陰の情をもって、不幸な人を助ける

ことだと考えます。即ち側隱の情は、人間の本性の一つである仁から湧き出るもので、哀れな人を見たら、自ら心が動き、奉仕の行為に至るのであって、決して義務感を持ってやることではないと認識しています。測陰の情は思いやりの心と慈しみの情であり、奉仕の源流であるとアジア人は信じています。

奉仕は義務だとする、西歐人の考え方は合理的ではあるけれども、奉仕は愛の發露だと定義するアジア人の考え方が、もっと、人情味があり、自然的だと思います。

(2) ロータリアンの奉仕心性(Service Mentality) 教育においては、奉仕は義務であると教えるよりは、人に対する思いやりの心と慈しみの情を涵養するのが奉仕者の基本的心構えであると、教えるのが儒教文化の論理的帰着ではないでしょうか。そうする事によって、奉仕の情熱が限りなく湧き出ることになるでしょう。

今、ロータリーの悩みの一つは会員の高齢化にあります。それは避けがたい眞實です。

いかに奉仕心性が、良く涵養されたとしてもそこに情熱を欠けば、それは積極的行動に移りかねます。今、10年間以上、会員減少が続く、そのまま固着するのではないかと、ロータリー指導部は、大變焦っています。

今こそ、ロータリーは情熱を燃やして、2015年迄1,300,000名の会員増強目標を、必ず達成できるよう、総力を上げて最善を尽くさなければなりません。このような努力の中核となるものが情熱です。

その情熱は通常の動機から出るものではなく、ロータリーの理想に心酔して、心を打ち込み、青年の如く絶え間ない精力と熱心さを持って立ち向かう青春の魂こそ情熱の根源であります。

人生の盛期が、情熱の青春であるとするれば、ロータリアン達が、奉仕の情熱を失わず、ロータリーの理想を熱心に追究するとするれば、ロータリーの盛期は決して衰えず、とこしえに持續するでしょう。

青春は逞しき意志、
優れた想像力
炎ゆる情熱
怯懦を却ける勇猛心
安易を振り捨てる冒険心

だと、アメリカのサムエル・ウルマンは歌いました。
又彼は

人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる
人は信念と共に若く、恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる

と言って、信念と自信、又希望ある限り、人生の青春は続けられるとの名詩を残しました。

2世紀に入ったロータリーが、高齢化の障碍を、乗り越えるためには、このような青春の活力をじっくり蓄えて、その力で停滞状態を乗り越えるべきだと思います。ロータリーの理念に対する信念と、成せば成るとの自信感、そして未来に対する希望を持ち続ける限り、ロータリーは滅ばず、永久的な生命力を保つことができると、信じてやみません。

(3) それでは、人間の淵源は一体なんなのでしょう？

人は自ら選んで、この世に生まれることができません、そして又、死ぬことも、自身に自由がない他律的存在です。宗教では人は神が造った物、即ち被造物であると定義します。

人間は一生を生・老・病・死という首枷を背負って、あえぎながら、終末を迎える、はかない存在です。

昔から、人間は男と女が、愛のまじわり最中喜びの極致で、一つの生命として生まれる、と言わ



れています。その人間が、親の寵愛とお世話のお陰で、おとなに育てられ、又、隣と社会の庇護の恩恵で、今日の自身が、存在することができたことを悟った時に、人間の属性が愛と協力であることを会得できるのです。

だから、人間は生まれつきから、ひとりで生きられなく、他人との協力の中で人間らしい暮らしができる存在です。

人体の生理構造をみれば、神秘的な創造撮理を悟ることができます。

即ち、人間の肢体の中で腕と足、目と耳等が、一つでなく2つが、お互いに協力して機能するようになっています。又人体の中には相反する機能を持つ、2つの、各自違う器官が共存しながら、お互いに協力して、ある機能を発揮する場合があります。たとえば、男と女は、各々違った形の生殖器を持っています。

そのどちらも、ひとりでは生殖機能を発揮することができません。2つが、喜びの中で結合して協力する事によって、種族繁栄と言う、偉大な歴史を作ることができるのです。

又、人間の自律神経の中には、交感神経と副交感神経という、まったく異なる機能をもった、2つの神経があります。

交感神経が働けば、心臓の搏動が早くなり血圧が上がります。その反対に副交感神経が働けば、心臓は反対に搏動がゆるみ、安静を取り戻します。

お互いに異なる機能を持つ、2つの神経が良く協力して、心臓が正常に機能するようになるのです。

これは、2つが、お互い補完乃至協力して、正常になる機能を発揮するように、創造の撮理が作用されたのです。だから、余力のある人が不遇な隣を助けて、社会的均整と調和を回復させる奉仕活動こそ、人間の本性に充實した、生き方であり、生命現象だと言えます。

(4) 人間は、慈愛の奉仕を實踐しながら、生きる事によって、天寿を全うすることができ、幸福な人生、即ち眞に価値のある人生を生きることができる

のです。

奉仕というものは、始めは、多少の経済的損失を伴い、他人のためにするものだと思いますが、しかし、後で、その実りは自分に祝福として返ってくるのです。

一生涯、立派な奉仕活動をやり通した、先輩ロータリアンからは、人格的香りを感じさせられます。それは、誠實、勤勉、節制、儉約、謙遜、雅量、慈愛という7つの徳目であります。

この徳目を、体得することに依って、高邁な人格を形成することができます。そして、万人の信頼と尊敬を一身に受けることになります。これこそ、奉仕者が得ることのできる、尊い収穫であり、輝く栄誉であります。

5. ロータリーにおいて平和とはなんでしょうか？

平和といえば、心配ごとや、もめごとがない、なごやかな状態を意味します。又は、戦争や災害などが無く、不安を感じないで、生活できる状態であると言えます。

平和の反対語は、不安や戦争や紛争であり、それは平穏と調和を奪う不幸の種になります。

人生の目的が自由、正義、そして幸福を勝ち取ることにあるとすれば、平和は、その前提になる必須条件といえます。即ち、平和無くして自由なく、平和無くして正義無く、平和が無ければ幸福もありません。

若し我が隣に、飢えて泣きさけぶ、人達がいれば、そこには平和はありません。若し、我が隣に、ぼろをまとった人達が、ざわめくとすれば、そこにも平和はありません。

我が隣に、不平と不満、そして憤怒と恐怖がいっぱいになり、社会秩序が乱れていれば、我が愛する家族が、暴徒のいけにえにならぬと、誰が断言できますでしょうか！

平和なき社会、平和無き国家は、もう我らに安全と幸福を保障できない、無力な存在に他なりま

せん。

平和を守るということは、国家と軍隊だけの義務ではありません。

国民達誰もが、ささやかなことでも思いやりの心と慈しみの情で、隣に氣をつかえば、そこには飢えた人とぼろ着の乞食もなく、又不平と不満に満ちた暴徒もありえません。

そのような、平安な生活環境を作ることは、武力と暴力では不可能です。我がロータリーが、奉仕という柔軟な力を持って、積極的に立ち向かえば、見事に平和社会を実現させることができると、私は固く信じてやみません。

現世の聖者とたたえられている、カトリックのマザー・テレサは、沈黙（黙想）の実は祈禱であり、祈禱の実は信仰である。信仰の実は愛であり、そしてその愛の實が、奉仕であると言いました。その奉仕が、だんだん積って得られる尊い宝が、正に、我ら人類が久遠の理想として、追求している平和であると説破しました。

平和は人間生存の大前提条件です。

戦争や暴力などの恐れがない状態、又は飢餓や弾圧、貧困の恐れがない状態こそ、真の平和であります。それは、発言と選択の自由や自己決定の権利が保障され、予測可能な未来が見える人生と家庭を意味するのであります。

6. では職業奉仕で平和を実現できましようか？

1) 職業奉仕とは、自分の職業を通じて、他人、国家、社会等集団のために、尽くすことを意味します。職業に従事する仕方には、いくつかの、やり方があると思います。即ち、一生懸命正直に働いて金をもうけるか、人の目を適当にくらまして金もうけをするか、または、誠実な良い職業人になるかは、もっぱら自分の意志で左右されるのです。ここで良き職業のバロメーターとして、職業倫理が登場します。



田中会長は、「奉仕を通じて平和を」という概念に、難しい哲学はなく、彼自身一介のビジネスマンとして長年の経験から、事業を成功させるためには顧客の満足を追求する以外にないと語りました。顧客に喜んでもらえれば、事業も成長し、彼自身も幸せになることができ、事業の成功だけでなく、人を幸せにすることが、大切であることを認識する自体が、心から喜びを沸き起こすと言いました。これは職業倫理のあり方を率直簡明に説明した名言です。

2) ロータリーのビジネスは、利益の追求ではなく、平和の追求ですから、やりがいと言えば、それは自分の努力によって、より良い、より平和な世界が実現されるのを、見届けることだと言えます。

職業倫理は、ほかの意味では、職業遂行の過程で、相手に対する信頼又は信用関係を最高の基準として守り、相手の胸に「信」という文字を刻みこむことだと言えます。

一旦、信頼関係が築かれれば、顧客は繰り返し、その店に来て買い物をします。職業倫理は一言でいえば、職業遂行において守るべき人間の道理を、しっかり尽くすことです。

すべての人々が、職業倫理をひたすら守り、外部の人々から称賛を受ければ、その社会は、よるこびと幸福感があふれ、皆が生き生きとした人生を楽しむことができるでしょう。これがほかならぬ、

平和社会の実現と言えます。

こういう状態は信用、又は信頼社会の台頭で、平和構築の基礎となります。人間の相互関係において、信用ほど重要なものは他にありません。しかし此の頃、世の中は、ますます信頼関係の崩壊が著しくなり、その為、多数の善良な人達が精神的苦痛或いは財産的被害をこうむり、社会全体の雰囲気不信風潮の膨張に向かっています。

日本は、国民の大多数が、いわば天職観という職業倫理の基礎が、断固として、社会をささえているので、その程度が相対的に薄いと見えます。しかし世界全般、特にアジアとアフリカにおける、開発途上国等では、不正と腐敗、賄賂の日常化現象等で、政府と公職に対する国民の不信と抵抗が強くなり、政権打倒目的の民乱まで、しょっちゅう起こっている次第です。

程度の差はあれど、不信の蔓延は全世界的な社会病理現象であります。このような深刻な奉仕ニーズに対して、ロータリーが、何か、はっきりとした、救済対策を奉仕プロジェクトとして打ち出さなければならぬと、私はつくづく感じております。

職業倫理を、全国的に普及させる為には、ロータリーは、独特なプログラムを設けて実施することが必要です。例えば、初めは、地区内ロータリアンの職場を調べて、職業倫理が水準級に到達されているところを選んで、その事業者に対して、職業倫理の表彰をします。そして、それを大々的に、広報することによって、地域社会の職業倫理認識を高揚させるのです。

このようにして、全国的に職業倫理の重要さを認識させることができます。勿論、初めから非ロータリアンの職場も調べて、表彰の対象を探せば、たしかに良い職場が見付かると思います。

私は、最近テレビで“100年の店”という番組を見たことがあります。各国の代表的ベストクラスの職場でした。その中には日本の店もありました。結論的に言えば、彼らは①人達の基本的ニーズに関わる業種を選び、②その製品の質を、真心をこめて、誠實に作り、③時代の變化に添って、製品

に變化をもたらし、④いつも彼らの心の中には顧客は王様だと言う、信念がしっかりと宿っていること、を確認することができました。

これこそ店主と顧客の関係が、深い信頼のきずなで結ばれた関係で、立派な職業倫理の事例だと言えます。

3) 孔子は国家成立の3大要素を兵、糧、信と述べて、その中で兵と糧がなくても信があれば国家は滅ばないと言いました。

信用の反対語は不信又は懐疑心、即ち疑いです。人に疑いを起こす振る舞いをしたとすれば、それはその人から平和を奪い、疑心暗鬼の奈落に落とすことになり、大きな罪を、犯すことになります。又、職業倫理が乱された場合、店主と顧客の間には疑いと警戒心だけが積もって、ついには嫌悪と紛争に発展する外ありません。大変不幸なことです。

私の夢は、ある地を訪れ、「信用できる店はどこか」と聞いた時、土地の人達、誰もが、そんなことを聞かないでください、「ロータリーのマークがある店に行けばまちがいありません」と、はっきりした答えを聞くことです。これは私のとこしえの念願です。

こういう社会が、実現されたとすれば、ロータリアンによるユートピア(Utopia)の建設として、すべての人達が、ロータリーを誉めたたえ、住民誰もが争って、ロータリー加入を申し込むことでしょう。

4) 最近、国際ロータリーは、ロータリーのイメージ向上とブランド格上げを目的に、ロータリーのポ

リオ撲滅活動の成果を象徴に広報活動を続けています。しかし、ポリオ撲滅はまもなく終わりますので、その後、何をもって、ロータリーのイメージ向上の象徴にするかを、前もって決めておかなければ、やがて荒れることになるでしょう。

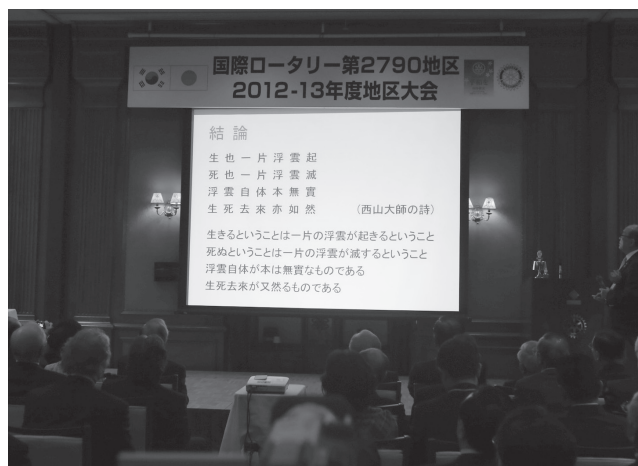
ロータリーのイメージを向上させる次の象徴は、外ならぬ職業倫理であるべきだと私は強く信じています。ロータリーを社会的に、確実に浮彫りにするものは、これ以外にないと思います。ほかの奉仕団体は、職業奉仕活動がないので、職業倫理を重んじることがないのです。だから、ロータリーが職業奉仕、即ち職業倫理をイメージ向上の象徴として持ち出せば、世人は、ロータリーを最も信頼できる博愛団体として認めるに違いありません。

5) しかし、職業倫理を基とする、職業奉仕だけが、ロータリー活動の全部ではありません。即ち、職業倫理が身にしみた、ロータリアンは、地域社会で、職業的信用と人格的信頼感のある指導者として尊敬されるでしょう。しかし、それで終われば、それはだめです。

このような立派な人格者が、人道的奉仕をする場合、それは奉仕を受ける人が、感謝と同時に人格的感銘を受けることになり二重の効果が出ます。その反対に、社会的評判の悪い財産家や社会的有名人が、奉仕をした時、奉仕を受ける人は、心の中では尊敬の念が起こらなく、かえって“なんだ! あのような人格のない人から、奉仕をうけざるをえない自分のなさけなさよ!”と自己嫌悪の痛みを感じるに違いありません。

ここで、奉仕者の Moral predominance 即ち道徳的優越性が必須なものになります。これは、ロータリーの中核価値である、高潔性(Integrity)の他の表現です。これが、もっとも理想的な奉仕のあり方です。しかし、奉仕者が、自分の道徳的優越性を自慢してはなりません。それは謙遜という、ふろしきに包んで、人の目に見えないところに隠してください。謙遜のない道徳的威張りは、奉仕者をみじめな偽者に格下げする外ありません。

だから、ロータリアンは、社会的評判が良く、



人格的に尊敬されている人であり、その人が、自分の清い財産をもって奉仕に使うことによって、奉仕は奉仕を人の胸に感謝と尊敬の念を同時に植えることができるのです。ですから結局、職業倫理はロータリーを救い、さらに、国家と社会をも救う金科玉条といっても、決して行き過ぎと言われないでしょう。

6) 倫理に関する、儒教の教えの中に、「仁」という漢字の単語があります。それは儒教の根本徳目であり、その中核が職業倫理と言えます。実はアジア社会で、「仁」は職業倫理だけでなく、もっと広く、すべての人間関係における、最高の道德律として、いまだに親しまれている概念です。近世、韓国の偉大な儒教学者であり、實学者たる茶山丁若鏞先生は「仁」に関する解釈として「仁者、人人の間、盡其道也」、即ち、「仁」というものは、人と人との間で、最善を尽くしてその道理を全うすることだと言いました。これは仏教の最高の道德律である大慈大悲とキリスト教の黄金律と言われる「何事でも、人にしてもらいたいと思うことを、貴方方も、人にしなさい」という教えと一脈相通るものです。人と人の関わり合いは、思いやりの心と慈しみの情、即ち慈愛をお互いに分かちあうのが、眞の生き方であることを認めた、眞理の言葉であり、職業倫理のバックボーン(backbone) だと言えます。

ある人は、平和は、ただでもらう幸運ではない、それは人達が必死的に争って勝ち取るもので、戦争やその他の力で相手を差し押さえて、手に入れられる貴重な代価だと解釈します。そういうものを、いかに奉仕という柔軟な方法で、実現できるかと皮肉ることもあります。しかし、強いものは折れるけれど、柔らかいものは、揺れることはあっても、決して折れません。それが奉仕の力です。

7) 職業倫理が、我が社会に、確実に根を下ろすとすれば、商賣取引において、秩序が守られ、顧客とのもみあいと紛争がなくなり、社会のすべての規律が正常化するに違いありません。これこそ、確かな社会安定の基であり、それが外ならぬ、平和そのものであります。

我がロータリーは、他の奉仕団体と違い、職業奉仕部門をもうけて、倫理的職業遂行を奨励してきました。ロータリーの綱領、4つのテスト、5つの中核価値(Corevalue)、ロータリーの行動規範(Rotary Code Of Conduct)、ロータリーの第一標語「超我の奉仕」の中には、すべて、職業倫理の核心的要素が含まれています。

しかし、その精神が、多くのロータリアン達の胸には宿われていないという問題が、ロータリー第2世紀の悩みだと言えます。

いまだに、倫理の精神は棚上げして、中身の無い形式的な職業奉仕活動が続いているクラブが多いということは、何よりも、100年の燦然たるロータリー歴史に照らして、恥ずかしいことだと思えます。

わがロータリーは、いち早く、職業倫理をすべてのロータリアンの職場で実現させ、地域社会で、一大社会改革運動のきっかけになるよう、ロータリーの奉仕を通じて地域社会に紛争の無い和睦を、そして又、全世界に戦争の無い、平和を築きあげましょう。

7. 結論

ロータリーは生きて呼吸する、巨大な生命体であり、そして我らロータリアンは、その手足であります。

ロータリーの第2世紀にも、ロータリーが、より強く、より広く、人類の苦痛と不便を解決する立派な博愛団体として生き残ることができる為には、我々が、会員増強とロータリー財団への寄付と、人道的奉仕活動をもっと増加させるとともに、我らの中核価値である奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの精神を、身におさめ、平和がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることを理解し、平和は政府間の協定や大胆な闘争だけで達成するものではなく、日常の簡単な思いやりの奉仕の積み重ねによって実現できるものであることを悟り、平和な世界建設に向かって邁新してくだ

さることを切にお願い致します。

終わりに際して、この講演に関わりのある、いくつかの詩をスライドを通じてご紹介させていただきます。

踏雪野中去
不須胡乱行
今日我行蹟
遂作後人程
(西山大師の詩)

雪に覆われた野中を行くとき
めちやくちやに歩いてはいけない
今日の我が行跡は
遂に後人の道行きである

生也一片浮雲起
死也一片浮雲滅
浮雲自体本無實
生死去来亦如然

生きるということは一片の浮雲が起きること
死ぬということは一片の浮雲が滅すること
浮雲自体が本は無實なものである
生死去来が又然るものである

人が生きるということは誰かに借りがあるということ
人が生きるということはその借りを返しつつけること
誰かが私にしてくれたように誰かにしてあげよう
人が生きるということは誰かと手を取るということ
そしてそのぬくもりを忘れないこと
めぐりあい 愛しい
やがてこの世を去る時 悔いのない人となるために
今日そして明日を生き抜こう

人はひとりでは生きてゆけない
人はひとりでは歩いてゆけない
<永六輔の詩>

これをもって私の講演を終わらせてもらいます。
ご静聴有難うございました。

<終わり>





歓迎晩餐会 ご挨拶

第 2790 地区 RI 会長代理 RI 理事

朴 柱 寅

敬愛する得居仁ガバナー、そして御参席ロータリアンの皆様！

私は昨日東京羽田空港を経由して、ここ千葉県千葉市に至りました。

貴地区の管轄下にある、千葉県佐原市の、佐原ロータリー・クラブは、私が属する韓国の順天クラブと、長年にわたって姉妹関係を維持していますので、数年前までは、佐原をたびたび訪問する機会がありました。しかし、ここ5～6年間は、いろいろ忙しくて訪れる機会に恵まれませんでした。

由緒深い千葉の貴地区にロータリーのゆかりで訪問させていただきまして大変嬉しく思い光榮に存じます。

ポール・ハリスはロータリーは友情という盤石の上に建てられた。しかしそれを確り結び付けるのは寛容だと言いました。友情と寛容がなければ、ロータリーは、この世に成り立たなかったでしょう。

友情と寛容は超我の奉仕の基であり、測隠の情即ち思いやりの心と慈しみの情の源流だと言えます。これは皆、自分より他人の安寧と幸福に氣遣うロータリアンの生き方であります。

友情は親睦に発展し、寛容は100年の間120万名のロータリアンを、一つの巨大な家族として、結集させて、もっとも信頼できる博愛団体として、世界の人々から、並みならぬ称賛を受ける、誇りを享有する境地に至りました。

特に、世界一の金持ちである、Bill Gates から無条件に4億500万ドルという巨額額の寄附金を託されたことは、ロータリーに対する全幅の信頼がなければ、不可能なことでしょう。

超我の奉仕とは、自分の利害を超えて、他人の利益を優先に考えて、行動することであり、それには必ず折り返しの祝福が授けられる、という考えが人間社会の通念だと思います。

ここでひとつ、アメリカの寓話を紹介させてもらいましょうか。

あるキリスト教会の牧師が、夢の中で、天使のご案内を受けて、地獄と天国をめぐる機会を与えられました。

初めに、地獄に行きました。ちょうど、昼飯の時間で、大きな食堂を見学しました。長いテーブルの上には、素晴らしいご馳走がいっぱいでした。人々は、天使の指図に従って、テーブルの両側にずらりと並び、着席した後、食事が始まりました。だが、この食堂の掬が、柄が自分の片腕より長い、ホークとスプーンだけを使うことになっており、又その柄も末部分を握るようになっていたのです。だから、食物が自分の口に入らないので、いくら頑張っても、空しくなるのです。人々は腹がすいて、阿鼻叫喚の惨状でありました。

これを見て、不愉快な気持ちになった牧師は、又天使のご案内で、天国の食堂を見に行きました。驚いたことは、そこも地獄の食堂とまったく同じ施設と食物が用意されており、同じサイズのホークとスプーンを持って食べる掬も同じでした。しかし、ここの人々は柄の長いホークとスプーンを利用して、自分が食べるのではなく、テーブルの向い側に座っている人達に食べさせるのです。

反対方の人達も感謝して、向かい側の人に食物を食べさせるという仕方で、皆が食事を充分済まして、お互いに和氣あいあいな雰囲気につつまれている場面を見ながら、夢から覚めました。

その後、牧師は悟りました。あ々地獄は思いやりの心がない、利己的な人達だけなので、あのように阿鼻地獄になり、天国は思いやりの心がある人達がお互いに助け合うので、生きがいのある所即ち天国であるということでした。

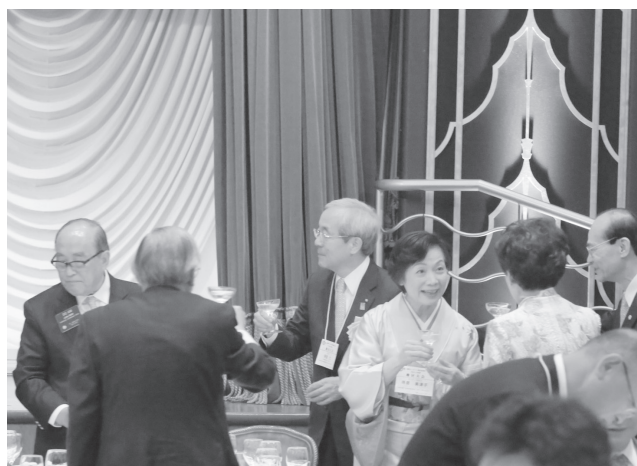
田中作次会長ご夫妻を代理して貴地を訪れた私

達夫妻のために、このような盛大な歓迎晩餐会を集いてくださいます。身にあまる榮譽に存じます。

この和やかな秋の夜、私達は神と人々の恩恵に浴して、このような素晴らしい催しを楽しめることができたのも、皆ロータリアンになったお陰ではないでしょうか!その恩恵に報いるためにも、これから、もう一層張り切って、奉仕を通じて平和を成就しましょう。

終わりになりましたが、得居ガバナーと平山エイドの、行き届いたお心遣いに心から感謝申し上げながら、第2790地区大会が大成功を収めるよう念願すると共に、満場のロータリアン皆様方の益々のご健勝とご健康を祈念致します。

これをもって挨拶の言葉とさせていただきます。有難うございました。





森のホール21

地区大会第2日目

2012年10月21日(日)
森のホール21(松戸市文化会館)

ガバナー挨拶・地区の現況報告

国際ロータリー第 2790 地区 ガバナー
得 居 仁 (松戸東 RC)

昨日の千葉市美浜区ホテル・ザ・マンハッタンでの大会第1日目に引き続きまして、緑り豊かな松戸市、森のホール21におきまして、ご来賓並びに地区内外のロータリアンの皆様をお迎えして、このように盛大に国際ロータリー第 2790 地区・2012 - 13 年度地区大会第2日目を開催することが出来ますことを、心から感謝申し上げます。

2012 - 13 年度国際ロータリー田中作次会長は、国際ロータリー第 3610 地区・大韓民国順天(スンチョン)ロータリー・クラブ、国際ロータリー理事朴柱寅(パク ジュイン)様、曹淳子(チョ スンジャ)様ご夫妻を RI 会長代理として派遣して下さいましたことに、深甚なる感謝を申し上げます。

RI 会長代理朴柱寅(パク ジュイン)様は、1933年5月20日のお生まれで、我が国の司法試験より遥かに難関であると言われております大韓民国・第10回高等考試司法科合格後、約20年間検察官として奉職なさいました。

その後民間に転じて弁護士を開業され、世界屈指の製鉄会社であります株式会社 POSCO の法律顧問弁護士や POSCO 教育財団理事などをお勤めになられ、2011年からは国際ロータリーの理事にご就任なさいました。

田中作次 RI 会長とは、大変ご昵懇の間柄にあるとのことでございまして、2012年度 RI 執行委員、行政委員、戦略計画委員なども兼ねておられます。田中作次 RI 会長の良きご相談相手としてご活躍しておられるもの拝察致しております。

RI 会長代理としてお迎いたしております朴柱寅(パク ジュイン)国際ロータリー理事様が、2011年ニューオーリンズ国際大会の日本人朝食会で、「日本のロータリアンが職業奉仕を大切にしているのを高く評価致します。」とご挨拶なされ、参加した日本人ロータリアンに深い感銘を与えたことが、鮮明に蘇ります。

田中作次 RI 会長の今年度 RI テーマは「奉仕を

通じて平和を」であります。

田中会長は、「平和」は人によって様々な意味を持っているが、どのような意味においてもロータリーでそれを実現することができる。

国や民族間の友情と寛容を推進することで、互いに理解し合う最も伝統的な意味での「平和」の後押しをしてくれる、とされて、広島を含む世界3都市での「ロータリー世界平和フォーラム」の開催を決定されました。

また、ロータリアンは、自分よりも他の人のニーズを重視する。「超我の奉仕」という言葉は、自分のためだけではなく、社会全体のためを考えよと教えてくれる言葉である。「超我の奉仕」を実践することにより、私たちは、「平和」すなわち「心の平安や家族の幸せ、満足感」「人間の基本的なニーズが満たされた安全な状態」を実現することが出来る、とされておられます。

地区ガバナーとして、地区内クラブに対する指導と監督を行うことで、地区内ロータリアンがロータリーの綱領を推進する任務を負っておりますことから、ロータリーの綱領が宣明する「有益な事業として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成すること」すなわち、ロータリーの目的、目標は、奉仕という基本理念の上に立って事業が行われるようにすることにある、といたしまして、地区内ロータリアンに対して、更なる職業奉仕の推進を図るよう要望しています。

私は、ロータリーは、職業奉仕の推進を目的とする実践的倫理運動であり、職業奉仕を中心とし、そこから、新たに加わった新世代を含む4部門の奉仕の輪が広がり、それを結んだ輪の上に関連し



た諸活動が円形に広がって回転しているのが基本構造である、と考えています。

引き続きまして第2790地区の現状をご報告いたします。

クラブ総数は84クラブで変更はございません。

会員数につきましては、2012 - 13年度は最終的に22名減と、これまでより会員減少の数は少なくなりましたが、依然として第2790地区の会員減少傾向が続いております。

然しながら、幸いなことに、新年度が始まって僅か2ヶ月であります2012年8月末日現在で、69名の純増となっております。これもひとえに地区内ロータリアンの皆様が、情熱を込めて増強に励んで下さった成果の表れであり、心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

増強の勢いをこのまま持続して頂き、今後更に一層の会員増強に皆様方のお力をお尽くし下さいますよう心よりお願い申し上げます。

このペースで進みますと会員増強による会員純増が実現する可能性があります。

然しながら、当地区では昨年度まで毎年、増強を上回る退会者を出してしまうために、結果として会員数が減少してしまう傾向が続いておりました。

今年度私が特にお願いいたしておりますロータリーの「綱領」の推進を目指す職業奉仕に力点を置いてのクラブ会員研修を、繰り返し行って下さいますよう、改めてお願いいたします。

クラブ会員の研修を徹底することによって、ロータリーの真の魅力を習得し、徳性と品格を備え、地域社会から尊敬されるロータリアンを数多く生み出すことが、退会防止の最善策であると、私は信じております。

これまで毎日1クラブずつ44クラブ、約半数のクラブ公式訪問を終えました。

公式訪問したことによって、会員減少による会費収入減が理由で、クラブ運営資金の不足に悩んでいるクラブが、決して少なくないことを知りました。

ガバナー、ガバナー事務所、地区委員会は、可能な限りその費用を節約して、クラブの地区関係負担金を軽減する方策を採らなければならない時が既に到来しているのだ、と痛感しております。

然しその一方で、どのクラブの、どの会員も、一人の例外もなく、ロータリーを愛しており、ロータリーが大好きで、ロータリー・ライフを楽しんでおられるロータリアンであることを知ることが出来ました。

これは私にとりまして、何ものにも代えがたい喜びであります。「子曰く、これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」と。

第2790地区の近未来は、経費節減の問題を除けば、決して悲観すべきようなものではなく、ロータリーを楽しむ地区内各会員によって、明るい希望の陽が射しこんでいることを、改めてご報告申し上げます。

本日は、皆様よく御存じの評論家櫻井よし子先生に、「日本の進路と誇りある国づくり」と題しての記念講演をお願いしてございます。

櫻井先生のご講演を機に、偏狭なナショナリズムではない、本当の意味での愛国心に根差した、誇りある日本人としての国づくりについて、皆様にじっくりと考えて頂く契機となれば何よりのこととございます。

また、大会式典終了後には、会場を代えて「RI会長代理に感謝する懇親会」を整え、皆様のお越しをお待ち致しております。

現職の国際ロータリー理事でいらっしゃる、ロータリーのリーダーとしてご活躍のRI会長代理朴柱寅（パク ジュイン）様ご夫妻と親しく交歓され、そのロータリー観とお人柄に触れて頂くことによって、皆様のロータリーへの想いを更に一層熱くして頂き、クラブのサポートと強化に結び付けて頂ければ、これに優ることはございません。

この地区大会は地区内ロータリアンの皆様为主役でございます。ホスト・コホストクラブ5クラブの会員が精一杯の「おもてなしの心」をもって設営いたしました。

どうぞ皆様に最後まで楽しんで、ご参加していただきますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

RI 現況報告

第 2790 地区 RI 会長代理
RI 理事 朴 柱 寅

1. 国際ロータリー理事会の決定事項

2012年7月理事会 -

1) 理事会は2012-13年度の目標を下の通り決定しました

- A) ポリオ撲滅の支援および6つの重点分野における人道的奉仕の推進
- B) 奉仕を通じた平和の促進
- C) ロータリー・クラブと会員の強化
- D) ロータリーの公共イメージの向上
- E) 必要に応じた地域的課題と懸念への対応

2. RI2012-13 年度の豫算採擇

内譯は

A)	
収 入:	95,511,000 ドル
一般剩餘金からの利用:	12,110,000 ドル
国際大会予備金からの利用:	583,000 ドル
B)	
支 出:	105,522,000 ドル
この結果: 資金總供給額は支出を	1,682,000
	ドル超過することになりました

豫備金から資金を投入する戦略的イニチアチブには地域別会員増強計画、追加の広報補助金、ロータリーの活性化、コミュニケーション、ソーシャルネットワーク、ポリオ撲滅のためのロータリー財団への500万ドルの資金提供が含まれます。

3. 理事会は 2013.7.1 から有効となる新世代交換プログラムのいくつかの構造的變更を認めました。

この變更には、①職業体験プログラムの参加者の年齢を21-30才に變更すること ②奉仕活動

に焦点を当てて交換を行うことを義務づけること、③奉仕活動を反映するたるための交換の名称變更、④交換を新世代奉仕の一部とすること、などが含まれます。

理事会はさらに“新世代”は第5の奉仕分野を表すものであり、ロータリー・クラブやロータリアンを指すものではないことに合意しました。新しいロータリー・クラブは、その公式なクラブの名称の中に“新世代”という言葉を含むことはできません。

4. 理事会は、2014年国際大会(オーストラリア、シドニー) から3年間の試験的な開催を前提に、国際RYLA行事を再開することを認めました。

これは、RYLA委員会が国際RYLA行事(2010年11月の理事会の決定で廃止された。)の大幅な見直しを図り、RIが負擔する参加者1人当たりの費用を軽減することを受けた決定です。

5. 理事会は、シカゴにあるポール・ハリスとジーン・ハリスの旧宅カムリーバンクはRIにとって歴史的な重要性があり、その修復のためにRIが支援する価値があると認めました。

理事会はまた、修復費用を支援する、寄附者の開拓を行うこと、修復への支援の必要性を、周知させることも認めました。

6. 新会員を推薦したロータリアンを称えるため、理事会は新しい認証ピンを作成することを認めました。

このピンは、財団のポール・ハリス・フェローの認証ピンと類似しており、何名の新会員を推薦したかによって、異なる認証レベルが提供されるもの

です。

又、ロータリーを通じて、卓越した人道的奉仕を行ったロータリアン配偶者を対象とする配偶者奉仕賞を設けました。毎年100名までの受賞者を選出します。

7. 2012年度RI会長指名委員会では臺灣台北クラブの Gary C. K Huang を2014-15年度国際ロータリー会長に指名して、2012.10.1までに挑戦候補者がなかったので、2014-15年度の会長エレクトとして確定しました。

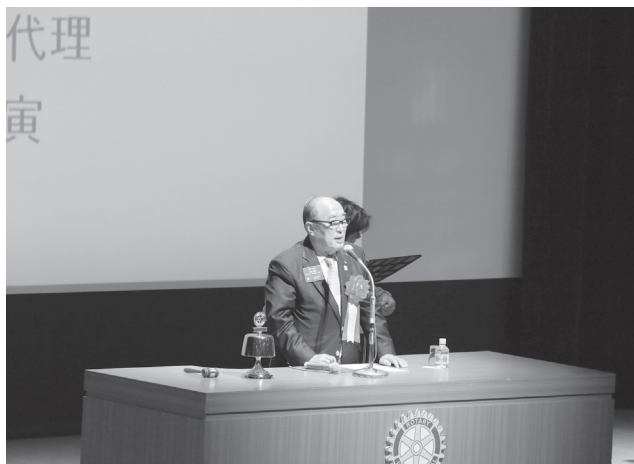
彼は2000-2002年度にRI理事、2001-2002年度にはRI副会長を務めました。

8. RI戦略計画に関して

2001-02年度、国際ロータリーは奉仕の第2世紀を迎え、組織を導く戦略計画の立案を始めました。以来この計画は定期的に見直され更新が行われています。

2009年理事会は、RI戦略計画の大幅な見直しを行いました。これには組織としてロータリーが優先すべき事柄について、世界14,000人のロータリアンを対象としたアンケート調査、各国におけるロータリーのイメージを探るためのフォーカスグループ(座談会方式調査)、その他のデータ分析や研究調査が含まれていました。

これらの調査結果を反映し、RIとロータリー財団が進むべき進路と、一致するよう改定された戦



略計画は、2010年7月1日より有効となりました。(2011年10月より、Strategic Planの日本語は“長期計画”から“戦略計画”に変更されました。)

9. 2012年度のRI規定審議会立法案に関して

2013年度の規定審議会が、2013.4.21から4.26まで、アメリカのシカゴで開催されます。立法案(Proposed Legislation)として総計199件の中で、制定案(Proposed Enactment)150件、決議案49件になっております。

特に注目すべき立法案(制定案)はRI理事会から、次のような制定案が上程されました。

1) 立法案 13-11 出席要件の修正

この制定案は標準ロータリー・クラブ定款から具体的出席規定を削除し、その代わりクラブが自律的にクラブ細則に出席に関する規定を、定めることができるようにした法案です。

2) 立法案 13-30 クラブの柔軟な例会構成を許すこと

この制定案は、忙しい職業人又は専門職達の例会参席を、もっとたやすくして、若い会員達のロータリー活動に柔軟性を与えるところに趣旨がある法案です。

3) 立法案 13-31 衛星クラブ(Satellite Club)の導入

例会の代案として、衛星クラブ制度を導入して、定期会合の硬直性を改善しようとする法案です。

4) 妥協立法案 13-34 例会を週1回、或いは毎2週ごとに、1回開催すること

この制定案は標準ロータリー・クラブ定款を改定して、例会を月4回から、週1回か、或るいは、毎2週に1回とすることによって会員増強と維持に好影響を及ぼすことになるという法案です。

この法案はスコットランド、英国、Netherlands、フランス、日本、韓国等11クラブから提案された

妥協案。

5) 立法案 13-54 地区別 e - クラブの数を制限した規定を解除

2012年6月現在、全世界82地区に93のe-クラブが活動中にあるけれども、設立要求があまり多いので、一地区2クラブの制限を廃止して、もっと自由にこの制度を活用するとの法案です。

6) 立法案 13-105

クラブに自治制を与える国際ロータリー細則を改訂して、クラブが国際ロータリー定款、細則又は標準ロータリー・クラブ定款に反しない限り、クラブの委員会の設置とプロジェクト実施をクラブ理事会が自治的にすることができるように、活動の自由を与えるという、法案です。

この法案は日本の兵庫県(D-2680)の姫路クラブと佐賀県(D-2740)の佐賀クラブが共同提案した法案です。

7) 立法案 13-129 35才未満と70才を超した会員の年次会費(Annual Due)を軽減すること

この法案は、新会員を、もっとたやすく招待できるとともに、高齢会員の脱退を防止するため、30%の会費軽減を図る法案(アイスランドレイクチアビククラブ提案)です。

8) 立法案 13-126 1人当たり会費引上

この立法案は2014-15会計年度からクラブ会員1人当会費を毎年1ドルずつ引上げるために細則を改正することを提案するものであります。

(1) 会員1人当たり:

2014-15年度の会費は 54ドル

2015-16年度の会費は 55ドル

2016-17年度の会費は 56ドル

(2) クラブは

2014-15年度の会費は 540ドル

2015-16年度の会費は 550ドル

2016-17年度の会費は 560ドル
を半期ごとにその1/2を払いこむのであります。

9) 会員数基準 TOP10国家 現況

順位	国 家	会員数	クラブ数	クラブ平均会員数
1位	USA	343,362	7,832	44
2	インド	120,744	3,119	39
3	日本	87,807	2,228	38
4	韓国	60,490	1,570	39
5	ブラジル	57,221	2,395	24
6	ドイツ	51,617	1,011	51
7	英国	42,534	1,445	29
8	イタリ	41,490	802	52
9	フランス	32,808	1,050	31
10	オーストラリア	31,599	1,123	28

10) 会員増強と維持3年計画に関して

2011年9月のRI理事会で、2015年6月30日まで、“1,300,000名の会員増強達成”という目標を定め、全世界を12リジョン(Region)に分けて、各リジョン、即ち、アメリカ、インド、日本、韓国、東南アジア等から、地域別の特殊性を反映した、各リジョンの実施計画を2012年5月の理事会に提出しました。それによって全世界が目標達成を目指して今、一生懸命に努力しています。

特に日本の場合、女性会員と若い専門職を招待することがもっとも望ましく、又どの国より成功可能性が高いと見做されています。

今、日本の会員数は約87,000余名です。

この計画の成功的実施によって、10万人を突破することは、日本のロータリアン皆様の決起で十分可能であることだと、私は強く信じています。

11) ロータリー理事会は、戦略計画の優先順目3つと、中核となる価値観として、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップを設けて、すべてのロータリアンに対して、精神的鍛錬を促しました。

それから、又ロータリー行動規範(Rotary Code Of Conduct)を新たに作り直しました。

ロータリアン皆々が、これを心にしっかりと収め

て、そのとおり生活し、活動することを、切に念願しています。

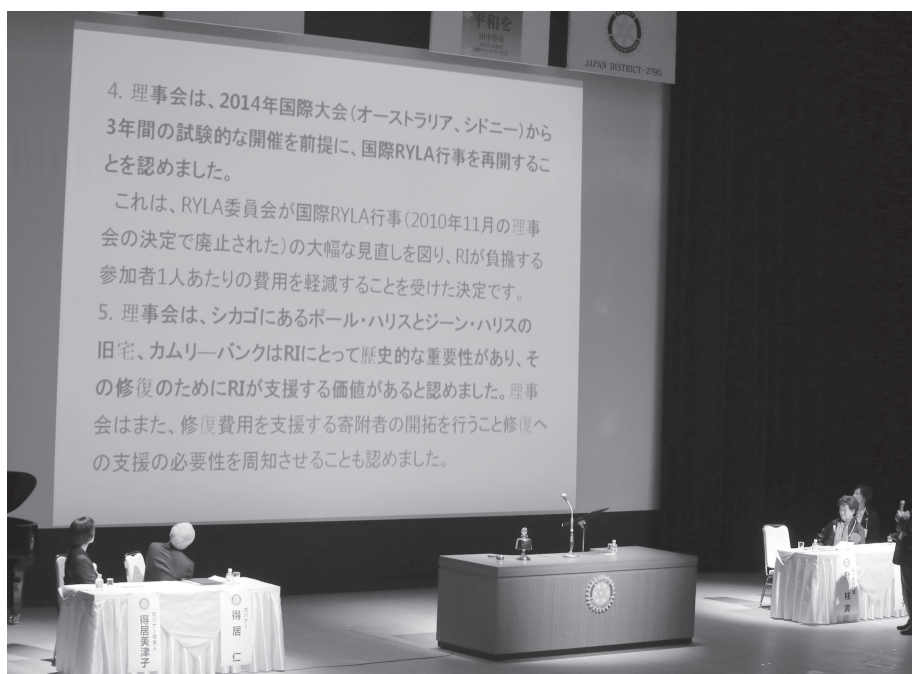
次に、ロータリー行動規範の譯文を紹介致します。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして私は、下のように行動する。

- (1) すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
- (2) 職業の経験と才能をロータリーの奉仕に生かすこと。
- (3) 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動及び事業又は専門職における活動のすべてを倫理的におこなうこと。
- (4) 他者との取引のすべてにおいて、公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。

- (5) 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
- (6) 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために自らの職業的な才能を捧げること。
- (7) ロータリー及びロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
- (8) 事業又は専門職上の関係においての、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。



ホームカミング

頼明珠(ライ・ミンチュ)氏

(台湾/1977-78/千葉大学大学院/松戸RC)

ロータリー・クラブの皆様、今日は！

私は1975年台湾から千葉大園芸学部に留学した頼明珠です。1977年から1年間、米山奨学生としてロータリー・クラブの方々に大変お世話になりました。そのときから35年があっという間に過ぎました。

この度、ロータリー米山奨学生の「ホームカミング制度」にご招待いただき、まことに光栄です。17日、私の世話クラブ松戸ロータリー・クラブの例会へもご挨拶に伺いました。35年ぶりの再会でした。

けれども、そこでよく拝見すると、皆様はすっかり若返られましたね、と感心します。私は年を取ってしまって、浦島太郎になったような気持ちです。

なるほど、35年ぶりですから、クラブのメンバーの世代も変わりました。当時の松戸クラブの会長林一様及び私のカウンセラーの小川甚次様をはじめ、多くの方々が現役を引退されました。今若い世代の皆様がロータリー・クラブのメンバーになって、松戸だけではなく、千葉県全体と、日本全国で、米山奨学事業を引き続きご支援くださっていることは、本当に意義深いことで、心から尊敬致します。



今日ここで皆様の前に立って、昔のことを思い出しながら、お話をするなんて、夢を見ているような思いです。この場をお借りして、皆様に厚くお礼を申し上げたいです。本当にありがとうございました。

わたしのカウンセラーは小川甚次さまです。小川様一家は、私を家族のように暖かく迎えて下さり、日本の生活のいろいろなことを親切に教えてくださいました。また、福岡書店の福岡芳弘様にも、日本の文化や歴史の本をたくさん読ませていただきました。立原病院の立原先生は、私の毎月の卓話の原稿をチェックしてくださいました。松戸クラブの方々は、例会や外への見学旅行の時に、親切に話しかけて下さいました。留学中にロータリー・クラブの思い出がいっぱい出来ました。

日本への留学は、私にとって最初の海外旅行で、そして生涯で一番大事な転機になりました。私の人生を変えたともいえます。なかでも、米山奨学金をいただいたことは、私にとって、いちばんラッキーなことでした。

どうやって恩返しをしたらいいか、ずっと考えていました。

ロータリーの精神に習って、善意の輪を作って、傍に助けが必要な人がいれば助けてあげることも、一つの恩返しの方法だと思います。

また、日本で学んだことを生かして、仕事を通して社会に貢献するのも一つの恩返しだと思います。私は、台湾米山会のOBたちと一緒に、米山梅吉公の記念館を2回見学したことがあります。見学して、米山梅吉公は日本のロータリー・クラブの創立経緯と奉仕の精神、及び米山記念奨学事業の歴史について、より深く理解することができました。

ロータリー米山記念奨学事業は、今日では、まさに民間最大の奨学団体です。

世界で活躍する1万7千人を超える元米山奨学生の内、台湾出身の米山奨学生は3千名を超えました。奨学生たちは帰国後、日本と関連のある企業に勤めたり、各専門分野で仕事をしたりしてい

ますが、一番多いのは大学の先生です。皆日本で学んだことを生かして活躍しています。そして、皆つねに「水を飲めば、その源を思う」という合い言葉を覚えています。

1983年、台湾の米山奨学生のOBたちが「中華民国ロータリー米山記念奨学会」を結成しました。歴代の理事長の徐重仁さん、許邦福さん、陳思乾さん、阮允恭さん、許国文さんをはじめメンバーたちは、台湾と日本の交流と、社会・教育・文化への奉仕活動を積極的に推進して来ました。

2006年、米山会員大会のとき、許国文現理事長の提案で、当時の理事長阮允恭さんの支持とメンバー全員の賛同により、台湾ロータリー米山奨学金制度を創立しました。それは、日本人留学生に対して、毎年1名、奨学金を贈るという事です。2010年の大会では、更にもう1名を増やすことを決めて、2011年から毎年2名の奨学生を迎えています。

毎年12月の年末総会には、日本の米山会から板橋理事長と坂下事務局長、それに各地のロータリー・クラブの方々が、遠路はるばる日本からお越しくださって、米山奨学会のことを相談したりして、一緒に楽しい時間を過ごしています。まことに感謝いたします。

台湾と日本は、台風と地震の多い自然環境がよく似ています。震災のとき、お互いに心配し合います。去年三月の東日本大震災の時、台湾では、ただちに全土を挙げて支援活動が始まりました。米山会のメンバーも、すぐに活動に参加しました。1ヶ月で257万6千円の募金を集めて、日本の米山奨学会を通して、被災地に送りました。皆、心の中で、日本人頑張っ！と祈りました。

台湾と日本の経済と文化の交流も、普段から盛んに行なわれています。

最近の世論調査によると、台湾人が一番好きな国は日本で、一番旅行したい国も日本です。

台湾人の日本に対するイメージは、「経済力、技術力に優れる国」、「自然が美しい国」、「決まりを守る国」、「豊かな伝統と文化を持つ国」で、多くの人が好感を持っています。

特に若い世代で、対日感情がきわめて良好です。

これは、日本のテレビドラマや漫画や小説の影響が大きいと思います。

そして多くの小説家の中で、圧倒的な人気があるのが村上春樹です。

私は村上さんの作品を翻訳していますが、とても幸せだと思います。

そもそも私がどうして日本語を習ったかと言うと…

大学2年のとき、ある先生から「日本は翻訳と出版が進んでいるので、世界中の新しい情報がすぐ翻訳出版されるから、日本語が出来ればとても便利だよ」と聞いて、日本語を習いたいと思いました。しかし、大学の授業ではすでにドイツ語を取っていましたから、大学の近くにある塾で日本語を習い始めました。ドイツ語の方は使う機会がぜんぜんないので、その後全部忘れちゃった。

一方、日本語の方はずっと習い続けて、日本へ留学して、帰国してからは翻訳の仕事をするようになりました。

そもそも私が村上春樹の作品を翻訳し始めたのは、1982年から日本の雑誌の書評で村上春樹という名前と作品の紹介を何回も読んだことがきっかけです。それで本屋へ行って、本を買ってきて、次々に読んで、すっかり好きになったからです。

また、川本三郎さんの評論『都市の感受性』で、村上さんの作品の時代背景や文体などについてを読んで、村上さんの小説を訳したくなりました。それで、私は村上さんの3つの短編を訳して、作者紹介を書いて「新書月刊」という雑誌に投稿しまし

た。また、『風の歌を聴け』と『1973年のピンボール』を訳して時報出版社に投稿しました。

それから26年間、村上さんの作品は台湾で45作が訳されました。そのうち私は35作を訳しました。

台湾では、いま村上さんの作品は大変評価されています。

ある読者は「村上春樹の顔は将来夏目漱石の次に、日本の紙幣に印刷されるだろう」と予言しました。私もそれが実現するように祈っています。

2年前、台湾大学の図書館が「日本文学の歴史一万葉集から村上春樹まで」というテーマで、特別蔵書の展覧を行いました。村上さんの作品の影響力の大きさをよく反映しています。

台湾大学の近所には「ノルウェーの森」と「海辺のカフカ」という名前のコーヒーショップがあり、若い学生の溜まり場になっています。

村上さんについて幅広く研究が進められています。

今年6月、淡江大学の日本語学科は「村上春樹国際学術研究会」を開きました。

村上さんの作品が海外で読まれるようになったのは80年代アジアから始まって、90年代になると、アメリカとヨーロッパ各国で次々と翻訳されるようになりました。現在村上作品は世界中の46の言語で翻訳されています。

村上さんは作品の中でも、よく千葉のことについて書いています。

例えば、小説家になったばかりのころ、群像文学新人賞をとって、店をたたんで、小説家になる決心をした時、千葉の習志野に引っ越して、3作目の小説『羊をめぐる冒険』を書いて、『野間文芸新人賞』をとりました。村上さんは「その作品が小説

家としての実質的な出発点だった」と言いました。

その時から、村上さんは、小説家になるためには体を鍛えなくてはならないと考えて、日々走るようになりました。これは『走ることについて語るときに僕の語ること』に書かれています。その後も、村上さんは「時々千葉県開催のマラソン大会に参加する、近くにあるホテルの大浴場の割引入場券がもらえる。」と『村上ラジオ2』に書かれています。また、『日出る国の工場』には松戸の結婚式場、『1Q84』には千倉の老人ホームなどが出てきます。私は翻訳しながら千葉のことを思い出して、とても懐かしい気持ちになりました。

先月28日の朝日新聞に、村上さんの記事が大きく掲載されました。「魂の道筋 塞いではならない」という記事です。最近の国境問題で、日中韓の文化交流への影響を心配するという記事です。この記事は台湾のテレビや、新聞でもすぐ報道されました。

2009年イスラエル最高の文学賞が村上さんに贈られました。

授賞式の講演で、村上さんは、イスラエルによるパレスチナ自治区ガザへの攻撃を大統領の前で批判しました。体制を壁に、個人を卵に例えて、「どんなに壁が正しく、どんなに卵が間違っている、私は卵の側に立つ」と強調しました。

この講演は、インターネットを通してすぐに世界中に広まり、英語の原文が台湾の読者によってすぐ自主的に中国語に翻訳されました。多くの方は村上さんの正義感と勇気を、あらためて称えました。

また、村上さんは、お父さんが毎朝戦死者、敵と味方と関係なく、死者全員のためにお経を上げていたということを言いました。中国や台湾の読者だけでなく、アジアのすべての国の人々はその話を聞いて感動したと思います。

その前、2006年フランツ・カフカ賞を受賞した

ときに、村上さんは次のように言いました。「実際、何の賞にも興味ないんです。僕の読者が、僕の賞です。カフカを尊敬しているから賞をもらいにきたので、ノーベル賞をねらってなんてことはないです。」

今年のノーベル賞でも、村上さんは大きな話題になりました。

結果は、中国の莫言さんが受賞しました。中国人として初めてのノーベル文学賞者で、目出度いことです

しかし、中国と香港と台湾の読者は、がっかりした人が多いです。なぜなら、村上さんのファンが圧倒的に多いですから。

しかも、公平に言って、村上さんは賞を取る資格が十分あると思います。

もし、私がノーベル賞の審査員であれば、この賞を彼に与えます。

その理由は、第一、村上さんの作品には、人生の哲学と生活の智慧がたくさん含まれています。

第二、今までこの賞は、戦争で直接被害を蒙った方に与えられたことが少なくないようですが、わたしたちは、たとえ戦争状態になくとも、自然の災難と戦い、不合理なシステムと戦い、自分の弱さと戦っています。孤独で、凡庸な自分がどうやって自分と向き合うか、環境に対応するか、どうしたら精神を豊かにできるか。村上さんは知恵を絞って、分かりやすい言葉と面白い物語を使って、自分と戦うことを読者に教え、生活のヒントを多く与えてきました。これは村上さんの大きな努力による達成だと思います。

第三、村上さんは、作品の中で世界中の素晴らしい文学作品、映画、音楽を読者に紹介しています。彼の作品を読めば、世界中の素晴らしい作家や音

楽家やアーティストの作品を鑑賞できます。

村上さんの作品は世界で多くの言葉に翻訳されています。また、村上さんは英語の作品、特にアメリカの名作を何十冊も日本語に訳してきました。翻訳され、翻訳することによって、東洋と西洋の文化の交流を促したことも、大きな貢献だと思います。

第四、村上さんは毎日体を鍛えています。毎朝4時に起きて、小説を書き、午後は翻訳して、運動をしています。毎年マラソン大会に参加しているほか、トライアスロン大会にも出ています。多くの若い読者は彼の努力に感動して力を貰ったかのように、マラソンを始めたり、生活を変えたり、自信を得たり、傷を癒されたりしています。村上さんは世界中の若い読者にとって人生の先生のような存在になっています。

この度、村上さんが賞を見送られたのは、残念でした。

私は、村上さんが早くノーベル賞を貰えるように、祈ります。

村上さんの作品を翻訳できる事は、とても光栄で、幸せだと思います。これも、日本に留学したお蔭で、そして、ロータリー米山奨学会のお蔭です。この度「ホームカミング」にお招きいただき、ロータリー・クラブの皆様と再会できて、なにより嬉しいです。いま、この場をお借りして、ここに来られないほかの米山奨学生の感謝の気持ちもお伝えしたいです。

皆様、本当にありがとうございます。

皆様のご健康とロータリー・クラブのご繁栄と世界の平和をお祈りします。

これからもよろしく願いいたします。

●●●●●●●●●● 謝 辞 ●●●●●●●●●●

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 得居 仁 (松戸東RC)

頼さん、お帰りなさい。

頼さんは、大変謙虚な方でございます、村上春樹のことばかりおっしゃっていたのですが、翻訳者として大変、台湾で高名な方でございます、頼さんの翻訳した本が、本屋のベストセラーとして、山積みになられているという大変、台湾では有名な翻訳家でいらっしゃいます。

そのような、台湾で花が開きましたのも、皆様方お一人お一人が、米山記念奨学会寄付という種をお蒔きになったからこそ、アジアの国々で、大きな、またひっそりと花を咲かせているのだ、と思います。(拍手)

どうか皆さん、皆さんの善意のお気持ちを、米山記念奨学会寄付にお寄せ下さいますよう、お願い申し上げます。(拍手)



次年度地区大会ホストクラブ会長挨拶

浦安ロータリー・クラブ 2012-13 年度 会長

大 八 木 諭

皆様、こんにちは。次年度国際ロータリー第2790地区の地区大会のホスト・クラブを務めさせていただきます浦安ロータリー・クラブ本年度会長大八木諭でございます。

貴重な時間を頂きまして、一言ご挨拶申し上げます。

今年度の地区大会が盛大に開催されました。また多くの成果を上げられましたこと、心より敬意を表するものであります。心温まる運営に当たられましたホスト・クラブ松戸東ロータリー・クラブの皆様、コ・ホストを務められました第12分区の皆様に厚く御礼を申し上げます。皆様の気持ちを大切に、次年度も熱き心を継承して頑張っていこうと思っております。

浦安市は、昭和44年に東西線が開通、58年に東京ディズニーランドが開園、京葉線が通る東京のベットタウンとして、急速に発展し高層マンションが林立しマンション銀座に変貌して参りましたが、残念なことに東日本大震災では街は液状化で相当な被害を出しました。それまでは「もっとも住んでみたい街」「もっとも住み続けたい街」と全国でも憧れの都市でございました。

「復興の明るい絆はロータリーから」を目標に頑張っていこうです。

さて、次年度の地区大会は、関口徳雄ガバナーエレクトが常日頃から話しております「ロータリーの根底は親睦と職業奉仕」という観点からも、親睦を深めお楽しみいただける企画を多数準備させていただこうと思っておりますので、多くの皆様のご参加をお待ち致します。

また、本大会に先立ちます地区大会記念ゴルフ大会は、2013年10月7日鶴舞カントリー倶楽部にて実施予定となっております。沢山のご参加をお願い致します。

それでは、来年度実行委員長の深作勇より地区大会のPRをさせていただきます。

次年度地区大会実行委員長挨拶

浦安ロータリー・クラブ 地区大会実行委員長

深 作 勇

ただ今、御紹介いただきました、浦安ロータリー・クラブ、地区大会実行委員長の深作勇でございます。本日は貴重なお時間をお借りして、来年度の地区大会の御案内をさせていただきます。どうぞ宜しく御願いたします。

浦安ロータリー・クラブは昭和56年浦安市が誕生とともに産声を上げており、もうすぐ35周年を迎えようとしております。現在会員数は41名とここ数年、ご他聞にもれず会員の減少に悩まされていますが、団結力は強く、来年開催される地区大会に向けて、会員一丸となって今から準備している段階です。

第1分区としては平成8年の長島パストガバナー以来16年ぶりのガバナー誕生ですが、浦安の会員はその名誉を誇り高く思っております。

地区大会は来年、2013年11月9日、10日を予定しております。

会場は東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート。最近名前が変わったばかりで、我々もなかなか名前を覚えられないのでございますが、旧東急ホテルでございます。御承知のように、ディズニーランド周辺はホテルもたくさんありますので、遠方の方で御希望があれば宿泊の手配もさせていただきますので、遠慮なくお申し付けくださりますよう、宜しく御願申し上げます。

来年の地区大会は、先ほど大八木会長も申しましたが、関口ガバナーエレクトが日ごろから話しております「親睦」を前面に出した記憶に残る地区大会にしたいと考えております。

コ・ホストクラブの市川、市川東、市川南、市川シビック、浦安ベイ各ロータリー・クラブの皆様、そして野球リーグの皆様方にはこれからいろいろと御迷惑をおかけすると思いますが、ロータリーの友情でよろしく御願いたします。

今年度の心温まる地区大会の運営を目(ま)の当たりにして、不安が一層つづりますが、なんとか記憶に残る地区大会にしたいと考えておりますので、皆様お誘いの上、一人でも多くの御参加をいただきますよう、お待ち申し上げます。

以上、宜しく御願申し上げます。



「日本の進路と 誇りある国づくり」

講師：
ジャーナリスト
財団法人国家基本問題研究所 理事長

櫻井 よしこ 氏

略 歴

- ・ベトナム生まれ
- ・新潟県立長岡高等学校卒業
- ・ハワイ大学歴史学部卒業

〈 職 歴 等 〉

- | | |
|---------|----------------------------|
| 1971～74 | クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局勤務 |
| 1975～77 | アジア新聞財団 DEPTH (デプス)NEWS 記者 |
| 1978～82 | アジア新聞財団 DEPTH NEWS 東京支局長 |
| 1980～96 | NTV ニュースキャスター |
| 1980～現在 | ジャーナリスト |
| 2008～現在 | 財団法人国家基本問題研究所 理事長 |

- ・1994 年度SJ 賞 (女性放送者懇談会賞) 受賞
- ・1995 年第26 回大宅壮一ノンフィクション賞受賞
- ・1998 年第46 回菊池寛賞受賞
- ・2010 年第26 回正論大賞受賞

櫻井よしこ先生のご了承を得て、大会当日のご講演録に代え、ご著書『甦れ、日本』ダイヤモンド社の〈はじめに〉などを以下に転載いたします。

～^{よみがえ}甦れ、日本 論戦 2012～

〈はじめに〉

2011年3月11日の東日本大震災で菅直人首相(当時、以下同様)が見せた姿は真に最悪だった。それ以前に、菅政権発足とほぼ同時に発生し、菅、仙谷由人両氏が軸となって対応した中国漁船による尖閣領海侵犯と海上保安庁の巡視船への体当たり事件は、気概なき国としての日本の惨めな姿を世界に広めてしまった。

こんな政権の下では、心の晴れる日は久しくなかった。しかし、いま、日本は少しずつ甦ろうとしている。日本の甦りを目には見えない大きな力が後押ししている。

そのような明るい気持ちにさせてくれるのが、日本の海や国土で相ついでいる資源の発見である。

しかもそうした発見は、中国に恫喝されて萎縮した菅政権の姿に反発・発奮した研究者らによってなされていた。

研究チームを率いる東京大学工学部の加藤泰浩教授は「僕は日本が好きなんです。日本のために力を尽くすのは当たり前です」と語る。

3・11で深く傷ついている東北の人々の中にも、その他の地域の人々の中にも、分野は異なるけれど、加藤教授と同じように、日本や故郷に対する熱い想いを日本の甦りにつなげたいと切望している人々がいる。

鳩山由紀夫氏や菅氏を首相に選ぶという愚かさの極限を体験した日本人が、愚かさに気づいて発奮して、祖国の立て直しを始めたのだ。

レアアース（希土）を制する者は21世紀を制すると言ってよいほど、希土は環境、宇宙、軍事などの最先端技術や人類の未来産業に欠かせない。現在、世界の希土の97%を供給する中国がおのずと強大な影響力を行使するゆえんである。

尖閣周辺の領海侵犯事件のときも、中国政府は中国側の非を横に置いて、希土の輸出規制で日本を恫喝した。米欧諸国も宇宙開発や軍事力構築で中国と競いながら、最新の軍事技術を開発するにしてもそれに必要な希土を中国に依存するという制約に直面していた。

ところが、その貴重な希土が泥の形で日本に存在することが判明したのである。しかも膨大な量である。本州から1800キロ、わが国の最東端に位置する南鳥島の排他的経済水域（EEZ）の海底である。発見したのが前述の加藤教授の研究チームである。

加藤氏は2012年6月28日、正式に南鳥島の希土泥について発表した。その約1年前にはフランス領タヒチの海底に同様の希土泥が眠っていることを、英国の科学雑誌『ネイチャー・ジオサイエンス』に発表した。世界中のメディアが大々的に報道したのが、それは希土泥のもたらす経済効果の大きさに加え、加藤教授らの発見に、希土の独占的供給能力を武器として利用する中国の傲慢さを

突き崩す戦力的意味合いを見てとったからであろう。

興奮状態の世界各国とは対照的に、独占体制に泥を塗られ、力を失うことが予測される中国は、「海底の希土は使えないし、とっくに知っている古いニュースだ」などと応じた。しかし大量の希土泥発見は「古いニュース」どころか大ニュースである。この不自然な反応こそ、彼らが受けた衝撃の大きさを、逆に示しているといえるだろう。

加藤教授は『ネイチャー・ジオサイエンス』への論文で南鳥島の件は伏せた。「経済産業省に報告し、国家的プロジェクトに位置づけ、十分な調査を行い、中国がそれと気づかないうちに開発が軌道に乗っていたという形をとればいいと思ったからです」と語る。

その間も国際社会は、希土全体の97%を産出する中国に依存し続け、中国は供給能力を持つ唯一の国として、供給の見返りに最先端技術の中国への移転を要求、切羽詰まって技術移転を進める日本の企業も少なくなかった。

資源国である中国に、技術国の日本が技術を奪われたら、無力化するだけである。それではあまりにも、未来世代の日本人に申し訳ないと加藤氏は考え、民間企業の資金援助を得て、南鳥島の海底探査を急いだ。加藤氏らの熱い想いが膨大な量の希土泥の存在の確認につながったとき、日本人への力強い勇気づけとなったこのニュースは発表されたのだ。

まるで神々からの日本への贈りもののような水深5600メートルの海に広がる希土泥は、陸上の鉱床の希土に比べて、特筆すべき利点がある。

まず地上の鉱床、たとえば中国のものよりもはるかに多くの重希土を含んだ良質の希土泥であることだ。16種類ある希土は大別して軽希土と重希土に分類されるが、とりわけ重要なのが重希土である。ハイブリッドカー、電子部品、光ディスク、エコロジー関連技術等も、また最新軍事技術も重希土なしには成り立たない。21世紀の未来産業を支えるのが重希土なのであり、その宝庫がわが国

の海底にあるのだ。

また、海中の希土泥には、陸の希土に必ずついて回るトリウムやウランなどの放射性元素がない。米国にも希土の鉱床は存在するが、開発に伴って生じる放射性物質、トリウムの処理が難しいために、開発は進んでいない。

さらなる利点は、希土の抽出が比較的容易なことだという。むしろ、5600メートルの海底から採取するのであるから、簡単であるはずがない。しかし、地下の鉱床から採取するより、環境への負荷は少ないと加藤教授は説明する。地上では希土は酸でリーチング（濾過）をして採り出す。たとえば中国は硫酸アンモニウムという強烈な酸を、鉱山全体に大量に注入して、希土を溶かした酸が花崗岩の不透水層にぶつかる所に管を設置して採り出す。この方法では大部分の酸が河川や田畑に流出して環境を破壊するが、海底の希土泥ではこんな手法は不必要だ。加藤氏が説明した。

「海底の希土泥は美容用泥パックと同じ、キメ細かい粒子の泥です。そこに薄い塩酸を注入し、短時間置くとほとんどの希土が抽出されます。抽出後は泥を水酸化ナトリウムで中和して海に戻せば、環境への負荷はありません」

まさに夢の泥なのである。その夢の泥が大量に存在する南鳥島は、三角形の、周囲 7.6 キロの小さな島だが、東の端の国境の島として、自衛隊員と気象庁職員が常駐し、滑走路も備わっている。

試算では採掘船たった一隻で、この海から一日一万トンの泥が採取できる。年間 300 万トンとして、日本の希土の年間消費量の 10% が、そして最重要の重希土のひとつ、ディスプロシウムは年間消費量の 20% 弱が採れる。現行価格で都合 700 億円に相当する。

埋蔵量は日本の使用量の 200 年分と報じられたが「桁が違う」そうだ。おそらく、その 10 倍から 100 倍に上る量、じつに 2 万年分も眠っている可能性が見込まれるのだ。

前述のように、加藤教授らはフランス領タヒチ海でも同様の夢の泥を発見したが、なんと南鳥島は

1 億 2000 万年前にタヒチの近くで生まれ、同島を乗せたプレートが現在位置まで移動してきてわが国の領土になったのだという。

そのことに私は驚いたが、加藤教授は別のことに驚いたという。

「Site800 と僕らが呼んでいる南鳥島の海底で採取した 1000 万年から 1500 万年前の泥、これは南鳥島が現在地に近い所まで来ていた時代なのですが、その時代の泥が 1500ppm を超える非常に高い濃度の希土を含んでいることが判りました。日本にとって福音だと思います」

46 億年の地球の歴史からみれば、1000 万年前などはつい昨日のようなものなのであろう。近い過去に堆積した泥が高い濃度の希土を含んでいるということは、泥の層を深く掘り下げなくとも、比較的上層部からも希土が採れるということだ。

それにしてもタヒチのプレートから離脱した後も、南鳥島を乗せたプレートは希土泥を積み上げつつ、日本に近づいてきたのである。高い濃度の希土泥がそれだけ厚い層となって堆積しているという意味である。加藤教授は科学者としてその生成過程を調べたいと語ったが、人間の生きる時間から見れば気の遠くなるような長い時間の中で、人類を 21 世紀の最先端の科学に結び付けてくれる物質が大量に集積した。その成り立ちを調べるとは、なんと夢のあることだろうか。また、日本にとっては、すべてがなんと幸福なことであろうか。

日本周辺で見つかったのは、希土泥だけではない。新潟県佐渡島の南西約 30 キロの海底に国内最大の油田、ガス田が存在する可能性も明らかになったのである。豊富な資源が山手線内の約 2 倍という、海外の大規模油田に匹敵する広大な面積に眠っていることが突きとめられた。試掘は来年 4 月にも始まる。

秋田県由利本荘市の「鮎川油ガス田」では新たな石油として注目される「シェールオイル」が、これまでは採掘は不可能とされていたのが、技術の進歩によって採掘が可能と判断され、これまた、来年にも試掘が始まる。

資源がなかったはずのわが国に、21世紀の産業を制するとされる重希土をはじめ、各種エネルギー資源が豊富に存在していた。こんな明るいニュースが、東日本大震災で深い傷を負い、現在も立ち直れずにいるわが国にもたらされた。これこそ天佑、僥倖げうこうというのである。

米国の元海軍軍事でヴァンダービルト大学日本研究所所長のジム・アワー氏が、記事を読んで早速連絡してきた。「この朗報は南西諸島の強力な防衛体制の構築が必要だということを示していますね」と。

まさにそのとおりである。強力な防衛体制の第一歩はまず、自国の海は自国が守るという気概を持つことである。シンクタンク「国家基本問題研究所」副理事長の田久保忠衛氏が興味深い事例を語った。

「今年3月30日、パラオの警察が自国の海域で違法操業していた中国漁船に警告し、発砲して、1人を射殺、25人を逮捕したのです。あの小国パラオが中国船を果敢に取り締まり、一步も退かなかった。中国政府と交渉して、中国人一人につき1000ドル、合計25000ドルの罰金を中国政府からとって、釈放に応じました。日本とは対照的です」

パラオは台湾との国交を維持している数少ない国のひとつである。彼らが中国漁船に果敢に挑んだのは、一にも二にも気概ゆえであろう。尖閣諸島の領海侵犯事件で中国に屈した日本はパラオとは比較にならない大国でありながら、気概はパラオ以下だということになる。

だが、中国に物を言えないこの惨めさからも脱し、外交においても日本麩りの兆しが見え始めてきたと、私は思う。

東京都の石原慎太郎知事が尖閣諸島を都が購入すると発表して以来、物理的な日本衝突の危険性が現実味を帯びてきた。政府が購入の意思を明らかにすることは、その危険性をさらに高めることだったが、野田佳彦首相は怯まなかった。

本書でも伝えたように、中国政府は5月13日の北京における野田・温会談で、ウイグル、尖閣、

北朝鮮の三問題を取り上げ、ウイグル問題を「中国の核心的利益」と呼び、尖閣問題を「主権と領土に関する重大な関心事項」と表現した。

一方、中国外務省は、温首相が「新疆や釣魚島（尖閣諸島）などの問題」に言及し、「中国側の核心的利益と重大な関心事を日本側が切実に尊重することを重ねて促した」と発表した。

温首相が「核心的利益」と明言したのはウイグル問題だけだったが、発表では巧妙にウイグル問題と尖閣問題を一緒に扱い、あたかも尖閣諸島も核心的利益と呼んだと思わせる表現にしている。意図的な操作である。

中国政府に意図的恫喝の手法をとらせたのは菅、仙谷両氏であろう。2010年9月の尖閣領海侵犯事件で、中国に平身低頭する屈服外交を展開した二人を見て、中国政府は、日本与し易し、圧力を加えれば必ず屈服すると見たに違いない。だからこそ、曖昧な余地を故意に残しながら、政府レベルの発言として、核心的利益という決定的な言葉が、領土にもかかるかのように使ったのだ。日本に対する言葉遣いと米国に対する言葉遣いの明らかな違い、そのことの意味を日本人は心しておかなければならない。

2010年3月、胡錦濤こきんとう国家主席の右腕とされる戴秉国たいへいこく國務委員が当時のスタインバーグ國務副長官およびベアダー国家安全保障会議アジア上級部長に、南シナ海は中国の核心的利益だと告げたと『ニューヨーク・タイムズ』が報じた。この一件は米国側に中国に対する強い警戒心を抱かせるきっかけとなった。米国の反応に、中国側はおそらく驚き後悔したはずである。彼らは南シナ海は中国の核心的利益と言った事実はないと、徹底的に否定し始めた。米国が強く反発し、中国が強く否定しなければならなかった同じ言葉が、日本に対して使われているのである。日本与し易しと、中国政府に見られているのは明らかだ。

野田首相が尖閣諸島購入を明言したのは、当然、中国側の強硬意見も織り込んだ上でのことだと、政府高官は語る。

中国側は尖閣に接近するのに海、空のいずれの手段も活用するに違いない。日本側はあらゆるケースを想定して備えなければならない。クリントン国務長官は2010年9月、日本安保条約は尖閣諸島にも適用されると、前原誠司外相に明言したが、尖閣防衛の大前提は、日本の力で守るということだ。それが野田政権の認識だと、高官は強調した。

このようなことはいかなる国にとっても当然のことである。だが、つい先頃の菅政権まで、日本は中国が怒ればひたすら従い、尖閣に危機の兆しが見えれば米国の援軍を頼みにしてきた。中国の反発覚悟で尖閣購入を明言し、日米安保体制を土台にしながらも、自力防衛に軸足を置こうとするのは、再び日本政府に気概が生まれてきつつあることを示している。

野田政権の下で、自民党もできなかつたいくつかのことがなされてきた。たとえば、武器輸出三原則の緩和であり、宇宙航空研究開発機構の設置法改正である。これによって防衛および宇宙産業が日本の安全保障に資することが可能となった。残る喫緊の課題は集団的自衛権の行使に踏み込むことである。同伴については安倍晋三氏が首相だったときから、かなり議論が行われ、集団的自衛権の行使が容認された。民主党の国家戦略会議フロンティア分科会も、同じく集団的自衛権の見直しを提唱した。

自民・民主双方に、国家として成すべきことを^{わきま}弁えている人々がいるのである。野田首相がそうした人々を結集し、集団的自衛権の行使に踏み切るべく決断する気運が整いつつあるのではないか。その先にある最重要の課題、憲法改正を手がける日も遠くないのではないか。私はそうしたことを確実にかつ早期に実現させなければならないと考えているが、その日は近い将来来るのではないかと感じ始めている。

〈混迷の淵に落ち込んだ日本〉

～先人の祖国への思いを今こそ伝承したい～

もうすぐ8月15日である。3・11の大災害に見

舞われた2011年はとりわけ多くの方が、日本と日本人のあり方について思いを巡らすのではないだろうか。

私はこの機会に恩師の話をうかがった。新潟県立長岡高校で古文を教えておられた山本清先生だ。小千谷市の自宅で、大正末年生まれの85歳の師はかつてと同じく、端然とした様子で話された。先生は終戦直前の昭和20年(1945年)8月に前橋の予備士官学校に入り、特別甲種幹部候補生となった。

「長岡は8月1日、米軍の空襲を受けました。夜中に小千谷から見ると、長岡方向の空が真っ赤に染まっていました。親戚のことが気になり、自転車で駆けつけると、夜が明けた町の様子には言葉もありませんでした。柿川には幾体もの死体が浮いていました。熱さに耐えられず川に飛び込み、水の表面を走る炎に焼かれて亡くなったのでしょう。そうした人がたくさんおられました。この世のものとも思われない惨状を見て、翌日、予定どおり、前橋で入隊しました」

そのときの気持ちを先生はこう語る。

「学生ですから世界の情勢はまったく読めていません。しかし、学徒動員で、群馬県太田市の中島飛行機で、すでに一年間働いた経験がありました。『キの84』、^{はやて}疾風という飛行機の製造を手伝っていたのです。中島飛行機も2月10日の空襲で焼かれ、戦況がきわめて悲観的であることは感じていました。ですから、兵となることは戦って死ぬことだとよくわかっていました。それも受け入れよう、日本の窮状と故郷の人たちの苦しみを見て、若い自分たちが先頭に立たなければならないという使命感が先に立ちました」

入隊後、すぐに千葉県九十九里に配属されることが決まった。作戦目標は敵の上陸阻止である。浜に沿って50メートル間隔で「タコツボ」を掘り、携帯地雷を2個持たされる予定だった。配属命令が出るまで、群馬県榛名山の麓の相馬ヶ原で、タコツボ掘りの訓練を受けた。榛名山の黒い火山灰を九十九里の砂に見立てて穴を掘った。相馬ヶ原

を登れば伊香保がある。この地で20歳の若者は死を覚悟で約2週間を過ごし、敗戦を迎えた。予期していながらも、現実には敗戦を迎えると、人生の目標を見失ったような喪失感に襲われた。それでもしっかり生きなければならぬと思いついたのは、ある体験があったという。それは故郷に帰る列車内での小さな出来事だった。

「列車は立錐の余地もなく混んでいました。東京から小千谷まで7時間、男はゲートル、女はもんぺ姿です。そうしたなかで、赤ん坊が泣き始め、泣きやみません。疲れと苛立ちから『ウルサイ、乳を飲ませろ!』という声が上がりました。すると、母親の悲痛な叫び声が返ってきました。『お乳が出ないんです!』。今のようにベビーフードがあるわけではない。母乳が子供にとって唯一の食事です。それなのに乳が出ない。車内は思わぬ事態に一瞬、静かになりました。そのとき、列車後部から『お乳、あります!』という別の女性の声が聞こえたのです。すぐに、赤ん坊が皆の頭の上をスルスと、まるでボールのように手渡しされていきました。身動きが取れませんか、私はどちらの女性の顔も見えていません。けれど、赤ん坊の泣き声はすぐに収まりました」

恩師の語るわずか50～60年前の日本人の姿と、必死に生きていこうとする姿勢に、思わず涙が出そうになる。

そのとき、先生は感じたという。敗戦で日本人は極限まで困窮し、不幸のどん底にある。自分たち若い者が防波堤になってこの人たちを守らなくてどうする、ウロウロ迷ったり落ち込んでいてはならない、と。やがて先生は國學院大學に復学し、民俗学を学んだ。民俗学の泰斗、折口信夫や柳田國男らが身近にいた。こうして先生は深い喪失感から立ち直った。

先生の物語には日本人として知っていなければならない宝物のような話がいっぱい詰まっている。日本全体が不安に揺らぎ、先が見えにくい今こそ、先人たちが祖国をどのような思いで支えてきたかを学び、それを力となして、伝承していきたいと、私

は切に願う。

ちなみに今回、お話をうかがううちに、かつて当欄で取り上げた日本初の公立小学校をつくった小千谷市の篤志家、山本徳右衛門は山本先生の祖父であったことも教わった。故郷の英雄はごく身近におられたのだ。

(『週刊ダイヤモンド』2011年8月13日・20日合併号)

～日本は大戦略を描き、アジアの求心力となれ～ (力を失い続ける国家)

2011年7月30日の英『エコノミスト』が、財政・経済問題を解決できない米国のオバマ大統領とドイツのメルケル首相の着物姿の風刺絵を載せ、「日本人になる(Turning Japanese)」と皮肉った。「西側社会における恐るべきリーダーシップの不在、しかし、どこかで見たような……」という副題には、日本人としての口惜しさを超えて、納得せざるをえなかった。

鳩山由紀夫・菅直人両民主党政権自体が日本の悲劇であるのはむろんだが、悲劇の元凶は民主党にとどまらない。この幾十年、わずかの例を除いて、日本の政治は、思考し、決断し、行動し、検証する能力を欠いてきた。

その結果をIMFの資料が突きつけている。1990年には世界シェアの14.3%を占めていたわが国のGDP(国内総生産)は08年には8.9%に、国民一人当たりGDPは世界ランキングで2000年の3位から08年の23位に、それぞれ落ち込んだ。国際競争力評価の年次報告書に見る凋落はさらに激しく、90年の1位から08年には22位に急落した。

日本は恒常的に力を失い続けている。とりわけ冷戦終結後の約20年間、世界が新しい制度を考案し、経済を成長させたのとは対照的に、日本だけが国際社会の変化から目を背け、ほとんど成長できなかった。シンクタンク国家基本問題研究所の評議員で東京国際大学教授の大岩雄次郎氏は、経済大国だという点も含めて、いま日本は、自身の

自画像を修正しなければならないと指摘する。

「02年から07年までの6年間の統計から輸出入が総需要に占める割合を平均値で取りました。日本の総需要に占める輸出の割合は14%、輸入は12.9%です。共に10%強でしかありません。貿易立国とはとてもいえず、日本は内需で成り立っている国なのです」

外に目を向けた貿易立国ではなく、内側ばかりを向きがちな国が現在の日本なのである。まず、この自画像を正確に心に刻み込みたいものだ。そのうえで、現状維持では日本経済がさらに衰退することに気づくことが大事である。

まず人口の推移を見ると、現在1億2500万人の総人口は約40年後の50年に約9000万人になる。40年間で3000万人の減少は高齢化と同時進行だ。15歳未満の若い人口は現在全人口の18%強を占めるが、50年には9%に半減し、65歳以上の高齢者は22%から37%へと大幅に増える。

高齢者の増加は内需の減少を意味する。おカネはあっても欲しいものが少なくなるからだ。

経済成長を望むなら、海外と積極的に切り結ぶしかないのである。その際忘れてはならないのは、日本にはまだ大いなる力が残されており、賢い選択さえすれば日本の可能性は凄まじく広がるということだ。日本は決して終わりではない。自信を持ってよいのである。ただし、現状維持では駄目だということは再度強調しなければならない。

(開国のメリットを享受できない理由)

日本の自画像のもう一つの歪みが、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)をめぐる議論から透視される。菅政権はこれを「第三の開国」と位置づけたが、日本はすでに世界のなかでも最も開かれた市場中心の国家だ。大樹総研特別研究員の松田学氏が強調する。

「日本の平均関税率は世界的に見て最低水準です。工業品の関税はほとんどありません。非関税障壁の高さが外国勢の事業機会を他国に比べて阻

害している実態もありません。マネーの世界も同じです。日本は非常に開かれた国であり、むしろ現状は、開かれているがゆえに中国資本による野放図な日本買収が懸念される状況にあります」

野放図で野蛮な自由が正しいのではない。自由は秩序ある自由であってこそ、自由の真価が発揮される。本来、国家にはそれを担保する設計がなければならぬ。問題は、日本がその種の制度設計に噛み込めていないことなのである。だからこそ、せっかく開国していても、そのメリットを十分に享受できていないのだ。

国家としての制度を欠くために真価を発揮することができない理由は、戦後、安全保障や外交を米国に頼り、自分の頭で問題解決法を編み出す努力を怠ってきたからにほかならない。国防や外交のあり方は、国際関係のなかで日本がどのような姿で立つのかということと同義だ。自分の姿を自分で決められない国が、時として軍事や政治をも凌駕する経済の枠組みを決めることなどできるはずがない。

数字がここまではっきりと日本の凋落を示している以上、私たちは変わらなければならない。打つべき手も明らかだ。従来の発想をことごとく変えることだ。挑戦と、一方で新しい脅威に満ちた21世紀に、日本はどのような国になるのかなりたいのか、新たな夢を掲げて果敢に切り込んでいくときなのである。喫緊の課題の一つがTPPである。TPPを単なる経済ルールの一つとして矮小化してはならない。政治、安全保障をも動かす経済の新しい枠組みとして、その戦略的意義と重要性を認識すべきだ。

TPPはベルネイ、チリ、ニュージーランド、シンガポール4カ国の自由貿易協定(FTA)から始まり、2008年に米国が、次いでオーストラリア、ベトナム、ペルー、マレーシアが参加した。

加盟国を見れば、日本の参加なしにはほとんど意味がないのは明らかだ。したがって、参加を迫られるという考えを捨て、日本の参加で初めて新しい枠組みが成立するという強い気持ちを持ってば

よい。

(日本の農業は決して弱くない)

2011年8月10日、初めて空母の試験航行に踏み出した中国は、軍事力を誇示し、アジア全体を席卷しようとする。だが、中国式価値観で支配されるのはアジアにとって究極の不幸である。アジアの秩序や制度は、一方的に主張を押し付け、国際法や契約も無視する中国式価値観に基づいてはならない。互惠尊重の精神と国際法にのっとった合理主義に基づかなければならず、それはほかでもないわが国日本の価値観である。

TPPの議論を通して、日本はアジアの求心力になるべく旗を掲げるのがよい。TPPの諸制度に日本式ビジネスを支える特質と価値観を生かす道をつくること。日本は決して、中国主体のアジア秩序におとなしい構成員として組み込まれてはならない。日本の価値観を主張し、米国との協力を成し遂げ、中国への大いなる牽制とすることが日本の国益である。

TPPには例外品目がなく、100%の自由化が求められる。モノ、サービスのみならず、ヒトの移動も、知的財産権の保護、強化もすべて含まれる。これは事実上、米国とのFTAと考えてよいだろう。それゆえに、参加すれば米国式の手法で日本は丸裸にされる、とりわけ日本の農業は潰滅すると警告する声もある。

だが、ここでも現実を見れば解決の道が開けてくる。日本の農業は決して弱くないという現実である。日本の農業生産額は実は世界第5位、先進国では米国に次ぐ農業大国なのである。ただひとつの弱点がコメ農業である。平均年齢が65歳を超えて10年後には担い手がいなくなるといわれるコメ農家を守るために、歴代政権は補助金政策を採った。それでも耕作放棄地は増えるばかりで、補助金政策の限界は誰の目にも明らかだ。TPPへの参加不参加とコメ農家の惨状は無関係である。TPP問題以前に、コメ農家は深刻になりすぎている。コメを強い産業として育てるにはどんな政策を採るべきなのかは、別途考えるのが合理

的だ。

月刊『農業経営者』副編集長の浅川芳裕氏の論を借りれば、コメ以外の日本の農業は力強く育っている。40万戸の主業農家（農業所得が全所得の50%以上）が、日本人の消費する国産食料の大半を作り出している。酪農の95%、養豚の92%、養牛の92%、花卉の87%、工芸作物の85%、イモ類の83%、野菜の82%、麦の76%、豆の76%、である。さらにいえば売り上げ1000万円を超える14万軒の農家が日本の生産の6割を占めている。

彼らは隣に安値攻勢をかける中国がいても、逆に対中輸出を増やしてきた。同じことが世界に対して可能であり、その可能性をTPPによってさらに伸ばすのが政治の役割だ。福島第一原発の事故は日本の農産物の評価を下げたが、これはやがて克服されるだろう。守りの政策から、攻めの政策への方針転換をTPPで実現することで、日本の産業全体が甦る可能性が高まる。

内需の国から再び貿易立国に転換を図り、開かれた体制を日本の強みとし、日本人の自立心を養っていききたいものだ。

(『週刊ダイヤモンド』2011年8月27日号)

【追記】

野田佳彦首相は2012年6月26日、税と社会保障の一体改革関連法案を衆議院で可決させた。このことは小沢一郎氏ら49名の離党につながったが、野田首相の物事も決められず、言うだけで実行できない内閣という汚名を打ち払ったことになる。

この件について野田氏は12年6月30日、本稿の冒頭で紹介したオバマ大統領とメルケル首相の着物姿の風刺絵を見て発奮したとして、「(決められないことを示す)『日本化する』などという言葉が世界から消えるような政治を創らなければ、この国は滅んでいく」と述べた。口惜しいと思い、発奮した野田首相は見込みがあると、私は大いに評価している。

●●●●●●●● お礼の言葉 ●●●●●●●●

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 得居 仁 (松戸東RC)

櫻井先生、どうもありがとうございました。

櫻井先生に今日のご講演をお願いしたのが約1年半前でございます。櫻井先生は、ジャーナリストである御仕事柄から、予定は常に半年前までしかお入れにならないのだそうです。その時に私、特にお願いしまして、現在はアメリカの大統領選挙が非常に白熱している状態でありまして、おそらく心はアメリカに飛んでいることだと思いますが、1年半前から今日、お出でいただくことをお約束いただきまして、その通り、お出でいただきまして、本当にありがとうございました。(拍手) …

京都大学の、今は亡き高坂教授が「憲法に嘘が書いてあると、国が腐るんだ」、こういうことをおっしゃっていました。諸国民の公正と信義だけに依存して、国の安全、平和が守れるわけないと言っています。

そのことが、おそらく今、先生がおっしゃって下さったような、色々な情報を日本のマスメディアが伝えない、また政治家も、起きては困ることは起きないことにしている、ここに日本の根源的な問題があるのではないかと思ったりもいたしますが、いかがでございましょうか。(拍手)

どうもありがとうございました。

RI 会長代理所感

第2790地区 RI 会長代理
RI 理事 朴 柱寅



得居ガバナーと第2790地区ロータリアンの皆様!2日間の地区大会を、立派に終えることができたのは、皆さんが一体となり、誠心誠意をこめて、励んでくださったお陰だと思い、RI 会長に代わって、深く感謝を申し上げます。皆さん、本当に御苦勞さまでした。

特に、地区スタッフとホストクラブの皆さんの格別な努力に対して、敬意と称賛の言葉を上げたいと思います。

2日間の大会の期間中1,700名を越す、参加人員を、大会プログラムに従って何の落ち度もなく、スムーズに大会を進行させた、関係者の皆様方の熟達さにも感謝を申し上げます。プログラムの内容も充実しており、参加ロータリアンの積極的參與の態度も好ましくて感銘を受けました。

特に、櫻井よしこ先生に依る“日本の進路と誇りある国づくり”の記念講演は、大変感銘深い名講義であり、皆様と一緒に、先生に対して、感謝の念をお伝えしたいと思います。

ロータリーの活動の中でも、特に職業奉仕の理

解を深めクラブ会員の研修を重ねることにより、高潔であり、品格、徳性を備えて地域社会で尊敬されるロータリアンを多数生み出すことを目標として、会員の質の向上を図っている、得居ガバナーの指導理念に対して、私の平素の考えとその基底を同じくする卓見として敬意を表せざるを得ません。

今、国際ロータリーは、10年以上も全世界的に、会員減少の難題を担って憂慮していることを、皆さんもご承知のことと思います。

そのゆえんが何かと各国のロータリー指導者達は苦悶しているながら、経済不況と会員の高齢化等を主な理由として上げているのが現実です。

しかし、このような事情はどの国でもほぼ同じ状況にあると見えます。或る国では年次会員増強の目標を毎年達成しているのはどういう訳でしょうか？

そういう国の事例に関する情報を得て、何か我側にその間、会員増強面において落ち度はなかったかと、謙虚に、自己省察をして見るのが従うべき順序ではないでしょうか。

アメリカではキリスト教会を指して冷蔵庫だと皮肉があると言います。なぜでしょうか？

すべてが、整然として缺陷のない、立派な教会だけれども、情熱がないので協会の信者が増えないのです。いわば申し分の無い、しかし氷のように冷たい、紳士淑女の集いだという意味です。この教会が新しい信者を増やす意志があれば、どういふ方法で推進して行くかの、計画を立てて、それを具体的に実行することによって、成長停滞の暗いトンネルを脱出することができるでしょう。

しかし、こういうプロジェクトが実践可能なものになるためには、必ず、もう一つの、必須条件が満たされなければなりません。それが外ならぬ情熱です。情熱のない成功がなければ、情熱のない創造もないのです。成せば成るといふ熱情を持って邁進するとすれば、何事でもきつと成し遂げることができるのです。

この教会が、新しい信者を増やして、より大きい教会に発展する為には、何よりも情熱の回復が

いの一番必要です。

得居ガバナーは職業倫理を根本とする職業奉仕の復興を計らっていますので、教育を通じて、ロータリーの魂と熱意を会員達とお互い分かち合うことによって、職業奉仕の再建ばかりでなく、会員増強と維持面においても、今ロータリー年度に、ぜひ、刮目に価する、立派な成果を擧げるよう奮發して下さることを切にお願いいたします。

倫理の根源は儒教の「仁」にあり、その仁の核心は、何事においても、最善を尽くすことにあります。ロータリーの活動においても、すべてを一生懸命励むことによって、心に喜悅感を感じることができ、その結果として、奉仕活動上の成果も擧げることができるのです。

- ①儒教の「仁」は超越の奉仕であり、超我の奉仕の中核たる価値は職業倫理である。
- ②得意即ち得居ガバナーは(ひとし)「仁」、即ち職業倫理に得意な人でしょう。得意は満足な様子、または自信を持つ様子だとすれば、得居ガバナーは職業倫理即ち職業奉仕を復興させる人だと言えます。
- ③未来のロータリーの象徴は職業倫理であるべきです。その発祥地が外ならぬ日本の千葉の松戸です。
- ④千葉は英語に訳すと thousand leaves になります。

leaves は木の生命力の根源である太陽の光を受け入れる機能を担って、落葉になっては木の根に栄養分を供給する肥料の役割を全う(松戸)する、超我の奉仕を象徴する貴重な存在と言えます。得居ガバナーは運命的にロータリーに得意な人にならざるをえない人だと思います。何卒頑張ってください。

この地区大会は、久しぶりに再開の友達との、和氣あいあいな交流と親睦、感銘深い講演、又は、地区及びクラブ、RI 全般に関する問題の討議と情報交換、そして地区とクラブの成功事例等を発表する場であり、会員の士氣を高揚させる、雰囲気

の中で大変スムーズに取り運ばれたと思います。

改めて得居ガバナーと安蒜実行委員長を始め、ホストクラブの会員の皆様と、その他関係者の皆様の献身的な努力と協力が相乗作用をもたらして、このような成功に至ったと思います。

皆様方の並ならぬご苦勞に対して、田中会長に代わりまして、重ねて称賛と敬意を表します。皆さん本当にご苦勞様でした。

●●●●●●●●●● 謝 辞 ●●●●●●●●●●

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 得居 仁 (松戸東RC)

御礼のご挨拶を申し上げます。

大変、過分なお褒めの言葉を頂戴いたしまして、恐縮しております。

しかし、その中に、ロータリーの職業奉仕の推進をさらに進めることと、どんどん、どんどん会員が減っておりますこの第2790地区の、何とかして、会員減少を食い止めるだけではなく、増加に転じよ、という励ましのお言葉も入っていると思います。

私、朴 柱寅先生のお姿をお目にするのが、ニューオリンズの国際大会の日本人朝食会で、あるいはその年の秋の大阪のロータリー研究会で、拝見いたしまして、そのお人柄の素晴らしさというものを、垣間見ることが出来ましたが、まったくその、私の思いが間違っていなかったのだということ、確信することが出来ましたことと、大変な、いわゆるリベラルアーツと申しますか、一般教養に深い先生でいらして、昨日のご講演、それから今のご挨拶、それからRIの現況報告を含めて、私自身、大変勉強になりました。

たぶんご参席いただいた皆さんも、同じお気持ちであろうと思います。

本当に素晴らしい会長代理をお迎えできたことを、私、この上ない喜びだというふうに思いまして、皆さんと一緒にもう一度、朴 柱寅先生を…。(拍手)

どうも、本日はありがとうございました。

この後、朴 柱寅ご夫妻を囲んで、RI 会長代理に感謝する懇親会を4階で行うことになっております。どうぞ、お帰りにならずに、朴 柱寅先生と直接お話をなさって、そのロータリーへの情熱、あるいはそのお人柄、ロータリーの真髓を…先生に、直接お触れになることは、必ずや皆さんのこれからのロータリー生活に、プラスになる、こう思っておりますので、ぜひご参加下さいますことを、合わせてお願い申し上げます、御礼の言葉にいたします。

どうもありがとうございました。(拍手)



RI会長代理に感謝する懇親会 RI 会長代理 挨拶

第 2790 地区 RI 会長代理
RI 理事 朴 柱 寅

みなさん、こんばんは。いやあまだ日が暮れないので「こんばんは」と言うのは私の立場では、これはちょっと他の挨拶はないかと思えますけれども、「こんにちは」と言ってもちょっとおかしいですよ、どうですか。

私は韓国では、即席スピーチをようやる人と知られておりますけれども、ここにきて、難しい日本語を使って話をしなければならないから、とても緊張して、必ず原稿を持ってやります。その点を了解してください。

先ほど、プログラムのブックレットに、森田県知事の祝辞を読みました。その中で千葉県民に対して愛郷心を呼び起こすためだと思えますけれども、こういうことが書いてありました。『千葉に「生まれてよかった」また「住んでよかった」それで「働いてよかった』』どうですか、みなさん。この言葉お知りですか？

それを私はこれをロータリーに置き換えてはどう

かと思えます。良い表現ですから。それで、「ロータリーに入って良かった」また、「ロータリーに居て良かった」それから「ロータリーに仕えて良かった」どうですか。そういう風にあなた達がロータリーに対する愛情をもっとじっくり込めて、ロータリー活動に参加してくださることを特にお願いしております。

そして、アーチクランプは、あの人は自分自身が言っていることではなく、横の人があの人を評価する時に、どういうことを言ったかと言うと、あの男は「Live Rotary (ロータリーで住まい)」、それから「Sleep Rotary (ロータリーで寝て)」、「Dream Rotary (ロータリーの夢を見る)」と。それで、ポール・ハリスを継ぐ偉大な先輩ロータリアンになりました。

では、私の原稿によって簡単に挨拶をしたいと思えます。

親愛なるロータリアンのみなさま、2日間の地区大会を大成功に納め、大会参加者の皆さんが、この場に集まり、ロータリアンだけの懇親の催しを持つことになり、本当に嬉しく思います。

今年度の地区大会はロータリー知識と情報交換などに、すこぶる有意義な集いであり、また、親

睦と友情が溢れる祝祭でした。

ロータリーの第2のモットーである「最も良く奉仕する者最も多く報いられる」という言葉の中には、奉仕を一生懸命にする者がより多くの賞讃を受けるといった意味が含まれていると思います。

その奉仕の熱心さは会員お互いの親睦と友情を一層深めることによって、醸成される奉仕のエネルギーだと思います。その意味でも、この懇親会はエネルギーを再充電する絶好のチャンスだと言えます。「奉仕を通じて平和を」勝ち取る戦に出向く貴方たちは皆、奉仕の侍です。ロータリアンの皆様が集まり、親しみ合う友情は、やがてもっと大きな奉仕を成し遂げる為に必要な活力をじっくり備蓄する機会でもあります。

フランスの思想家ボルテールという人がいます。その人はこういうことを言いました。「友情とは、魂と魂が深く結ばれる魂の結婚だ」と言いました。時には友情と親睦を軽視して、奉仕だけを強調し過ぎる、そういうロータリー指導者もおります。しかしそれは、兵士に十分な食糧と兵器を持たさず戦に追い出すのと同じではないでしょうか。

すこぶる素敵なこの夜、皆さん、二日間の疲労、疲れをすっかり振り落して、レクリエーションの歓喜を十二分味わって下さい。

ロータリーは我らのとこしえの恋人です。心から溢れる慈愛を捧げて、熱く恋しましょう。ありがとうございました。



名簿・記録

ご来賓、参加ロータリアン、参加ロータリー・ファミリー名簿
物故会員
地区資金決算報告書・監査報告書
地区大会決議
ロータリー財団寄付者名簿
ロータリー米山記念奨学会寄付者名簿
地区大会各種表彰 クラブ表彰・個人表彰
RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会・アトラクション
大会2日目 アトラクション
ホームカミング
友愛の広場
スライドショー「松戸の景観百選」
地区大会記念ゴルフ大会
諸事お知らせ
会場案内図

地区大会を振り返って

ご来賓・他地区参加ロータリアンご芳名

敬称略

【R I 会長代理】

第3610 地区 RI 会長代理 朴 柱 寅 順 天 RC
令夫人 曹 淳 子

【ご来賓】

松戸市長 本郷谷 健 次

【ロータリーの友委員会委員長】

第2820 地区 パスト・ガバナー 片 岡 信 彦 土 浦 南 RC
令夫人 片 岡 雅 子

【他地区参加ロータリアン】

第3520 地区 ガバナー 張 順 立 台北東北 RC
令夫人 林 香 月
第3520 地区 地区特別顧問 李 博 信 台北中山 RC
第2560 地区 ガバナー 鈴 木 重 壺 長 岡 RC
令夫人 鈴 木 京 子
第2570 地区 ガバナー 鈴 木 秀 憲 吹 上 RC
令夫人 鈴 木 佳 代 子
第2770 地区 ガバナー 田 中 德 尚 川 口 RC
第2800 地区 ガバナー 和 田 廣 南 陽 東 RC
令夫人 和 田 眞 理 子
第2820 地区 ガバナー 野 堀 喜 作 つくば学園 RC
令夫人 野 堀 敏 子
第2840 地区 ガバナー 疋 田 博 之 桐 生 RC
令夫人 疋 田 房 子
第2590 地区 ガバナー 露 木 雄 二 横 浜 瀬 谷 RC
令夫人 露 木 眞 実 子
第2640 地区 ガバナー 北 中 登 一 大 阪 狭 山 RC
令夫人 北 中 江 都 子
第2830 地区 ガバナー・エレクト 北 山 輝 夫 八 戸 北 RC
会 長 平 野 榮 子 八 戸 北 RC
幹 事 神 山 智 子 八 戸 北 RC
源 新 和 彦 八 戸 北 RC
川 崎 益 美 八 戸 北 RC

地区内参加ロータリアン

【地区役員・委員会委員】

パスト・ガバナー 佐 川 一 元 船 橋 南 RC
パスト・ガバナー 黒 田 實 茂 原 RC
令夫人 黒 田 宏 子
パスト・ガバナー 齊 藤 博 市 原 RC
令夫人 齊 藤 泰 江
パスト・ガバナー 土 屋 亮 平 松 戸 RC
パスト・ガバナー 大 矢 惣 一 郎 大 原 RC
パスト・ガバナー 石 井 亮 太 郎 松 戸 東 RC
パスト・ガバナー 長 島 洋 三 市 川 東 RC
令夫人 長 島 照 枝
RI 会長代理エイド パスト・ガバナー 平 山 金 吾 成 田 RC
令夫人 平 山 裕 子
パスト・ガバナー 秋 元 秀 夫 君 津 RC
研修リーダー パスト・ガバナー 鈴 木 雅 博 市 原 中 央 RC
令夫人 鈴 木 聡 子
パスト・ガバナー 森 島 庸 吉 船 橋 西 RC
パスト・ガバナー 増 田 豁 千 葉 中 央 RC
令夫人 増 田 恵 子
パスト・ガバナー 杉 木 禧 夫 茂 原 RC
令夫人 杉 木 久 己 子
パスト・ガバナー 山 中 義 忠 船 橋 南 RC
令夫人 山 中 万 里 子
パスト・ガバナー 白 鳥 政 孝 市 原 RC
令夫人 白 鳥 信 子
研修委員 パスト・ガバナー 崎 山 征 雄 習 志 野 中 央 RC
令夫人 崎 山 茂 代
パスト・ガバナー 中 村 博 亘 柏 西 RC
R 財 団 委 員 会 委 員 長 パスト・ガバナー 織 田 吉 郎 銚 子 RC
令夫人 織 田 悦 子
パスト・ガバナー 山 田 修 平 木 更 津 東 RC
令夫人 山 田 準 子
ガバナー・エレクト 関 口 徳 雄 浦 安 RC
令夫人 関 口 俊 子
ガバナー・ノミニ 宇 佐 見 透 千 葉 幕 張 RC
令夫人 宇 佐 見 尚 子
地区会計長 早 川 恒 雄 千 葉 RC
地区監査委員会 委 員 長 鳥 飼 三 津 男 習 志 野 RC
委 員 城 山 忠 人 船 橋 西 RC
委 員 秋 葉 芳 秀 東 金 RC
国際大会推進委員会 委 員 大 倉 崇 市 原 中 央 RC
ホストエリア・コーディネーター補佐 山 崎 敬 生 市 川 RC
第 1 分 区 ガバナー補佐 大 貫 明 彦 市 川 東 RC
令夫人 大 貫 幸 恵
第 2 分 区 ガバナー補佐 浜 名 賢 一 船 橋 南 RC
第 3 分 区 A ガバナー補佐 平 山 勝 己 千 葉 若 潮 RC
第 3 分 区 B ガバナー補佐 田 仲 正 道 市 原 中 央 RC
第 4 分 区 ガバナー補佐 秋 山 和 彦 富 津 シ ティ RC
第 5 分 区 ガバナー補佐 古 市 一 雄 鴨 川 RC
第 6 分 区 ガバナー補佐 小 林 信 雄 東 金 RC
第 7 分 区 ガバナー補佐 栗 田 壮 一 八 日 市 場 RC
第 8 分 区 ガバナー補佐 兼 松 は じ め 多 古 RC

地区内参加ロータリアン

第9分区	ガバナー補佐	宮川 欽一	富里 RC
第10分区	ガバナー補佐	宮 寛	柏南 RC
第11分区	ガバナー補佐	神谷 昭信	八千代中央 RC
第12分区	ガバナー補佐	川上 伸夫	松戸西 RC
第13分区	ガバナー補佐	松田 武野	田東 RC
クラブ奉仕委員会	委員長	杉山 俊明	銚子 RC
	委員	金本 元章	柏西 RC
	委員	藤崎 政弘	船橋中央 RC
	委員	實川 喜夫	松戸中央 RC
職業奉仕委員会	委員長	海寶 勘一	千葉西 RC
	令夫人	海寶 道代	
	委員	堀内 正一	木更津 RC
	委員	松田 泰長	成田 RC
社会奉仕委員会	委員	高梨 昇一郎	野田 RC
	委員長	中山 政明	松戸 RC
	委員	小川 秀二	東ビュー RC
	委員	池田 博	習志野中央 RC
国際奉仕委員会	委員	細田 昌男	松戸西 RC
	委員長	村岡 実市	市川 RC
	委員	森井 康夫	市川東 RC
	委員	島 正彦	千葉 RC
新世代奉仕委員会	委員	岩崎 肇	佐倉中央 RC
	委員長	津留 起夫	市原 RC
	R・Y・L・A 担当委員	羽鳥 鋭一	鴨川 RC
	ローターアクト担当委員	嘉規 洋	船橋西 RC
R財団委員会	青少年交換担当委員	岡村 美智子	佐倉 RC
	一般プログラム担当委員	渡邊 元貴	木更津東 RC
	副委員長	伊原 清良	松戸 RC
	プロジェクト開発担当	平野 弘和	木更津 RC
R米山記念奨学会委員会	奨学金担当	小野塚 雄	松戸東 RC
	補助金担当	関 一憲	勝浦 RC
	R世界平和クラブ担当	青木 忠茂	船橋 RC
	委員長	平野 一隆	大原 RC
	委員	秋葉 幸男	茂原 RC
	委員	織田 信幸	松戸 RC
	委員	時田 清次	市原中央 RC

【クラブ】

第1分区	ガバナー補佐	大貫 明彦	(市川東)
市川 RC	会長	市川 康男	19名
市川東 RC	会長	伊藤 雄康	36名
市川南 RC	会長	石田 善一	11名
浦安 RC	会長	大八木 諭	16名
市川シビック RC	会長	島根 太真	17名
浦安ベイ RC	会長	醍醐 誠一	17名
第2分区	ガバナー補佐	浜名 賢一	(船橋南)
船橋 RC	会長	岩山 修久	14名
船橋西 RC	会長	酒井 孝夫	19名
鎌ヶ谷 RC	会長	皆川 隆	22名
船橋東 RC	会長	鈴木 恭浩	15名
船橋南 RC	会長	田中 一邦	17名

地区内参加ロータリアン

船橋みなの RC	会長	田中 恵美子	17名
第3分区A	ガバナー補佐	平山 勝己	(千葉若潮)
千葉 RC	会長	大成 白歩	27名
新千葉 RC	会長	吉田 直史	14名
千葉西 RC	会長	阿部 紘一	18名
千葉中央 RC	会長	栗田 忠	20名
千葉幕張 RC	会長	寺川 典秀	13名
千葉東 RC	会長	山本 成人	13名
千葉若潮 RC	会長	鈴木 章浩	7名
第3分区B	ガバナー補佐	田仲 正道	(市原中央)
千葉南 RC	会長	鈴木 美津江	17名
市原 RC	会長	小川 長二	17名
千葉港 RC	会長	船木 幹夫	12名
市原中央 RC	会長	池田 兼雄	13名
千葉北 RC	会長	榎本 初雄	8名
千葉緑 RC	会長	中島 東一	6名
第4分区	ガバナー補佐	秋山 和彦	(富津浜)
木更津 RC	会長	本吉 光隆	9名
上総 RC	会長	真田 雄司	9名
富津 RC	会長	鈴木 俊吉	17名
富津中央 RC	会長	高橋 裕之	14名
木更津東 RC	会長	豊田 文智	19名
君津 RC	会長	黒岩 靖之	16名
袖ヶ浦 RC	会長	松尾 昭憲	22名
富津シティ RC	会長	山口 稔	17名
第5分区	ガバナー補佐	古市 一雄	(鴨川)
館山 RC	会長	杉井 繁樹	29名
鴨川 RC	会長	佐藤 多恵子	10名
勝浦 RC	会長	古川 範男	19名
千倉 RC	会長	笹子 田鶴子	9名
鋸南 RC	会長	中邑 明俊	12名
館山ベイ RC	会長	池田 康弘	10名
第6分区	ガバナー補佐	小林 信雄	(東金)
茂原 RC	会長	鎗田 謙二	18名
東金 RC	会長	鈴木 康道	20名
大原 RC	会長	鶴岡 章	14名
大多喜 RC	会長	諏訪 武士	6名
成田空港南 RC	会長	石田 喜一	35名
茂原東 RC	会長	中田 伸太郎	12名
茂原中央 RC	会長	林 久剛	7名
大網 RC	会長	中村 泰明	19名
東金ビュー RC	会長	佐々木 英人	10名
第7分区	ガバナー補佐	栗田 壮一	(八日市場)
銚子 RC	会長	大里 忠弘	22名
旭 RC	会長	太田 賢一	10名
八日市場 RC	会長	柏熊 均	44名
銚子東 RC	会長	石上 明宏	13名
第8分区 RC	ガバナー補佐	兼松 はじめ	(多古)
佐原 RC	会長	大堀 成美	33名
多古 RC	会長	高橋 勝男	10名
小見川 RC	会長	大津 頼政	13名
佐原香取 RC	会長	神田 哲彦	13名

地区内参加ロータリアン

第9分区	ガバナー補佐	宮川 欽一	(富里)
成田 RC	会長	小宮山 四郎	17名
八街 RC	会長	福田 守	24名
印西 RC	会長	大塚 貞夫	19名
白井 RC	会長	伊藤 仁	10名
富里 RC	会長	佐々木 敬悦	14名
成田コスモポリタン RC	会長	金子 公久	18名
第10分区	ガバナー補佐	宮 寛	(柏南)
柏 RC	会長	長谷川 秀夫	34名
我孫子 RC	会長	丸田 勝功	10名
柏西 RC	会長	増谷 信一	21名
柏東 RC	会長	石戸 卓志	7名
柏南 RC	会長	小高 潔	17名
第11分区	ガバナー補佐	神谷 昭信	(八千代中央)
習志野 RC	会長	鈴木 純雄	20名
八千代 RC	会長	齋藤 敏夫	27名
佐倉 RC	会長	中島 一郎	10名
八千代中央 RC	会長	小池 康博	15名
四街道 RC	会長	山本 克己	19名
習志野中央 RC	会長	鈴木 理	29名
佐倉中央 RC	会長	橋岡 久太郎	10名
第12分区	ガバナー補佐	川上 伸夫	(松戸西)
松戸 RC	会長	加藤 栄	37名
松戸東 RC	会長	岡本 克己	52名
松戸北 RC	会長	長島 正巳	23名
松戸中央 RC	会長	森谷 博	30名
松戸西 RC	会長	渡辺 孝治	21名
第13分区	ガバナー補佐	松田 武	(野田東)
野田 RC	会長	古谷 尊生	24名
流山 RC	会長	海老原 功一	22名
野田東 RC	会長	吉澤 太郎	16名
流山中央 RC	会長	白須賀 まり子	21名
野田セントラル RC	会長	遠藤 茂雄	13名

参加ロータリー・ファミリー

「米山の集い」

日時 2012年10月21日(日) 10:30~13:25
場所 森のホー21 地下リハーサル室および大ホール

ロータリー米山記念奨学生
学友



ロータリー財団国際親善奨学生
学友



ロータリー平和フェロー



青少年交換学生



インターアクト



ローターアクト



R Y L Arian



物 故 会 員

敬称略

2011年10月1日以降、お亡くなりになられた地区内ロータリアンの方々です。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

- 安 藤 弘 一
浦 安RC 2011年10月15日 享年75歳
- 黒 田 雅 俊
木更津RC 2011年11月27日 享年64歳
- 永 井 幸 喜
新千葉RC 2011年12月04日 享年94歳
- 佐 藤 勇
市 原RC 2012年01月14日 享年88歳
- 和 田 昇
富津シティRC 2012年01月02日 享年63歳
- 増 田 武
八日市場RC 2012年01月26日 享年77歳
- 松 葉 則 明
松 戸RC 2012年02月01日 享年64歳
- 浅 野 常 夫
柏RC 2012年03月13日 享年81歳
- 稲 村 俊 郎
木更津RC 2012年05月29日 享年100歳
- 鎌 形 四 郎
多 古RC 2012年06月06日 享年69歳
- 藤 崎 政 吉
成 田RC 2012年07月12日 享年88歳
- 中 村 政 勝
市川シビックRC 2012年07月14日 享年59歳
- 尾 上 吉 之
我孫子RC 2012年08月31日 享年86歳
- 配 島 正 次
市 川RC 2012年09月29日 享年90歳
- 水 野 謙 一
千葉南RC 2012年10月15日 享年79歳

地区資金決算報告書

平成24年7月28日

国際ロータリー第2790地区 地区資金決算報告

地区会計長 早川 恒雄

会計長代行 山崎 裕

平成23年度(23.7.1~24.6.30)の決算を下記の通り相違なく
処理いたしましたことを、ご報告いたします。

記

1. 収入の部

項 目	金 額	明細書番号
前年度繰越金	24,057,753 円	(A)
会費収入	70,408,152 円	(B)
地区運営資金勘定	35,765,942 円	(C)
地区活動補助勘定	19,592,000 円	(D)
地区奉仕活動資金勘定	13,538,250 円	(E)
全国組織分担勘定	1,408,960 円	(F)
雑収入	267,508 円	(G)
収入合計	94,733,513 円	①

2. 支出の部

項 目	金 額	明細書番号
地区運営資金勘定	36,539,664 円	(H)
地区活動補助勘定	19,523,150 円	(I)
地区奉仕活動資金勘定	12,588,633 円	(J)
全国組織分担勘定	1,408,960 円	(K)
支出合計	70,060,407 円	②

3. 収支差額

項 目	金 額	明細書番号
次年度繰越金	24,673,106 円	③

4. その他

詳細については、別紙明細書を参照ください。

以 上

監 査 報 告 書

監 査 報 告 書

2012年7月28日

国際ロータリー第2790地区

2011-12年度

ガバナー 山田 修平 殿

国際ロータリー第2790地区

2011-12年度 地区監査委員会

委員長

五十嵐 玲彦

委員

鳥飼 三津男

委員

城山 忠人

私共国際ロータリー第2790地区2011-12年度地区監査委員は、本日当地区2011-12年度(自2011年7月1日~2012年6月30日)の地区予算に基づく会計の収支決算書、および各特別会計の収支決算書を監査致しました。

この監査に当たり、一般に公正妥当と認められる監査基準に則り、必要と認められた手続を実施したことをご報告致します。

監査の結果、各収支決算書は、国際ロータリー第2790地区2011-12年度(自2011年7月1日~2012年6月30日)の収支状況を適正に表示しているものとして、これを認めます。

以 上

地区大会決議

[決議第1号]

国際ロータリー本年度テーマを推進する件

田中作次国際ロータリー会長は、本年度テーマとして「奉仕を通じて平和を」を示されました。我々ロータリアンはこの意義をよく理解し、ロータリーの綱領をしっかり見据えて自らの行動により、テーマの推進に努力することを決議します。

[決議第2号]

国際ロータリー会長代理派遣に感謝する件

本大会開催にあたり、田中作次国際ロータリー会長は、国際ロータリー第3610地区パスト・ガバナー、国際ロータリー理事朴 柱寅氏を会長代理として派遣されました。よって本大会は、国際ロータリー会長のご配慮に対し、深く感謝することを決議します。

[決議第3号]

国際ロータリー会長代理朴 柱寅氏に感謝する件

朴 柱寅氏は国際ロータリー会長代理として令夫人とともに本大会に臨席され、国際ロータリーの現状について詳細な説明を賜り、大会参加者一同に多大な感銘を与え、本大会を実り多き大会として成功に導かれました。よって本大会は、国際ロータリー会長代理朴 柱寅ご夫妻に対し、心から感謝の意をあらわすことを決議します。

[決議第4号]

2015-16年度ガバナー・ノミニーの選出に「指名委員会の手続き」を採用する件

2015-16年度ガバナー・ノミニーの選出については、国際ロータリー細則第13条(13.020.1)に決められている3つの選出方法から「指名委員会の手続き」を採用することを決議します。

地区大会決議

[決議第5号]

2013-14年度地区指名委員会委員選出、並びに指名委員会職務権限決議の件

国際ロータリー細則第13条(13.020.2)に基づき、2013-14年度地区指名委員会委員に、中村博亘(委員長・柏西RC)、織田吉郎(銚子RC)、山田修平(木更津東RC)、得居仁(松戸東RC)4氏を選出し、同委員会の職務権限は国際ロータリー細則の諸規定に従うものとすることを決議します。

[決議第6号]

2011-12年度ガバナー山田修平ご夫妻に感謝する件

山田修平直前ガバナーは、前年度国際ロータリーテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」のもと卓越した指導力と献身的な努力により、第2790地区の発展に寄与されました。よって本大会は、山田修平直前ガバナーに対し感謝の意をあらわすことを決議します。

[決議第7号]

ロータリー財団に対する協力推進の件

ロータリー財団に対する協力は、近年の国際化に伴い、ますます重要性をましております。今後、ロータリー財団の活動を推進するにあたり、一層の努力することを決議します。

[決議第8号]

(財)ロータリー米山記念奨学会に対する協力推進の件

(財)ロータリー米山記念奨学会に対する支援は、一段とその重要性がましており、地区を挙げて協力することを決議します。

地区大会決議

[決議第9号]

国際大会参加推進に協力する件

2013年6月23日から26日までポルトガルのリスボンで開催される国際大会に第2790地区として多くの会員の参加を推進することを決議します。

[決議第10号]

本大会の協力団体に感謝する件

本大会を開催するにあたり、ご協力をいただいた千葉県、松戸市の諸機関および諸団体に対し、深甚なる謝意をあらわすことを決議します。

[決議第11号]

本大会ホストクラブ、コ・ホストクラブに感謝する件

本大会は、ホストクラブの松戸東ロータリー・クラブとコ・ホストクラブの松戸、松戸北、松戸中央、松戸西の各ロータリー・クラブと会員・ご家族の誠意溢れるご尽力のお陰で、地区内外より多数のロータリアンとご家族をお迎えして盛会裡に開催することができました。よって、本大会は松戸東、松戸、松戸北、松戸中央、松戸西のロータリー・クラブに対し、深く感謝の意をあらわすことを決議します。

[決議第12号]

2013-14 年度地区大会開催の件

国際ロータリー第2790地区2013-14年度地区大会は、浦安ロータリー・クラブをホストクラブとして2013年11月9日(土)・10日(日)の両日、千葉県浦安市において開催することを決議します。

ロータリー財団寄付者名簿

2011年7月1日～2012年6月30日

ポール・ハリス・フェロー

第1分区	市川東	後藤晃司	城安雄
		久保裕司	増山暁丈
		中山忠三	福崎隆一
		西田順介	野口俊樹
		下田壮一郎	山中右次
		山下清俊	
	市川シビック	井上喜久男	
第2分区	鎌ヶ谷	田口ふく	
	船橋東	相川敬子	大家桂子
		織戸りな	戸澤理沙
		岩浅高敏	
第3分区A	千葉中央	柳相熙	永井信之
		小倉敏克	内山義明
	千葉幕張	吉川正治	唐澤秀明
		植草和典	前橋和郎
		宮本和夫	原啓介
		宮内孝二	伊藤愛彦
		寺川典秀	房洲里香
		坂井律子	石原隆広
		宮間尊士	辻智之
		砂畑頼孝	
	千葉東	穴倉壽夫	
	千葉若潮	鶴澤和弘	
第3分区B	市原中央	本郷雅嗣	箕輪貴之
		丸山定男	時田清次
		小栗次雄	
第4分区	木更津	江澤貞雄	本吉武久
	富津	座間林司	
第5分区	館山	福原暁	斎藤三郎
	勝浦	手塚明宏	浅野玄航
		渡邊ヒロ子	斎藤麻美子
		渡邊昌俊	古川範男
		吉野裕子	
	館山ベイ	池田康弘	
第6分区	茂原南	最首利光	
	成田空港	伊藤元雄	
	茂原東	河野知宏	中田伸太郎
	茂原中央	荒井賢二	中村憲太郎
		横堀喜一郎	森川孝行
		関谷清一	
第7分区	大網子	金島弘	
	八日市場	宇之沢文夫	宮内柄一
		鈴木英人	秋元純一
		川口京子	角田将規
		関鉦基	林咲江
		平山慎吾	五頭秀峰
		伊藤達裕	菱木智仁
		熱田健治	鶴澤宜広
		萩原幸雄	大木一男

ロータリー財団寄付者名簿

第8分区	佐原宮本晃栄
第9分区	成田佐久間高直佐藤英雄
	八街福田守平野雅敏
	白井畠山泰哲
第10分区	成田コスモポリタン 小林章沢田克洋
	柏永尾太樹落合一美
	柏西塚本英夫小林太時
	柏南岡田尚子
第11分区	習志野中央森和夫崎山茂代
第12分区	松戸常盤映彦森田雅久
	申澈権
	松戸東平野豊
	松戸中央福澤昭弘
	松戸西中村文典谷口義紀
	小菅壽和河合直志
第13分区	流山中央阿保寿春

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

第1分区	市川田平和精加藤憲一
	石井邦夫塚原真
	加藤泰寛
市川東	芝田太市天野一雄
	阿多真人遠藤暁博
	林長三郎廣田利夫
	飯沼俊雄伊藤雄康
	加嶋是北川佐多雄
	小林康郎小島武久一
	三浦信夫深山浩一三
	森井康夫長島洋吉彦
	中川実和大貫明彦
	根本守和利田中保雄
	瀧澤勝利田畝本一実
	内田良男山本忠雄
	山口昌宏次吉野信行
	米山精彦
浦安	佐藤孝彦
市川シビック	小林道央
第2分区	船橋西徳田孝一城山忠人
	高木健次渡邊幸一
鎌ヶ谷	樋口宏次石井伸一
	鈴木秀承遠田毅
船橋東	大久保忠史相澤友夫
船橋南	石井博幸田中一邦
船橋みなと	平野隆幸輪湖葆子
	板橋良夫輪湖眞理子
	矢持くめ子
	竹口茂子

ロータリー財団寄付者名簿

第3分区A	新千葉葉半田保
	千葉西津田英彦花光和久
	宮川忠士川島義美
	瀧澤弘隆海寶勘一
	江口公顕阿部紘一
	野口正夫川島教昭
	内貴洲平園川裕
千葉中央	木頭信男内山幸一
	北川勲小倉秀夫
	栗田忠松本俊英
	船越豊小林春雄
	卯田惣治郎中村睦
	藤原勝己相原勝
	石井安文古畑幸雄
	植草一男梅田尚夫
千葉幕張	始平堂玄昌田澤剛一
	中村精男吉田広行
	手島英男植草光司
	山村和子高山素子
	田岡清次木下卓爾
	尾崎勢大弘宇佐見透
	新倉多久磨穴倉良夫
第3分区B	市原三木敏西村芳雄
	市原上野博正
	長田輝夫大倉崇
千葉港中央	坂登幸男大鈴木幸平
市原中	高山啓夫田仲正道
	高橋良勝武田勲
	小諏訪紀明
第4分区	木更津山田光雄晃一
	上総津永井庄一郎
	富津中央平川惠敏一
富津	袖ヶ浦飯島勝也
富津シティ	浦平野勝二
勝浦	村石愛二岩瀬文夫
	釜田英一憲西尾誠
	関正己夫中葉正徳
	関正昇郎漆原撰子
	中村七哲夫高梨木敏
	君塚利美泰久
	池野敬泰小島幸
	水野幸男
	渡辺昭雄
佐野	野雅行
館山ベイ	佐藤均

ロータリー財団寄付者名簿

第6分区 茂原渡辺明佐藤信二
 大原土屋利夫
 成田空港南鈴木恭一石田喜一
 茂原中央小林宏子志田延子
 大綱星野実矢部慎一
 第7分区 銚子猿田正彦上総泰茂
 八日市場宮内柄一平野正憲
 林咲江宇之沢文夫
 川口京子鈴木勝彦
 鶴之沢康雄
 銚子東大内恭平
 第8分区 佐原黒田良一八田亮三
 本宮丈男小長谷忠義
 高橋昭二
 多古萩原承平
 佐原香取坂本文夫羽生常司
 第9分区 成田市村公道飯田正雄
 深山一郎平野省二
 滝沢尚二石橋菊太郎
 設楽正行佐瀬和年
 松田泰長成田温彦
 神崎誠諸岡靖彦
 八街塩野谷征三郎
 富里佐々木敬悦宮川欣一
 成田コスモポリタン滝澤政樹青木貞雄
 宮田明俊金井浄
 神谷修一鈴木哲雄
 藤崎康人長谷川吉昭
 第10分区 柏長谷川秀夫根本孝英
 山内尚美高田新也
 渡辺敏行溜川良次
 柏西金本元章日暮肇
 飯合幸夫川名弘行
 鈴木健吾松本ユミ
 鈴木桂三榎本洋史
 柏東荒木賢治中村裕
 小沼宗心中村俊人
 第11分区 習志野由川久子小林通成
 杉山芳夫椎名博信
 石井賢徳増田彰司
 鳥飼三津男
 八千代飯生高一郎遠藤章雄
 君塚欣哉小野尾正治
 栗原稔飯田充明
 上代修二佐野忠信
 四街道村山勝己平澤規雄
 習志野中央鈴木理斎藤弘
 花澤茂崎山茂代
 第12分区 松戸柳澤正敏
 松戸東渡辺猛得居仁
 松戸中央原正明

ロータリー財団寄付者名簿

松戸西関口宏三浦幹敏
 第13分区 流山筒井義憲
 野田東遠藤博一
 流山中央白須賀まり子金井直明
 野田セントラル渡邊昭岡田茂
 中村順定森田精司
 飯塚博

大口寄付者

第2分区 船橋狩野文夫
 第3分区B 千葉南吉田裕成
 千葉港林正弘
 第4分区 袖ヶ浦飯島俊一
 第7分区 銚子織田吉郎
 第9分区 成田山崎義人
 成田コスモポリタン諸岡孝昭
 第11分区 八千代池田等
 習志野中央崎山征雄
 第12分区 松戸東得居仁

ベネファクター

第1分区 市川大川原常雄
 市川シビック竹内清海
 第2分区 船橋瀧芳文
 鎌ヶ谷大澤茂
 船橋東山崎新一
 第3分区A 新千葉幕張植草和典
 千葉更津津平野弘和
 第4分区 木更津東坂井健治
 第5分区 勝浦中村満
 第6分区 茂原鎗田謙二
 東金菅原實高橋邦夫
 第7分区 八日市場大塚榮一
 第8分区 佐原本宮丈男
 第10分区 柏西神野美明年
 柏西安川武道
 第12分区 松戸東五十嵐明道渡邊猛
 松戸北鈴木悦朗
 第13分区 野田高梨昇一郎

口一タリ一米山記念奨学会寄付者名簿

2011年7月1日～2012年6月30日

米山功労者

第1分区	市川浦船	川東安橋	金子晃典	晃典	三遠	藤曉博	徳雄
第2分区	船橋西	橋西	長島洋三	遠藤	関口徳雄	藤幸男	徳雄
	船橋東	橋東	齊藤博昭	昭夫	遠藤	幸男	幸男
	船橋南	橋南	山田肇	肇吉	高木恒雄	恒雄	恒雄
	船橋みなと	橋みなと	森島庸吉	庸吉	高木恒雄	恒雄	恒雄
第3分区A	千葉港	港	矢崎康男	康男	堀幸男	幸男	幸男
	新千葉	新千葉	嘉規洋	洋一	山口習明	明弘	明弘
	市原西	市原西	渡邊幸一	幸一	山口習明	明弘	明弘
	千葉幕張	幕張	相澤友夫	友夫	山口習明	明弘	明弘
第3分区B	千葉南	南	藤井仁道	仁道	濱名賢一	賢一	賢一
	市原中央	市原中央	柴田正道	正道	濱名賢一	賢一	賢一
第4分区	木更津	木更津	石井博夫	博夫	湖篠子	子	子
	上総	上総	竹口茂子	茂子	矢持くめ子	くめ子	くめ子
	木更津東	木更津東	金子真理子	真理子	谷崎満男	満男	満男
第5分区	君富津シテイ山	君富津シテイ山	古船木幹夫	幹夫	鈴木善哉	善哉	善哉
	館山ベイ	館山ベイ	菅間健之哲	健之哲	高澤達也	達也	達也
第6分区	茂東大	茂東大	岩岡茂孝	茂孝	三木川昇	昇	昇
			片岡政昭	政昭	寺川典秀	典秀	典秀
			野口アキ子	アキ子	寺川典秀	典秀	典秀
			宮間尊士	尊士	寺川典秀	典秀	典秀
			伊藤愛彦	愛彦	寺川典秀	典秀	典秀
			寺澤一良	一良	金親博榮	博榮	博榮
			白鳥政孝	政孝	三木英隆	英隆	英隆
			時田善太郎	善太郎	池田兼正	兼正	兼正
			新井弘和	弘和	堀内進一	進一	進一
			平野武久	武久	野村進一	進一	進一
			本吉平男	平男	相山克己	克己	克己
			榎井一朗	一朗	相山克己	克己	克己
			山田修平	修平	相山克己	克己	克己
			大隅義一	義一	鈴木克己	克己	克己
			地曳洋治	洋治	藤野文夫	文夫	文夫
			大橋辰美	辰美	野文夫	文夫	文夫
			渡邊弘敏	弘敏	野文夫	文夫	文夫
			高橋弘之	弘之	宮崎健一郎	健一郎	健一郎
			御子神徳重	徳重	宮崎健一郎	健一郎	健一郎
			榎本祐三	祐三	宮崎健一郎	健一郎	健一郎
			鈴木陽一	陽一	宮崎健一郎	健一郎	健一郎
			秋葉幸雄	幸雄	醍醐真亮	真亮	真亮
			小林立利夫	利夫	醍醐真亮	真亮	真亮
			土屋利一	利一	醍醐真亮	真亮	真亮

口一タリ一米山記念奨学会寄付者名簿

第7分区	成田空港南	成田空港南	木元博史	博史	高田一行	一行	一行
	茂原東	茂原東	小河野知宏	知宏	清宮建治	建治	建治
	大網	大網	四之宮由己	由己	清宮建治	建治	建治
	銚子	銚子	佐藤廣子	廣子	岡根清和	清和	清和
	旭	旭	大岩尚史	尚史	岡根清和	清和	清和
	八日市場	八日市場	坂本泰茂	泰茂	栗田壮一	壮一	壮一
			上総賢一	賢一	栗田壮一	壮一	壮一
			太平山洋憲	洋憲	江波戸正雄	正雄	正雄
			平野正智	正智	江波戸正雄	正雄	正雄
			鶴澤仁智	仁智	鶴野航三	航三	航三
第8分区	銚子東	銚子東	木村貞夫	貞夫	黒田良一	良一	良一
	佐原	佐原	高橋昭二	昭二	黒田良一	良一	良一
	香取	香取	松下隆夫	隆夫	八田亮三	亮三	亮三
	成田	成田	坂本文夫	文夫	保津豊徳	豊徳	豊徳
第9分区	八富街	八富街	平山金吾	金吾	市村公道	公道	公道
	成田コスモポリタン	成田コスモポリタン	豊田憲弘	憲弘	市村公道	公道	公道
			石川孝彦	孝彦	日暮俊久	俊久	俊久
			渡辺靖樹	靖樹	日暮俊久	俊久	俊久
			諸岡葉博	葉博	小宮山四郎	四郎	四郎
			平山秀樹	秀樹	遠藤英一	英一	英一
			山本和男	和男	角田幸弘	幸弘	幸弘
			安里光雄	光雄	伊藤良勉	良勉	良勉
			諸岡孝昭	孝昭	野間口康博	康博	康博
			石川邦紘	邦紘	林康博	康博	康博
			藤崎康人	康人	宮崎廣一郎	廣一郎	廣一郎
			加瀬明彦	明彦	城之内利彦	利彦	利彦
第10分区	柏西	柏西	加瀬邦正	邦正	飯合幸夫	幸夫	幸夫
	柏東	柏東	少名正隆	正隆	飯合幸夫	幸夫	幸夫
	柏南	柏南	榑川武裕	武裕	松本忠雄	忠雄	忠雄
			中村賢治	賢治	渡来俊人	俊人	俊人
			小沼宗心	宗心	中村俊人	俊人	俊人
			岡野哲也	哲也	服部秀雄	秀雄	秀雄
第11分区	習志野	習志野	戸部謹爾	謹爾	鳥飼三津男	三津男	三津男
			小林通成	通成	由川久子	久子	久子
			杉山芳博	芳博	石井賢徳	賢徳	賢徳
			椎名實瑠	實瑠	石井賢徳	賢徳	賢徳
			司代修二	修二	鶴田禮章	禮章	禮章
			上野宗雄	宗雄	遠藤充明	充明	充明
			橋本幹毅	幹毅	山田珠子	珠子	珠子
			藤井政勝	政勝	山田珠子	珠子	珠子
			佐藤尚宏	尚宏	平澤規雄	規雄	規雄
			野尚茂	尚茂	平澤規雄	規雄	規雄
			花澤	花澤	布施国雄	国雄	国雄

ロータリー米山記念奨学会寄付者名簿

			平山博己	岸田修
			齋藤弘	
第12分区	松	戸	土屋亮平	常盤映彦
			安井克人	
	松	戸	東得居仁	鎌野勝一
			高橋清孝	庄田惣之助
	松	戸	北浅野久	小澤盛明
	松	戸	中央鈴木康司	
	松	戸	西関口宏	浅野実
			石井弘	
第13分区	野	田	駒崎修	
	流	山	筒井義憲	
	野	田	東遠藤博一	
	流	山	中央新倉正明	張ヶ谷昇

地区大会各種表彰 クラブ表彰

2011-12年度RI会長賞

第9分区 成田 RC
第12分区 松戸西 RC

2011-12年度RI会員増強・拡大賞 新会員入会

第2分区 船橋 RC
第3分区A 千葉 RC
第3分区B 千葉南 RC
第4分区 木更津 RC
上総 RC
第7分区 銚子東 RC
第9分区 成田コスモポリタン RC
第10分区 柏 RC
柏西 RC
第11分区 習志野中央 RC
第12分区 松戸北 RC

2011-12年度RI会員増強・拡大賞 会員増加率

第2分区 船橋 RC
第4分区 上総 RC
第6分区 大原 RC
第7分区 銚子東 RC
第11分区 佐倉 RC
第12分区 松戸西 RC

2011-12年度RI会員増強・拡大賞 会員維持率

第2分区 船橋東 RC
船橋東 RC
鎌ヶ谷 RC
第3分区B 千葉緑 RC
第5分区 千葉倉 RC
第6分区 大原 RC
大網 RC
第7分区 銚子東 RC
第8分区 小見川 RC
第9分区 印西 RC
白井 RC
第10分区 我孫子 RC
第11分区 習志野 RC
四街道 RC
佐倉 RC
習志野中央 RC
第12分区 松戸北 RC
松戸中央 RC
松戸西 RC

2011-12年度RI会員増強・拡大賞 会員基盤の増強と発展

第3分区A 千葉西 RC

地区大会各種表彰 クラブ表彰

出席優秀クラブ

2011-12年度の年間出席率平均が90%以上のクラブ

第1分区	市川 RC	100.00
	市川東 RC	100.00
第4分区	君津 RC	94.08
第12分区	松戸東 RC	93.17
第2分区	船橋 RC	92.99
第4分区	袖ヶ浦 RC	92.97
第9分区	成田 RC	92.87
第2分区	船橋南 RC	92.49
第4分区	富津 RC	91.46
第3分区 A	千葉 RC	90.73
第7分区	銚子 RC	90.50
第2分区	船橋東 RC	90.31
第6分区	成田空港南 RC	90.23

会員増強優秀クラブ

2011年7月1日の会員数に対して、2012年7月1日の会員数の純増が5名以上のクラブ

第3分区 A	千葉西 RC	9名
第7分区	銚子東 RC	9名
第10分区	柏 RC	6名

100%ポールハリスフェロー達成クラブ

ロータリー財団認証バナー

第6分区	茂原中央 RC
------	---------

ロータリー財団年次寄付優秀クラブ

2012年6月末日におけるロータリー財団管理委員会の報告書に記載された年次寄付額を同日現在の会員数で除した会員1名あたりの寄付の上位10位まで

第12分区	松戸西 RC	359.09 ドル
第3分区 B	千葉南 RC	332.16 ドル
第2分区	船橋みなと RC	315.38 ドル
第5分区	勝浦 RC	296.15 ドル
第9分区	成田 RC	287.81 ドル
第3分区 B	市原 RC	283.72 ドル
第7分区	銚子 RC	283.19 ドル
第6分区	大原 RC	259.84 ドル
第3分区 A	千葉西 RC	259.00 ドル
第2分区	鎌ヶ谷 RC	244.00 ドル

ロータリー財団恒久基金寄付優秀クラブ

2012年6月末日におけるロータリー財団管理委員会の報告書に記載された2011-12年度の恒久基金寄付額の上位3位まで

第2分区	船橋西 RC	10,000.00 ドル
第12分区	松戸東 RC	2,282.05 ドル
第6分区	東金 RC	2,219.51 ドル

ロータリー米山記念奨学会寄付達成クラブ

公益財団法人R米山記念奨学会の感謝状
普通寄付と特別寄付累計額1,000万円毎

第1分区	市川南 RC	(1,000万円)
第10分区	柏西 RC	(2,000万円)
第11分区	習志野 RC	(3,000万円)
	習志野中央 RC	(2,000万円)

地区大会各種表彰 クラブ表彰

ロータリー米山記念奨学会寄付優秀クラブ

2012年6月末日における米山記念奨学会の報告書に記載された2011-12年度の寄付合計の上位5位まで

第9分区	成田コスモポリタン RC	1,722,000 円
第2分区	船橋西 RC	1,560,000 円
第9分区	成田 RC	1,540,000 円
第3分区 A	千葉西 RC	1,389,000 円
第4分区	木更津東 RC	1,194,000 円

ロータリー米山記念奨学会個人平均寄付額優秀クラブ

2012年6月末日における米山記念奨学会の報告書に記載された2011-12年度の個人平均寄付額の上位5位まで

第2分区	船橋西 RC	33,191 円
	船橋東 RC	28,750 円
	船橋みなと RC	27,916 円
第9分区	成田コスモポリタン RC	27,774 円
第4分区	木更津東 RC	27,767 円

ロータリー米山記念奨学会功労クラブ

特別寄付累計100万円毎

第1分区	市川東 RC	第29回
	市川シビック RC	第3回
第2分区	船橋東 RC	第25回
	船橋西 RC	第21回
	船橋南 RC	第8回
第3分区 A	千葉西 RC	第25回
	千葉 RC	第17回
	千葉幕張 RC	第11回
第3分区 B	千葉南 RC	第29回
	市原中央 RC	第13回
第4分区	木更津 RC	第22回
	木更津東 RC	第19回
	富津シティ RC	第4回
第6分区	東金 RC	第17回
第7分区	銚子 RC	第18回
第8分区	八日市場 RC	第11回
第9分区	佐原香取 RC	第4回
	成田 RC	第48回
	成田コスモポリタン RC	第32回
第11分区	八千代 RC	第20回
	習志野中央 RC	第16回
	八千代中央 RC	第8回
第12分区	松戸 RC	第31回
	松戸東 RC	第30回
	松戸北 RC	第21回
	松戸中央 RC	第14回
第13分区	野田セントラル RC	第9回

ロータリー米山記念奨学会に対する創立記念特別寄付クラブ

創立記念特別寄付として10万円以上寄付したクラブ

第3分区 B	市原中央 RC
第4分区	君津 RC

地区大会各種表彰 個人表彰

30年以上100%出席ロータリアン(分区順)

2012年8月末日現在30年・35年・40年・45年100%出席者
45年以上100%出席者は毎年

藤井 仁毅	第2分区	船橋	東 RC	30年
佐川 一元	第2分区	船橋	南 RC	45年
大木 康司	第3分区A	千葉	葉 RC	47年
依知川 庸	第3分区A	千葉	西 RC	30年
今関 真人	第3分区B	千葉	南 RC	30年
白鳥 政孝	第3分区B	市原	原 RC	30年
浅沼 康男	第3分区B	千葉	葉 港 RC	30年
水澤 二郎	第4分区	木更津	津 RC	40年
薬丸 比呂志	第4分区	木更津	津 RC	50年
飯田 義男	第5分区	館山	山 RC	54年
岩瀬 文夫	第5分区	勝浦	浦 RC	30年
君塚 七郎	第5分区	勝浦	浦 RC	35年
鈴木 亨	第5分区	勝浦	浦 RC	40年
木内 勝敏	第6分区	茂原	原 RC	46年
鈴木 信雄	第6分区	茂原	東 RC	35年
大内 恭平	第7分区	銚子	東 RC	35年
鶴嶋 亀男	第8分区	小見川	川 RC	40年
豊田 磐	第9分区	成田	田 RC	35年
内田 正	第11分区	八千代	代 RC	30年

長寿ロータリアン(分区順)

2012年8月末日現在 満85歳以上のロータリアン

葩島 正次	第1分区	市川	川 RC	90歳
大川 啓治	第1分区	市川	川 RC	86歳
米山 精次	第1分区	市川	東 RC	93歳
楠本 行男	第1分区	市川シビック	RC	88歳
佐川 一元	第2分区	船橋	南 RC	89歳
松丸 幹雄	第2分区	鎌ヶ谷	谷 RC	85歳
土屋 秀雄	第3分区A	千葉	葉 RC	87歳
倉石 武	第3分区A	新千	葉 RC	91歳
菊地 忠	第3分区A	新千	葉 RC	85歳
植草 一男	第3分区A	千葉中	央 RC	88歳
国友 忠一	第3分区B	千葉	南 RC	91歳
土屋 武次	第3分区B	千葉	南 RC	88歳
常泉 健一	第3分区B	市原	原 RC	85歳
廣瀬 政夫	第3分区B	千葉	葉 港 RC	90歳
有馬 忠正	第3分区B	千葉	葉 港 RC	86歳
斎藤 功	第3分区B	千葉	葉 港 RC	85歳
水澤 二郎	第4分区	木更津	津 RC	94歳
薬丸 比呂志	第4分区	木更津	津 RC	96歳
鈴木 士朗	第4分区	富津	津 RC	86歳
込宮 和彦	第4分区	富津	津 RC	85歳
真板 益夫	第4分区	木更津	東 RC	91歳
飯田 義男	第5分区	館山	山 RC	93歳
飯塚 浩	第5分区	館山	山 RC	89歳
鈴木 祥枝	第5分区	鋸南	南 RC	86歳
木内 勝敏	第6分区	茂原	原 RC	86歳
黒田 實	第6分区	茂原	原 RC	85歳
高山 友二	第6分区	東金	金 RC	85歳
椎名 鎌一郎	第6分区	成田空港	南 RC	87歳

地区大会各種表彰 個人表彰

宇井 重信	第7分区	八日市場	場 RC	87歳
片海 宣光	第7分区	銚子	東 RC	90歳
宮内 宗一	第7分区	銚子	東 RC	85歳
山口 廣雄	第7分区	銚子	東 RC	85歳
石橋 敬三郎	第8分区	佐原	原 RC	95歳
菅井 孝祐	第8分区	佐原	原 RC	89歳
南 栄司	第8分区	多古	古 RC	86歳
郡 司辰之助	第8分区	多古	古 RC	85歳
香取 成明	第8分区	小見川	川 RC	86歳
柴田 實	第9分区	成田	田 RC	93歳
加藤 和	第9分区	八街	街 RC	89歳
今井 守	第9分区	印西	西 RC	91歳
角井 宏	第10分区	柏	RC	87歳
有倉 順良	第10分区	柏	RC	86歳
林 安治	第11分区	習志野	野 RC	87歳
内田 正	第11分区	八千代	代 RC	87歳
吉田 之好	第12分区	松戸	東 RC	87歳
鰐部 照明	第12分区	松戸中	央 RC	90歳
中間 隆幸	第13分区	流山	山 RC	86歳

ロータリー財団メジャードナー

2011-12年度にレベルMD1に達した会員及びレベルがUPした会員

狩野 文夫	第2分区	船橋	橋 RC	MD1
吉田 裕成	第3分区B	千葉	南 RC	MD1
林 正弘	第3分区B	千葉	港 RC	MD1
飯島 俊一	第4分区	袖ヶ浦	浦 RC	MD1
織田 吉郎	第7分区	銚子	子 RC	MD1
山崎 義人	第9分区	成田	田 RC	MD1
諸岡 孝昭	第9分区	成田コスモポリタン	RC	MD3
池田 等	第11分区	八千代	代 RC	MD1
崎山 征雄	第11分区	習志野中央	中央 RC	MD2
得居 仁	第12分区	松戸	東 RC	MD1

ロータリー米山記念奨学会メジャードナー

2011-12年度に米山功労の回数が10回に達した会員、それ以後は累計加算回数5回ごと

白鳥 政孝	第3分区B	市原	原 RC	15回
山田 修平	第4分区	木更津	東 RC	10回
四之宮 由己	第6分区	大網	網 RC	10回
木村 貞夫	第7分区	銚子	東 RC	10回
平山 金吾	第9分区	成田	田 RC	55回
豊田 磐	第9分区	成田	田 RC	10回
小林 通成	第11分区	習志野	野 RC	10回
得居 仁	第12分区	松戸	東 RC	10回

奉仕活動優秀ロータリアン

渡部 和夫	第4分区	木更津	東 RC
-------	------	-----	------

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会・アトラクション



[リマト室内合奏団メンバーによる弦楽四重奏]

「リマト室内合奏団」は、本庄篤子が2004年に主宰して、東京藝術大学卒業の実力派の演奏家たちで構成されたアンサンブルです。銀座王子ホールで毎年開催されているコンサートでは、バロック音楽ばかりでなく、バルトークやマーラーなど、近現代のレパートリーにも意欲的に取り組み、斬新なプログラムに挑戦しています。今日は、弦楽四重奏で演奏いたします。

[出演メンバー 4名プロフィール]

(ヴァイオリン1)本庄篤子・ほんしょう あつこ

東京藝術大学卒業、同大学院修了。86年より(財)ニューフィル千葉コンサートマスターを務める。リサイタル、室内楽など演奏活動を続ける他、コンクール審査委員、ジュニアオーケストラ音楽監督も務める。

(ヴァイオリン2)大野智子・おおの ともこ

東京藝術大学付属音楽高校を経て、東京藝術大学卒業。現在はフリー奏者として、コンサートやレコーディング、また後進の指導などに幅広く活動している。

(ヴィオラ)植村理一・うえむら りいち

東京藝術大学を経て米国シンシナティ大学首席卒業。

Quartetto Foneのヴィオリストとしてミラノ・スカラ座等、ベルリンフィル首席、ニューヨークフィルメンバーらとヨーロッパ各地で演奏。東京藝術大学管弦楽研究部講師。

(チェロ)植草ひろみ・うえくさ ひろみ

東京藝術大学卒業後、10年間新日本フィルハーモニー交響楽団に在籍した。

2年間米国シンシナティに留学。CDには「Cafe1930」「いつかの美しい日のように」がリリースされている。聖徳大学音楽学部講師。

大会2日目・アトラクション



松戸市立第四中学校 吹奏楽部 プロフィール

現在96名で「心ある音楽、人に感動を与える音楽」をめざして毎日の練習に励んでいます。昨年度は全日本吹奏楽コンクールに出場し、3年連続の金賞受賞。また、日本管楽合奏コンテストでは最優秀賞を受賞しました。コンクール以外では定期演奏会や地域のイベントへの参加、他校との合同練習、ジョイントコンサートなど積極的に行い、人との出会い、繋がりや感謝の気持ちを大切に活動しています。

今年度は千葉県吹奏楽コンクール本選大会での特別演奏、全日本吹奏楽コンクール3年連続出場記念演奏会(越谷市立北中学校とのジョイントコンサート)、秋田県・福島県への演奏旅行、第27回国民文化祭・とくしま2012「吹奏楽の祭典」に出演。

CAFUAより6月にCD「Play with Heart」(スプリングコンサート2012ライブ)をリリース。



[須藤 卓眞プロフィール]

大阪音楽大学音楽学部器楽科を卒業。クラリネットを、喜田賦、本田耕一、濱中浩一、G. ドゥブリュの各氏に師事。第3回ヤマハ新人演奏会に出演。2005年に柏市立酒井根中学校に赴任し、全日本吹奏楽コンクールで3年連続金賞を受賞。また、日本管楽合奏コンテストでは文部科学大臣賞、最優秀グランプリ賞を受賞。2010年に本校に赴任し、全日本吹奏楽コンクール2年連続金賞を受賞。日本管楽合奏コンテストでは2年連続最優秀賞を受賞。その他、各地で講習会の講師やコンクール審査員を務め、吹奏楽活動の発展に寄与している。千葉県吹奏楽連盟、千葉県東葛飾地区吹奏楽連盟理事。21世紀の吹奏楽“響宴”会員。平成20年度千葉県教育委員会教育奨励賞受賞。平成21年度柏市教育功労者受賞。平成22年度文部科学大臣優秀教員表彰。

大会2日目・アトラクション

(本会議,RI 会長代理に感謝する懇親会)



徳川真弓さん (ピアノ) プロフィール

東京藝術大学付属高校を経て同大学卒業。国際ロータリー財団第2790地区より奨学生として米国インディアナ大学大学院に留学。修了後は同大学院指揮科ピアニストとして勤務。アスペン音楽祭(コロラド州)、20世紀の室内楽シリーズ(マドリッド)に参加、スペイン各地、カナダなどで演奏。

帰国後はソロリサイタルをはじめ室内楽・伴奏など様々な演奏活動をする一方、コンサートプロデュースにも携わる。

2012年7月は東京文化会館にてC・W・ニコル氏とチャリティリサイタルを開催し、「震災復興プロジェクト・東松島に森の学校をつくる運動」に大きく貢献した。

CD「ポートレイト」好評発売中。MOMOピアノ教室主宰。

ホームページ <http://park8.wakwak.com/~toktok/>
「南雀日記」 <http://ameblo.jp/toktok88/>

ホームカミング



赖 明珠 (ライ・ミンチュ)氏
(台湾/1977-78 / 千葉大学大学院 / 松戸RC)

台湾の女性翻訳家で日本の小説家村上春樹の繁体字翻訳で知られる。

1969年に国立中興大学を卒業し、研究助手を務めた後、コピーライターになり不動産の広告企画の仕事に携わった。1975年から1978年に日本へ留学し、千葉大学園芸学部農業経済研究室に在籍、77-78年に米山奨学生となる。

帰国後、コピーライターとして復職したが、翻訳の面白さに目覚め、1985年より翻訳の仕事の本格的に開始する。台湾の出版界に村上春樹をもたらし、当時の彼女の翻訳による最初の作品は中編小説『1973年のピンボール』と短編小説『100%の女の子』である。後に『ノルウェイの森』上中下巻を出し、1989年に台湾において村上春樹旋風を巻き起こした。2006年3月には、各国の村上春樹作品翻訳者を招いて東京で開かれた国際シンポジウム「春樹をめぐる冒険」(国際交流基金主催)にもパネリストとして参加。中国語圏を代表する村上作品の翻訳家として、台湾・香港で名声を博している。

(赖 明珠)

『今思えば、日本に留学したことは、私の生涯で最もラッキーな転機でした。私にできるせめてもの恩返しとして、多くのすばらしい日本の文学作品を翻訳し、台湾はじめ中国語圏の読者たちに紹介することで、日本留学で親切にしてくださった方々に感謝の気持ちを捧げたいと思っています』

米山学友ホームカミング制度

学友ホームカミング制度は活躍する学友(元米山奨学生)をロータリー地区に里帰りをさせ、旧交を温め、その成長と活躍振りをアピールしてもらうための制度として2008年度に設立しました。当、第2790地区内では今回が初めての実施であり、地区大会においてロータリアンの皆様方に米山奨学金事業の意義と素晴らしさ、そして、その成果を体感していただく場として披露させていただきます。

友愛の広場

地区委員会活動パネル展示

会場 小ホールของホワイエ付近
 社会奉仕委員会
 新世代奉仕委員会
 ロータリー米山記念奨学会委員会

地区大会記念ゴルフ大会写真展示

会場 エントランスホール～大ホール階段脇

ドリンクコーナー

会場 エントランスホール入口付近・大ホール2F
 ホワイエ
 ソフトドリンク、コーヒーをご用意しました。

ロータリーグッズ販売

会場 エントランスホール
 (株)生駒時計店
 (株)ラシュラン
 (株)オクトン
 (株)フジマキネクタイ

第13回ロータリアン芸術祭

会場 小ホールの入口付近およびホワイエ付近
 地区内のロータリアン、ご家族の絵画、写真、
 ・・等の自信作を展示しています。

氏名	クラブ	作品種類
鵜之沢康雄	八日市場 RC	書
山口 秀子	八日市場事務職員	絵画(油彩)
塩田 俊一	習志野中央 RC	写真
田口 佳子	流山中央 RC	陶芸
大川 啓治	市川 RC	写真 2点 ガラスアート 1点

松戸市観光物産販売展

会場 エントランスホール

ピーナッツサブレ本舗 富井



西欧と日本の出会いから生まれた焼菓子・・戸定三楽
 フィナンシェはそのリッチな味わいから「お金持ち」という意味があります。素材がシンプルだけに、おいしく焼き上げるには、熟練した菓子職人の技が必要となります。富井の「戸定三楽」はフランス生まれのフィナンシェと、日本の菓子職人の技の「融合」から生まれた一味違うフィナンシェです。プレーン、コーヒー、抹茶の3つの三楽をどうぞ、お楽しみください。

和菓子所八矢庵



「技術優秀金賞」受賞。
 矢切噺子に使われている太鼓をイメージした銅鑼焼き。
 厳選した備中産の赤小豆で手間暇かけて作った自慢のつぶ餡を、千葉県産の長生卵で焼き上げた皮で挟みました。ふわふわの皮に自家製のしっとり餡がベスト・マッチの逸品です。店主自らが焼き上げている味は、お召し上がりいただければ他店との違いがはっきりお分かりいただけると思います。

焼酎「矢切りの渡し」試飲会



歌手細川たかしさんの大ヒット曲と同名の焼酎「矢切りの渡し」は、昭和58年に地域商品・地域活性化商品として発売され、多くの方々に親しまれてまいりました。
 平成19年3月に味とデザインを一新し、「本格麦焼酎 江戸川 矢切の渡し」として、リニューアルいたしました。
 厳選した麦を使用し、すっきりとした味わいに仕上げております。

スライドショー「松戸の景観百選」

制作：今井浩志、高橋竜一ほか松戸東RC画像制作チーム

本会議2日目開会前 大ホール・ステージスクリーンにて 午前9時15分～45分、その他
 BGM KOBUDO 古武道 古川展生(チェロ) 妹尾武(ピアノ) 藤原道山(尺八)



矢切の渡し



東漸寺さくら



本土寺

地区大会記念ゴルフ大会

会場：鷹之台カンツリー倶楽部 日時：2012年9月24日（月）



チャリティー：¥276,064 をロータリー希望の風奨学金へ寄付

総合の部	優勝	神野美明	柏RC
	準優勝	安宅照男	八千代RC
	三位	上代修二	八千代RC
レディスの部	優勝	日野久美子	船橋みなとRC
シニアの部	優勝	寺田喜行	茂原RC
ベストグロス賞		西村國彦	茂原RC

実行委員会	大会委員長	湯浅紀男	松戸東RC
	実行委員長	石井定明	松戸東RC
	副実行委員長	伊原清良	松戸RC
	副実行委員長	高橋進	松戸北RC
	副実行委員長	実川喜夫	松戸中央RC
	副実行委員長	石井弘	松戸西RC
	副実行委員長	小菅壽和	松戸西RC
	副実行委員長	湯浅健司	松戸東RC
	競技委員長	高橋直人	松戸東RC
	副競技委員長	平野豊	松戸東RC
	会計	湯浅甚作	松戸東RC
	実行委員	大越竜美	松戸東RC
	実行委員	小野塚雄	松戸東RC
	実行委員	上路三喜男	松戸東RC
	実行委員	谷口雅樹	松戸東RC
	実行委員	渡邊明週	松戸東RC
	実行委員	森川献彦	松戸東RC
	実行委員	小堤健雄	松戸東RC

諸事お知らせ

【大会第1日目（10月20日）ホテル ザ・マンハッタン】

受付（2階ルーナ前）

- 各種委員会は10時30分、会長幹事他本会議出席者は12時40分登録開始です。
- ご来賓等令夫人の「幕張名所案内」登録者受付もこちらです。
- 無料駐車券をご入り用の方
宿泊される方は、ホテルフロントへご依頼ください。
当日、お帰りになる方（宿泊されない）は、受付に無料駐車券をご用意してあります。
- 「諸事承り所」として、ご不明な点はお尋ねください。

本会議場（ルーナ）の席次

- ご来賓、地区役員、会長・幹事他、本会議出席者は指定席となります。
- お席にお名前等が記載されている席札が貼付されています。

RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会（プリマベアラ）の席次

- ご来賓、地区役員、会長・幹事他、出席者は指定席となります。
- 晩餐会受付で、席次表と席札をお渡ししますので、会場内のお席に置かれている席札とご照合の上、ご着席ください。
- ホテルスプリングスにご宿泊される方のうち、ご希望者には、晩餐会終了後、ホテル ザ・マンハッタンからご宿泊先までバスにてお送りするご用意がございます。徒歩の場合約4分程度かかります。



「幕張名所案内」 美浜園



「エクスカージョン」 戸定邸

【大会第2日目（10月21日）森のホール21 大ホール】

受付（森のホール 玄関前 受付テント）

- 下げ札毎の受付ブースで、各クラブの幹事が代表して当日登録をしていただきます。
- 来賓、地区役員もこちらです。
- 信任状の提出もこちらです。
- エクスカージョン受付もこちらです。

本会議場（大ホール）の席次

- ご来賓、地区役員、会長・幹事他、本会議出席者は終日指定席となります。
- お席にお名前又はクラブ名が記載されている席札が貼付されています。

昼食会場

- 昼食会場は、56, 57ページの「森のホール会場案内図」をご覧ください。
- 昼食時には、地区大会スタッフが皆様を、本会議場から昼食会場まで、順次ご案内いたしますので、自席でお待ちください。

RI 会長代理に感謝する懇親会

- 本会議終了時、地区大会スタッフが皆様を、本会議場から懇親会場まで、順次ご案内いたしますので、自席でお待ちください。

諸事承り所

- ご不明な点はお尋ねください。

喫煙

- 森のホールは、館内全面禁煙となっておりますので、愛煙家の皆様は、玄関入口付近の「喫煙所」をご利用ください。

お忘れもの・落し物

- 大会当日の拾得物は、「諸事承り所」にてお預かりいたします。

ケガ、体調のすぐれない方

- お近くのスタッフまたは「諸事承り所」「救護所」へお申し出ください。

お願い

- 会場内での携帯電話は、電源OFFにするかマナーモードにしてください。
- 館内でのゴミは、備え付けのゴミ箱にお願いいたします。

《シャトルバス利用案内》

- 森のホール発 八柱駅 行

発車場所：

森のホール玄関先約20メートル 道路前
（八柱駅行き 車両表示あり）
発車時刻：16：15 17：30 18：00

- 森のホール発 ホテル ザ・マンハッタン 行

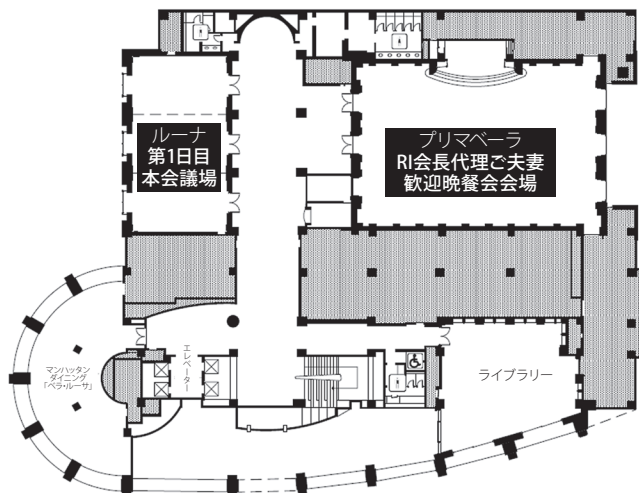
発車場所：

森のホール玄関先約20メートル 道路前
（ホテル ザ・マンハッタン行 車両表示あり）
発車時刻：17：45

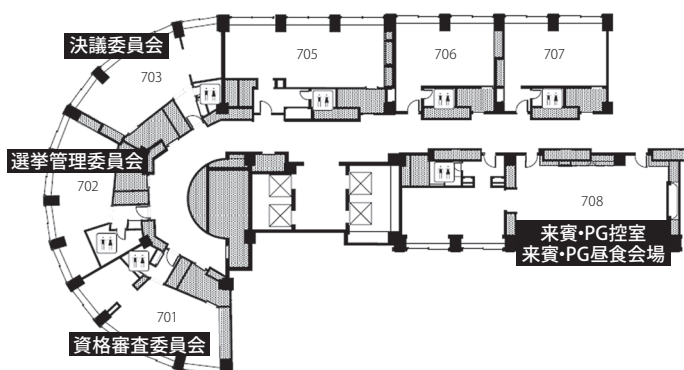
会場案内図

大会1日目 2012年10月20日(土)
地区大会会場案内図 ホテル ザ・マンハッタン

2F



7F

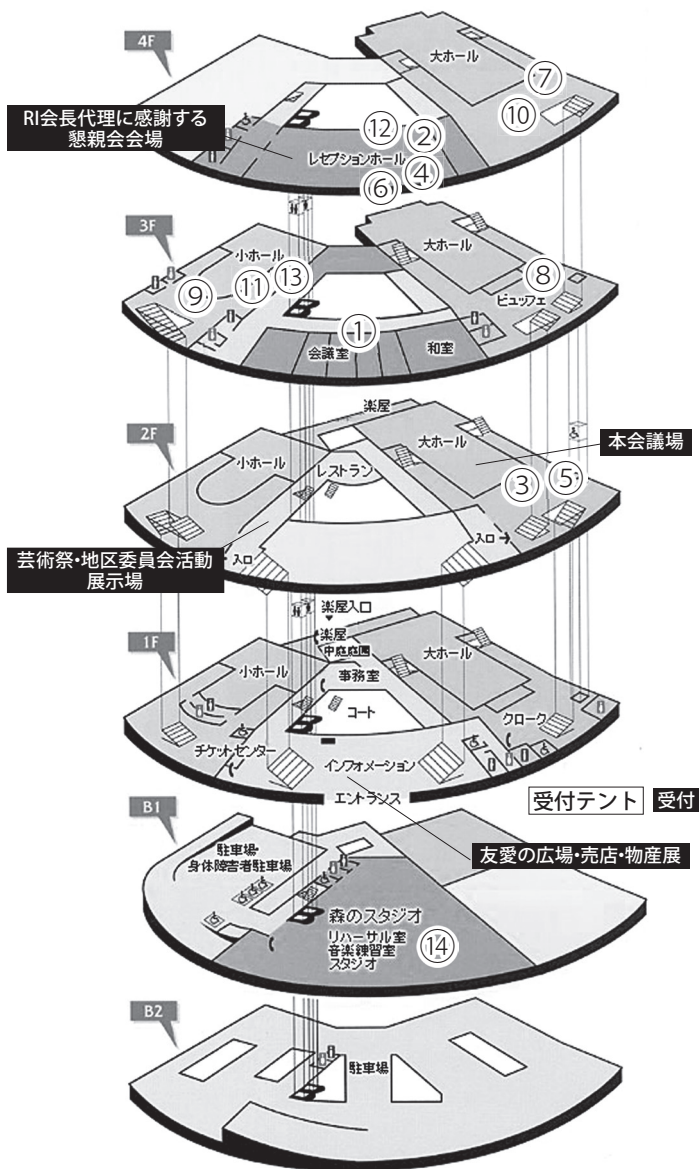


大会2日目 2012年10月21日(日)
森のホール21 大ホール座席表

														A													
B-1														来賓・地区役員・地区委員会													
														B-2													
														第10分区													
第1分区														C-2													
C-1																											
														第11分区													
第3分区A														C-2													
C-1																											
														第7分区													
第4分区														B-1-2													
C-1														第2分区													
														D-3													
第9分区														第3分区B													
B-1-1														D-3													
														第8分区													
第13分区														D-1													
B-1-1																											
														第5分区													
第6分区														D-1													
D-2																											
														第8分区													
														D-1													

会場案内図

大会2日目 2012年10月21日(日)
地区大会会場案内図 森のホール21



昼食会場			
昼食会場	対象者・分区分・クラブ名		
①	中会議室	RI会長代理	エイド・ガバナー夫妻、Pガバナー
	小会議室①	バストガバナー	
	小会議室②	バストガバナー	
	大会議室	招待者・来賓	ガバナー補佐 地区委員
②	レセプションホールC-1	第1分区分	市川市川東
			市川南浦安
			市川シビック浦安ベイ
③	大ホール2F ホワイト D-3	第2分区分	船橋船橋西
			鎌ヶ谷船橋東
			船橋南船橋みなと
④	レセプションホールC-1	第3分区分A	千葉新千葉
			千葉西千葉中央
			千葉幕張千葉東
⑤	大ホール2F ホワイト D-3	第3分区分B	千葉若潮
			千葉南市原
			千葉港市原中央
⑥	レセプションホールC-1	第4分区分	千葉北千葉緑
			木更津上総
			富津富津中央
⑦	大ホール4F D-1	第5分区分	木更津東君津
			袖ヶ浦富津シティ
			館山鴨川
⑧	大ホール3Fビュッフェ前 D-2	第6分区分	勝浦千倉
			鋸南館山ベイ
			茂原東金
⑨	小ホール3F B-1-2	第7分区分	大原大多喜
			成田空港南茂原東
			茂原中央大網
⑩	大ホール4F D-1	第8分区分	東金ビュー
			銚子旭
			八日市場銚子東
⑪	待合室B-1-1 会議室のある3Fから半階降りる	第9分区分	佐原多古
			小見川佐原香取
			成田八街
⑫	レセプションホールC-2	第10分区分	印西白井
			富里成田コスモポリタン
			柏我孫子
⑬	レセプションホールC-2	第11分区分	柏西柏東
			柏南
			習志野八千代
⑭	大会スタッフ	第12分区分	佐倉中央
			四街道習志野中央
			佐倉中央
⑮	待合室B-1-1 会議室のある3Fから半階降りる	第13分区分	松戸松戸東
			松戸北松戸中央
			松戸西
⑯	リハール室①	ロータリーファミリー	野田流山
			野田東流山中央
⑰	リハール室②	米山奨学会	野田セントラル

地区大会組織

ガバナー	得 居 仁	松 戸 東 RC
地区幹事長	高 橋 孝 夫	松 戸 東 RC
地区副幹事長	高 橋 直 人	松 戸 東 RC
地区大会委員長	萩 元 住 明	松 戸 東 RC
地区大会実行委員長	安 蒜 俊 雄	松 戸 東 RC

決議委員会

委員長	中 村 博 亘	柏 西 RC
委員	藤 原 勝 巳	千 葉 中 央 RC
委員	大 木 喜 彦	千 葉 緑 RC
委員	瀧 日 明	我 孫 子 RC

選挙管理委員会

委員長	織 田 吉 郎	銚 子 RC
委員	北 見 洋 司	君 津 RC
委員	水 野 謙 一	千 葉 南 RC
委員	高 梨 茂	野 田 RC

資格審査委員会

委員長	山 田 修 平	木 更 津 東 RC
委員	佐 藤 信 廣	市 川 RC
委員	森 和 夫	柏 東 RC
委員	渡 辺 敏 美	八 千 代 RC

地区大会 SAA

ホストクラブ会長	岡 本 克 己	松 戸 東 RC
コ・ホストクラブ会長	加 藤 栄	松 戸 RC
コ・ホストクラブ会長	長 島 正 巳	松 戸 北 RC
コ・ホストクラブ会長	森 谷 博	松 戸 中 央 RC
コ・ホストクラブ会長	渡 辺 孝 治	松 戸 西 RC

総務部会

部会長	湯 浅 甚 作	松 戸 東 RC
実行委員	谷 口 雅 樹	松 戸 東 RC
実行委員	幸 松 康 彦	松 戸 東 RC
実行委員	力 丸 譲 司	松 戸 東 RC
実行委員	高 橋 竜 一	松 戸 東 RC
実行委員	内 田 利 男	松 戸 東 RC
実行委員	鍛 治 一 秋	松 戸 東 RC

地区大会組織

親睦交流部会

部会長	上 路 三喜男	松 戸 東 RC
副部会長	実 川 喜 夫	松 戸 中 央 RC
副部会長	石 井 弘 和	松 戸 西 RC
副部会長	小 菅 壽 和	松 戸 西 RC
実行委員	高 橋 清 孝	松 戸 東 RC
実行委員	古 宮 耕 一	松 戸 東 RC
実行委員	山 本 明 勉	松 戸 東 RC
実行委員	織 田 光 容	松 戸 東 RC
実行委員	金 堤 健 雄	松 戸 東 RC
実行委員	小 堤 健 雄	松 戸 東 RC
実行委員	渡 辺 猛	松 戸 東 RC

式典部会

部会長	山 岡 仁 身	松 戸 東 RC
副部会長	伊 原 清 良	松 戸 東 RC
副部会長	高 橋 進 雄	松 戸 北 RC
実行委員	小 野 塚 雄 一	松 戸 東 RC
実行委員	深 山 能 一	松 戸 東 RC
実行委員	湯 浅 健 司	松 戸 東 RC
実行委員	平 野 豊 志	松 戸 東 RC
実行委員	今 井 浩 志	松 戸 東 RC
実行委員	森 川 献 彦	松 戸 東 RC
実行委員	渡 邊 明 週	松 戸 東 RC
実行委員	大 越 美 剛	松 戸 東 RC
実行委員	渡 辺 竜 一	松 戸 東 RC

第2790地区2012-13年度 地区大会を振り返って

～職業奉仕的地区大会の企画運営～

地区大会実行委員長

安 蒜 俊 雄



大会第一日目(10月20日)はホテル ザ・マンハッタンで開催し、第二日目(10月21日)は松戸の「森のホール21」で開催されました。

得居ガバナーは、地区大会への思いとして、“参加会員のための地区大会を表現したい。できるだけ参加(一般)会員を意識し、参加して良かった、得るものがあったと感じられるような、大会でありたい。”とおっしゃっておりました。また、“おもてなしの心で”とも表現されておりました。地区大会の目的やガバナーの思いから、実行委員会に託された地区大会の運営をロータリー・クラブですから「職業奉仕」になぞらえて、運営コンセプトを考えてみました。

「①お客様に喜ばれて、②社員がイキイキと仕事をし、③利益を出し、④社会貢献をする。」これは、ロータリーの職業奉仕の理念(最もよく奉仕する者、最も多く…)を一段行動レベルへ分解したものともいえると思います。私見ですが、職業奉仕は、この4項目を同時に実現するための実践行動指針と理解しております。

- ①地区内出席会員に喜ばれる、内容のある大会に!
- ②地区大会の意義を理解し、大会スタッフがいきいきと動いている!
- ③地区大会の運営を通じて、様々な経験、気づきが得られ、自己啓発、“職業倫理の高揚”につながる。
- ④社会貢献・ロータリー運動の一環、諸企業の活性化へ貢献、明るい社会づくりへの一助!

特に、この4項目の1番目“お客様に喜ばれて”を重点に、運営コンセプトを考えてみました。参加会員に喜ばれる、ご提供申し上げるべきことは何だろうか?それは、いつの時代も同じかも知れませんが「今、私たちは何をすべきか? 語ろうロータリアンの役割」の思いを、参加されたロータリアンの皆様に、地区大会の場を通じて、ご提供申し上げたいと思いました。それは、充実した①勉強の機会 ②会員同士の知的交流の場

③会員同士の親睦の場の提供であるとし、友愛の広場をはじめ、会員の大会として、会員へのおもてなしの心を豊かに、運営することを指向しました。

そして、出席して良かったと喜んでいただくために大事なことは、おもてなしの心をもって会員を迎えること、それは抽象的なことではなく; 一に、おもてなしの態度で: ガバナー初め主催者側のおもてなしの態度(受付での笑顔の歓迎あいさつや、適時・適切・親切な案内等)、二に、おもてなしの勉強の機会の提供: 大会での気づき・記念講演者などからの学習を持って帰っていただきたいと熱望すること、三に、おもてなしの昼食や友愛の広場、記念品: 昼食・友愛の広場・RI会長代理に感謝する懇親会・記念品などで楽しんでいただける雰囲気づくり、の推進を奨励し、かつ、企画・運営はできるだけ手づくりを心がけました。地区大会運営経験者・専門家の意見の拝聴は程々にし、素人であるため手さぐりでありましたが、シナリオ、BGM音響、照明、スクリーン画像など、ご来賓に失礼なく、出席会員に役立ち、喜んでいただけるかどうかを判断基準に作成若しくは選択をしました。したがって、手づくりが故に、手際や配慮に欠けたところが多々あったと思いますが、ご容赦いただきたいと存じます。また、「松戸東RC職業奉仕プロジェクト」と称して、弁当、記念品、懇親会などにも会員の企業にご協力いただき、本大会特製のものをご用意するように努めました。

皆様のご協力により、両日のプログラムは、大過なく終了することができました。特に、RI会長代理朴柱寅様には、第2790地区会員のために、周到なご準備をされ、素晴らしいご講演やRI現況報告をいただき感銘を受けたこと、そして、松戸四中吹奏学部のコンサート、更に、櫻井よしこ先生の記念講演では、意義深いご提言と激励をいただき、聴講された会員の皆さんが感動していたことが、本大会での特筆すべきことと存じます。

おわりに、運営に共に参加したホストクラブ会員、コホストクラブ会員は、この地区大会の開催準備・当日の運営において、日頃は経験のできない役割を通じて、それぞれ新たな自己の発見があり、今後のロータリー活動及び職業奉仕に生かされるものと信じております。また、出席された会員の皆様におかれましては、本大会の運営等について、忌憚のないご意見をお寄せいただきたいと存じます。